

ぬの ひら 遺 跡
布 平 遺 跡
ふる しろ
古 城

県営広域営農団地農道整備事業西白杵2期地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2003

宮崎県埋蔵文化財センター

ぬの ひら 遺跡
布 平 遺跡
ふる しろ 遺跡
古 城

県営広域營農団地農道整備事業西白杵2期地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2003

宮崎県埋蔵文化財センター

序

宮崎県教育委員会では、県営広域農道の建設に伴い、宮崎県西臼杵郡日之影町に所在する布平遺跡ならびに同郡高千穂町に所在する古城遺跡の発掘調査を実施いたしました。

この布平遺跡の周辺は、県総合博物館所蔵の布平出土とされる夜臼式の刻目突帯文土器をはじめ、以前から打製石鎌など縄文時代の遺物が出土することでよく知られております。今回の調査では、この縄文時代後期から晩期にかけての遺物が多量に出土したほか、中世を中心と考えられる掘立柱建物跡や多数のピット群等、現在に至る西臼杵地区の斜面を利用した居住形態の貴重な調査事例を得ることができました。

また、古城遺跡の調査では、緩斜面に立地した弥生時代中期末から後期にかけての20数軒の竪穴住居跡群や縄文時代早期の押型文土器・晩期の黒川式土器期の良好な遺物包含層などが調査され、この西臼杵地区の該期の人々の生活を解明するための貴重な資料が数多く確認されています。

本書が、学術資料としてのみならず学校教育や生涯学習の場で広く活用され、埋蔵文化財の保護に対する認識と理解の一助となることを期待します。

なお、調査にあたって御協力いただいた地元の方々や関係諸機関の各位に厚く御礼申し上げます。

平成15年3月

宮崎県埋蔵文化財センター
所長 米良弘康

例　　言

- 1 本書は、県営広域營農団地農道整備事業西白杵2期地区に伴い、宮崎県教育委員会が平成8～9年度に実施した布平遺跡の発掘調査報告書ならびに平成10年度に実施した古城遺跡の発掘調査報告書である。調査は、宮崎県西白杵支庁農政水産課の依頼により宮崎県教育委員会が調査主体となり、宮崎県埋蔵文化財センターが実施した。
- 2 本書で使用した位置図は国土地理院発行の2万5千分の1図を基に作成した。また、周辺地形図は西白杵支庁農政水産課作成の500分の1図を基に作成した。
- 3 発掘現場における遺構等の実測・写真撮影は、布平遺跡は主に米久田真二が、古城遺跡は和田理啓、福田泰典、柳田晴子が行った。また、空中写真については両遺跡とともに(有)スカイサーバイ九州に委託した。
- 4 遺物の実測・トレースは、土器については主として整理作業員が行い、菅付和樹、谷口武範、吉本正典が補正した。また、石器については、布平遺跡出土の石器のうち主要なものは株式会社 文化財環境整備研究所に委託し、そのほかの石器ならびに古城遺跡の石器については、藤木聰を中心に重留康宏・遠部慎・古屋美樹・丹俊詞・小字都あずさ・金丸史絵が実測し、トレースは藤木・重留ならびに整理作業員が行った。なお、遺物の写真撮影は菅付、甲斐貴充、今塙屋駿行が行った。
- 5 本書で使用した方位は座標北および磁北であり、それぞれG.N.・M.N.と明記した。また、基準高については海拔絶対高を用いた。これらの基準点の設置は、布平遺跡はフェニックス測量設計コンサルタント株式会社に、古城遺跡は有限会社高千穂開発に委託した。
- 6 土器の色調及び土層断面注記の土色の一部は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修の『新版標準土色帖』に準拠した。
- 7 本書に用いた遺構の略号は、次のとおりである。

集石遺構…S I	竪穴住居跡…S A	土坑…S C	掘立柱建物跡…S B
----------	-----------	--------	------------
- 8 布平遺跡で実施したテフラの同定、炭化物の年代測定、プラント・オパール分析ならびに古城遺跡で実施した樹種同定、炭化物の年代測定、プラント・オパール分析は(株)古環境研究所に委託した。
- 9 本書の執筆は、布平遺跡は菅付・谷口が分担して行い、古城遺跡は福田・日高広人・吉本・菅付・谷口・丹・藤木が分担して行った。編集は菅付・福田が担当した。
- 10 調査の記録類および出土遺物は、宮崎県埋蔵文化財センターに保管している。

本文目次

第Ⅰ章 はじめに

第1節 発掘調査に至る経緯	(著付)	1
第2節 調査の組織	(タ)	1
第3節 遺跡の位置と歴史的環境	(タ)	2

第Ⅱ章 布平遺跡の調査

第1節 調査の経過と概要	(著付)	5
第2節 遺跡の層序	(タ)	7
第3節 遺構と出土遺物	(著付・谷口)	9
第4節 まとめ	(著付)	34

第Ⅲ章 古城遺跡の調査

第1節 調査の経過	(福田)	65
第2節 基本層序	(タ)	66
第3節 遺跡の概要	(藤木・著付・谷口・福田)	66
第4節 繩文時代早期の遺構と遺物	(福田・日高・吉本)	77
第5節 繩文時代晩期の遺物	(著付)	89
第6節 弥生時代以降の遺構と遺物	(谷口・丹)	95
第7節 石器	(藤木)	104

挿図目次

第1図 布平・古城遺跡の位置と周辺遺跡図	3
第2図 布平遺跡周辺地形図	6
第3図 布平遺跡基本土層及び土層断面図	8
第4図 布平遺跡V層上面検出遺構分布図	10
第5図 布平遺跡堅穴住居跡実測図	11
第6図 布平遺跡掘立柱建物跡実測図(1)	12
第7図 布平遺跡掘立柱建物跡実測図(2)	13
第8図 布平遺跡V層上面検出土坑実測図	14
第9図 布平遺跡VI層(アカホヤ)上面検出遺構分布図	16
第10図 布平遺跡VI層上面検出土坑実測図(1)	17
第11図 布平遺跡VI層上面検出土坑実測図(2)	19
第12図 布平遺跡出土土器実測図(1)	20
第13図 布平遺跡出土土器実測図(2)	21
第14図 布平遺跡出土土器実測図(3)	22
第15図 布平遺跡出土土器実測図(4)	23
第16図 布平遺跡出土土器実測図(5)	24
第17図 布平遺跡出土土器実測図(6)	25

第18図 布平遺跡出土土器実測図（7）	26
第19図 布平遺跡出土土器（8）・土製品・石製品実測図	27
第20図 布平遺跡弥生時代以降出土遺物実測図	28
第21図 布平遺跡出土石器実測図（1）	29
第22図 布平遺跡出土石器実測図（2）	30
第23図 布平遺跡出土石器実測図（3）	31
第24図 布平遺跡出土石器実測図（4）	32
第25図 布平遺跡出土石器実測図（5）	33
第26図 布平遺跡出土打製石斧形態別比較図	34
第27図 古城遺跡基本層序模式図	66
第28図 古城遺跡グリッド配置図	68
第29図 古城遺跡1区遺構分布図	70
第30図 古城遺跡2区遺構分布図	71
第31図 古城遺跡3区遺構分布図	73
第32図 古城遺跡4区遺構分布図	75
第33図 古城遺跡出土縄文土器実測図（1）	78
第34図 古城遺跡出土縄文土器実測図（2）	79
第35図 古城遺跡出土縄文土器実測図（3）	80
第36図 古城遺跡出土縄文土器実測図（4）	81
第37図 古城遺跡出土縄文土器実測図（5）	82
第38図 古城遺跡2区縄文時代早期集石遺構分布図	83
第39図 古城遺跡3区縄文時代早期集石遺構および礫の分布図	85
第40図 古城遺跡出土縄文土器実測図（6）	90
第41図 古城遺跡出土縄文土器実測図（7）	91
第42図 古城遺跡出土縄文土器実測図（8）	92
第43図 古城遺跡出土縄文土器実測図（9）	93
第44図 古城遺跡出土弥生時代以降土器実測図（1）	97
第45図 古城遺跡出土弥生時代以降土器実測図（2）	98
第46図 古城遺跡出土弥生時代以降土器実測図（3）	99
第47図 古城遺跡出土弥生時代鉄器及び玉類実測図	100
第48図 古城遺跡出土土器実測図（1）	108
第49図 古城遺跡出土石器実測図（2）	109
第50図 古城遺跡出土石器実測図（3）	110
第51図 古城遺跡出土石器実測図（4）	111
第52図 古城遺跡出土石器実測図（5）	112
第53図 古城遺跡出土石器実測図（6）	113
第54図 古城遺跡出土石器実測図（7）	114

第55図 古城遺跡出土石器実測図 (8)	115
第56図 古城遺跡出土石器実測図 (9)	116
第57図 古城遺跡出土石器実測図 (10)	117
第58図 古城遺跡出土石器実測図 (11)	118
第59図 古城遺跡出土石器実測図 (12)	119
第60図 古城遺跡出土石器実測図 (13)	120
第61図 古城遺跡出土石器実測図 (14)	121
第62図 古城遺跡出土石器実測図 (15)	122
第63図 古城遺跡出土石器実測図 (16)	123
第64図 古城遺跡出土石器実測図 (17)	124
第65図 古城遺跡出土石器実測図 (18)	125
第66図 古城遺跡出土石器実測図 (19)	126
第67図 古城遺跡出土石器実測図 (20)	127
第68図 古城遺跡出土石器実測図 (21)	128
第69図 古城遺跡出土石器実測図 (22)	129
第70図 古城遺跡出土石器実測図 (23)	130
第71図 古城遺跡出土石器実測図 (24)	131
第72図 古城遺跡出土石器実測図 (25)	132
第73図 古城遺跡出土石器実測図 (26)	133
第74図 古城遺跡出土石器実測図 (27)	134
第75図 古城遺跡出土石器実測図 (28)	135
第76図 古城遺跡出土石器実測図 (29)	136
第77図 古城遺跡出土石器実測図 (30)	137

表 目 次

表 1 周辺遺跡一覧表.....	2
表 2 布平遺跡B区北端土層断面観察表.....	7
表 3 布平遺跡E区北壁土層断面観察表.....	9
表 4 布平遺跡掘立柱建物跡計測表.....	10
表 5 布平遺跡V層上面検出土坑計測表.....	15
表 6 布平遺跡VI層上面検出土坑計測表.....	15
表 7 布平遺跡出土土器、その他観察表.....	35
表 8 布平遺跡出土石器計測表.....	40
表 9 古城遺跡縄文時代・弥生時代堅穴住居跡一覧表.....	69
表10 古城遺跡縄文時代早期遺物観察表.....	87
表11 古城遺跡縄文時代早期集石遺構一覧表.....	88
表12 古城遺跡縄文時代晚期土器観察表.....	94

表13 古城遺跡弥生時代以降土器觀察表.....	101
表14 古城遺跡出土石器計測表.....	138
表15 報告書抄錄.....	164

図 版 目 次

図版1 布平遺跡全景／A～D区V層上面遺構.....	49
図版2 布平遺跡G・E～F区V層上面遺構／土層断面／竪穴住居跡／出土古錢.....	50
図版3 布平遺跡V層上面掘立柱建物跡.....	51
図版4 布平遺跡V層上面土坑（1）.....	52
図版5 布平遺跡V層上面土坑（2）／布平遺跡出土土器（1）・古錢.....	53
図版6 布平遺跡出土土器（2）.....	54
図版7 布平遺跡出土土器（3）.....	55
図版8 布平遺跡出土土器・石製品（4）／布平遺跡出土石器（1）.....	56
図版9 布平遺跡出土石器（2）.....	57
図版10 布平遺跡出土石器（3）.....	58
図版11 布平遺跡出土石器（4）.....	59
図版12 布平遺跡出土石器（5）.....	60
図版13 布平遺跡出土石器（6）.....	61
図版14 布平遺跡出土石器（7）.....	62
図版15 布平遺跡出土石器（8）.....	63
図版16 古城遺跡全景.....	147
図版17 古城遺跡集石遺構／竪穴住居跡／土坑.....	148
図版18 古城遺跡出土繩文土器（1）.....	149
図版19 古城遺跡出土繩文土器（2）.....	150
図版20 古城遺跡出土遺物（1）.....	151
図版21 古城遺跡出土遺物（2）.....	152
図版22 古城遺跡出土石器（1）.....	153
図版23 古城遺跡出土石器（2）.....	154
図版24 古城遺跡出土石器（3）.....	155
図版25 古城遺跡出土石器（4）.....	156
図版26 古城遺跡出土石器（5）.....	157
図版27 古城遺跡出土石器（6）.....	158
図版28 古城遺跡出土石器（7）.....	159
図版29 古城遺跡出土石器（8）.....	160
図版30 古城遺跡出土石器（9）.....	161
図版31 古城遺跡出土石器（10）.....	162
図版32 古城遺跡出土石器（11）.....	163

第Ⅰ章 はじめに

第1節 発掘調査に至る経緯

県営広域農道西白杵2期地区の事業は、平成6～20年度までの予定で、西白杵郡日之影町西深角から高千穂町野方野まで標高756mの上野岳にトンネルを通し、また深く浸食された岩戸川を橋梁で越えて大野原に至る総延長5,800mに及ぶ広域農道を建設するという計画である。この計画を受けて県教育文化課では、事業を担当する県西臼杵支庁農政水産課と協議を行い、計画路線を踏査確認後、日之影町西深角ならびに高千穂町野方野方面の比較的平坦もしくは傾斜の緩やかな地形の箇所を中心に平成7年11～12月試掘調査を実施した。その結果、試掘箇所では遺跡は確認できなかつたが、以前から绳文時代の遺物等が表面採集されていた日之影町布平遺跡と高千穂町大野原の古城遺跡が、工事の実施計画上影響を避けられないことから記録保存の措置を執ることとなつた。

布平遺跡の発掘調査は、道路の開削によって島状に残される水田部分も国道218号線と同程度の高さに削平するため面積的に広範囲の調査となり、平成8年11月26日から平成9年5月30日までの83日間、約3,000m²で実施された。

一方、古城遺跡の調査は、遺跡の西側の県道7号線に交差するため道路敷きが盛上でかさ上げされ高くなることから法面を含めた広範囲の面積を調査することとなり、平成10年4月20日から平成11年1月22日まで約9,225m²で実施された。

第2節 調査の組織

調査の組織体制は次のとおりである。

調査主体 宮崎県教育委員会

発掘調査（平成8～10年度）、整理・報告書作成（平成10～14年度）機関

宮崎県埋蔵文化財センター

所長

藤本健一（平成8～9年度）

田中 守（平成10～11年度）

矢野 剛（平成12～13年度）

米良弘康（平成14年度）

副参事

木幡文夫（平成8年度）

副所長

岩永哲夫（平成8～9年度、平成9年度は調査第二係長兼務）

江口京子（平成10～11年度）

副所長兼総務課長

菊地茂仁（平成12～13年度）

大畠和博（平成14年度）

副所長兼調査第二課長

岩永哲夫（平成12～14年度）

庶務係長

三石泰博（平成8～9年度）

児玉和昭（平成10～11年度）

総務課総務係長

亀井雄子（平成12～13年度）

野邊文博（平成14年度）

調査第二係長

北郷泰道（平成8年度）

青山尚友（平成10～11年度）

調査第二課調査第三係長 普付和樹（平成12～14年度）

（調査担当）

布平遺跡（平成8～9年度）

調査第二係 主査 谷口武範（平成8年度、平成8～11年度は調査調整担当）

同 主事 高橋 誠（平成9年度）

同 調査員 米久田真二（平成8～9年度）

古城遺跡（平成10年度）

調査第二係 主査 福田泰典

同 主事 和田理啓

同 調査員 柳田晴子

第3節 遺跡の位置と歴史的環境

布平遺跡のある日之影町や古城遺跡のある高千穂町は、九州山地の東側、宮崎県の北西部に位置している。五ヶ瀬町から高千穂町、日之影町、北方町の一帯は、基盤をなす阿蘇溶結凝灰岩が五ヶ瀬川とそ

1	布平遺跡	23	堂山遺跡（古墳・散布地）
2	古城遺跡	24	長崎第2遺跡（縄文・散布地）
3	大野原遺跡（縄文・散布地）	25	官尾野第3遺跡（縄文～弥生・散布地）
4	岩戸五ヶ村遺跡（縄文～弥生・散布地）	26	官尾野第2遺跡（縄文～弥生・散布地）
5	布城遺跡（縄文・散布地）	27	官尾野第1遺跡（縄文～弥生・散布地）
6	説の尾羽根峠跡（中世・城跡）	28	建立神社前（縄文～弥生・散布地）
7	龜山城跡（中世・城跡）	29	桑水流（弥生・散布地）
8	立石横穴墓（岩戸4号横穴・古墳・横穴墓）	30	桑水流横穴墓（高千穂55号墳・古墳・横穴墓）
9	極殿遺跡（弥生・散布地）	31	尾久保第2遺跡（縄文～弥生・散布地）
10	野方野神殿遺跡（縄文～弥生・散布地）	32	柳又第2遺跡（縄文・散布地）
11	馬場先遺跡（弥生・散布地）	33	馬門遺跡（縄文～弥生・散布地）
12	空ノ瓦遺跡（縄文～弥生・散布地）	34	長崎第1遺跡（縄文～弥生・散布地）
13	播磨ノ地遺跡（縄文～弥生・散布地）	35	長崎古墳（高千穂16号墳・古墳・円墳）
14	尾谷古墳（高千穂48号墳・古墳・円墳）	36	長崎第2遺跡（縄文～弥生・散布地）
15	尾谷遺跡（縄文・散布地）	37	柳又1号横穴墓（高千穂3号墳・古墳・横穴墓）
16	今村遺跡（縄文～弥生・散布地）	38	柳又古墳（高千穂4号墳・古墳・円墳）
17	梅ノ木原遺跡（縄文～弥生・散布地）	39	柳又第1遺跡（縄文～弥生・散布地）
18	松ノ原遺跡（縄文・散布地）	40	尾久保第1遺跡（縄文～弥生・散布地）
19	長泊遺跡（縄文・散布地）	41	大平中の谷横穴墓（岩戸7号横穴墓・古墳・横穴墓）
20	柿ノ木原遺跡（縄文・散布地）	42	石原遺跡（縄文～弥生・散布地）
21	椎木遺跡（縄文・散布地）	43	水ヶ崎遺跡（縄文～弥生・散布地）
22	長畠第1遺跡（縄文・散布地）	44	谷城（中世・城跡）

表1 周辺遺跡一覧表



第1図 布平・古城遺跡の位置と周辺遺跡図

の支流により深く浸食され、その高所は比較的緩やかな傾斜の台地や丘陵となっているが、川に面した端部は急崖をなし起伏に富んだ地形を形成している。

布平遺跡は、宮崎県西臼杵郡日之影町大字七折字布平13367ほかに所在する。日之影町役場から北西5.6km、高千穂町役場から南東4.3kmの西深角地区に位置している。標高756mの上野岳から710mの大平岳に至る山塊の南側の深角川に刻まれた谷に沿って開かれた棚田と集落が営まれた中に深角公民館の西分館がある。この公民館一帯の東向きの緩斜面が遺跡であり、公民館建設の際にも多量の遺物が出土したとされる。今回調査した箇所は、その中の深角川に面した標高約280m前後の東斜面である。現況は斜面を棚状に開拓した水田地帯となっている（第2図）。この日之影町を含む西臼杵郡3町の中で、高千穂町の遺跡分布状況は詳細分布調査によりかなり分かっているが、五ヶ瀬町、日之影町は殆ど遺跡の存在が不明のままである。そのような状況の中、この布平遺跡の東方5.2～5.6kmの日之影川左岸に位置する新畠洞穴、その南南西の大滝遺跡は、昭和28年に日向遺跡調査団により発掘調査が行われ、鏡崎式土器など縄文時代後期中葉頃の遺物が出土している。また、さらにその北北東約11.5km上流に位置する出羽洞穴は、昭和40・41年に南九州短期大学ほかによる発掘調査が行われ、後期旧石器時代の遺物が出土している。最近の調査例としては、遺跡の南東約3.7kmの五ヶ瀬川右岸に位置する田向遺跡・平谷遺跡があげられる。これらの遺跡は、県道向山・日之影線の改良事業に伴う事前調査として発掘調査が実施された。このうち田向遺跡では、縄文時代早期の集石遺構や押型文土器・窓ノ神式土器、前期の轟B式土器・曾畠式土器、後期後半の円形プランの堅穴住居跡や熊本県の辛川式併行の土器等、縄文時代の広範な時期の遺構・遺物が発見されている。一方、平谷遺跡では、縄文時代早期の集石遺構や押型文土器、後期中葉～後葉・晩期中葉の遺物、弥生時代後期の方形プランの堅穴住居跡や遺物等が検出されている。

遺跡の北側の上野岳～大平岳の山塊を越えた高千穂町は前述のとおり遺跡詳細分布調査が終了していることもあり数多くの遺跡が周知されている（第1図・表1）。その中にあって古城遺跡は、西臼杵郡高千穂町大字三田井字古城に位置し、高千穂町役場の東北東約4kmの岩戸川右岸標高330m前後の緩斜面上に立地している。遺跡の周辺には、西南西約3.8kmに多量の縄文時代後期後半の遺物が出土した陣内遺跡や南西や西北寄り5.3kmのところに弥生時代中期末から後期にかけての堅穴住居跡が高い密度で谷地形から検出された南平第3遺跡などが存在している。また、古城遺跡の南東約0.4km程のところには、三田井氏の家臣富高氏と高橋元種との合戦で著名な中世山城亀山城跡があり、本遺跡でも関連遺物と見られる青磁片等が出土している。

このほかに高千穂町では、役場の南西1kmの五ヶ瀬川左岸にあるセベット遺跡で縄文時代晚期前半～後葉の堅穴住居跡が検出されている。住居形態は楕円形で田向遺跡の1例と合わせてもわずか2例だけながら、ほかの県内の縄文時代後期後半～晩期前半の状況と同様円形を基調とする堅穴住居が営まれている。このことからも布平遺跡の方形の堅穴住居跡は、多数の縄文土器が出土しているものの埋土状況から縄文時代の遺構ではないと判断されたことの妥当性が追認できよう。また、古城遺跡の円形になると思われる堅穴住居も部分的検出ではあったが、遺構形態からも縄文時代晩期の堅穴住居と見て差し支えないと考えられる。そのほか高千穂町内では周辺地域に比べて遺跡の周知度が高いこともあり、今回報告する古城遺跡を含め弥生時代の集落跡が発掘調査で6例ほど確認されている。

第Ⅱ章 布平遺跡の調査

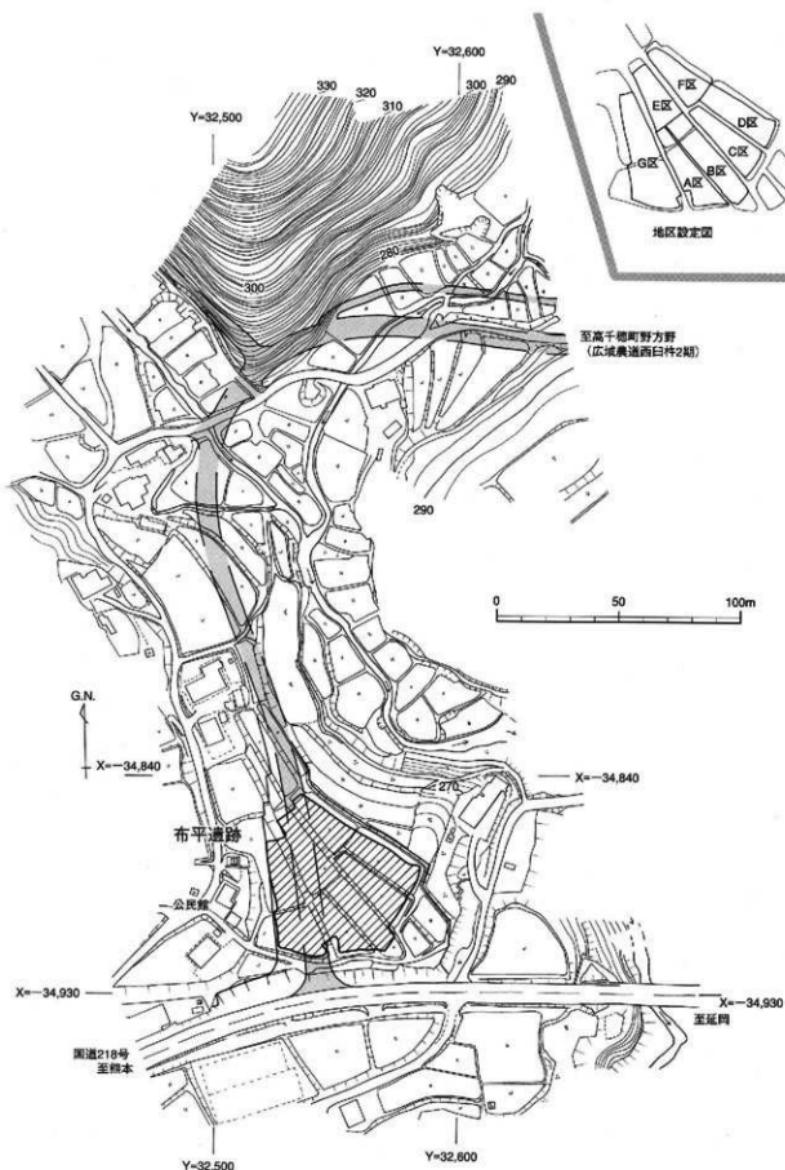
第1節 調査の経過と概要

今回の報告書の作成については、執筆・編集担当者が当時の調査担当者ではない。これは、当時主として調査に従事した嘱託調査員が調査後5年を経過して既に退職していること、また、当時後半の一定期間ともに調査に従事した担当者が、既に定期異動により執筆できなくなつたという事情によるものである。従つて、遺構の検出状況や遺物の出土状況・取り上げ方法等詳細は不明であり、残された図面や写真記録、調査員のメモや終了後報告、実際の遺物等を基に報告者が理解・判断した範囲で報告することになる。以下、調査日誌等を基に調査の経過並びに概要を述べる。

前述のとおり発掘調査は平成8年11月26日から平成9年5月30日まで実施された。調査区が道路敷き及びその周囲の水田削平部分となつたため、排土を僅く場所の関係から調査区を南半・北半のふたつに分けて南半から調査を行つてゐる。先ず初めに調査区全体に土層等を確認するためのトレンチを入れ、南半の2段目の水田から重機による表土剥ぎを行つた。調査は、便宜的に調査区南半の棚田の区画ごとに2段目から下方へA～D、北半の2段目から下へE～F、そして最上段をGとして地区分けし実施した。グリッド杭は設置したが特にグリッド名を付けることはせずに、杭は基準点や標高の確認など実測作業用にのみ使用したようである。そして遺物の取り上げはグリッドごとではなく、殆どが各地区的各層ごとに一括取り上げされている。

重機による表土の除去が終了したA区からD区までの南半から精査を始めたところ、Ⅲ層（暗褐色土）・Ⅳ層（黒褐色土）から縄文時代後晩期の遺物が多量に出土し始め、V層（褐色土）上面で黒褐色土が埴土の土坑2基や多数のピット群、その中から8棟の掘立柱建物跡等を検出している。ただし、このⅢ・Ⅳ層からは少量ながら中世の青磁・白磁片、弥生土器、古墳・古代の土師器小片等も混在して出土している。検出面のV層からは量は少なくなるが縄文土器をはじめ弥生・古墳時代の土器と思われる小片も出土している。V層を精査したのち、VI層（カホヤ火山灰層）上面で土坑4基を検出して、平成9年2月末から3月初めには排土の移動を行ひながら最上段のG区、そして北半のF区・E区の調査に順次移っている。北側も同様の手順で調査を実施し、V層上面で同じく黒褐色土が埴土のピット群多数と土坑4基、F区で掘立柱建物跡1棟、E区では半分のみ残存した竪穴住居跡7軒分（当初は5軒として認識されている）を検出している。その後、VI層上面では土坑4基を検出し、E区・F区・G区南半はVI層上面まで精査し、縄文時代早期の土器が出土している。

なお、V層・VI層上面検出の土坑の基数については、調査終了後に提出された結果報告においてはV層上面から土坑5基、VI層上面から土坑9基という記述がある。しかし、同時に添付された平面図には褐色土層（V層）上面で上坑6基、カホヤ火山灰層（VI層）上面で上坑8基が報告されており、記述内容にずれが生じている。本報告では、文字記述の間違いと図面作図の間違いのどちらがより間違いが少ないかを考えた結果、添付平面図の基数の方で報告することとした。また、これらの遺構の時期について当時の記録では、V層上面検出の遺構を古代～中世の時期に、VI層上面検出の遺構を縄文時代後～晩期に比定している。



第2図 布平遺跡周辺地形図（1／2,000）

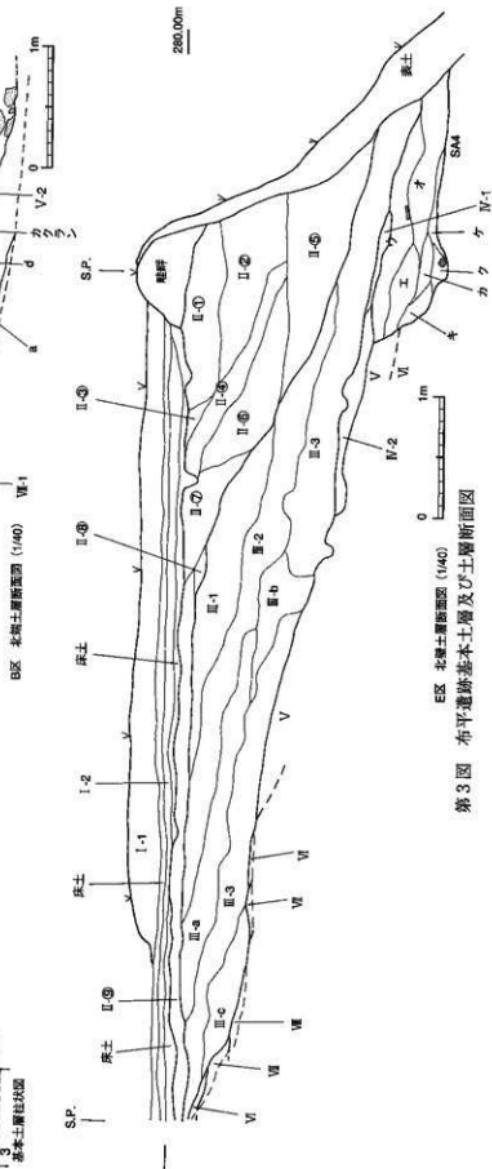
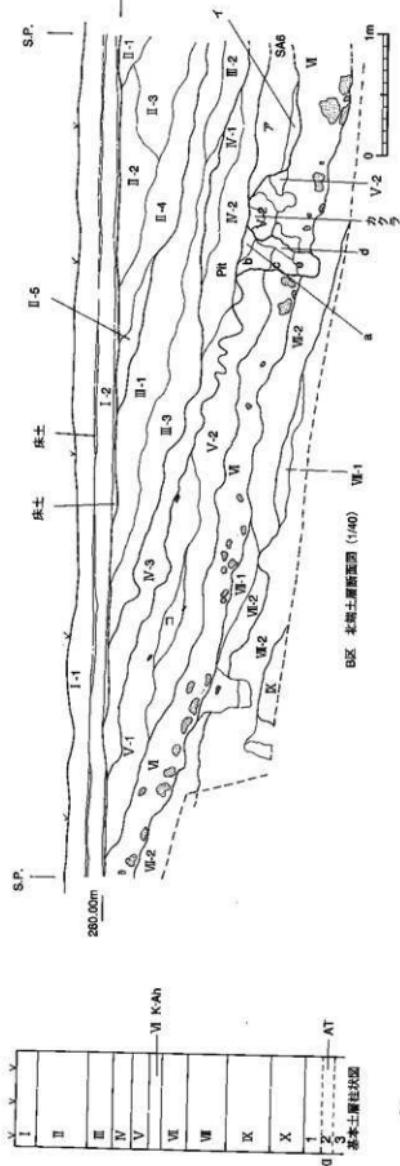
第2節 遺跡の層序

布平遺跡の基本層序については、調査終了後の結果報告、土層断面図、調査日誌及びテフラ分析結果の記述から次のとおりである（第3図）。なお、土層観察か所は、第4図中に示したB区北端部とE区北壁ならびにテフラ分析資料の採取か所においてである。

第I層表土は、現水田耕作土である。層厚は約27cm、新旧の2枚の水田に分けられる。II層は水田耕作のための客土とされ、棚状の山を作る際に高所を削平し低所に盛土したものであろう。厚いところで約70cm。III層は暗褐色土で、根柢は示されていないが霧島高原スコリアが混入した中世整地土とされている。土色の違いから数層に分層されている。層厚は約50cm。IV層は黒褐色土（テフラ分析の層序では暗灰褐色土）でやはり数層に分層でき、5~25cmの厚さである。縄文時代後晩期の遺物包含層とされるが実際には青磁・白磁も出土している。このIV層からはイネやオオムギのプラント・オバールが検出され、周辺での栽培が指摘されている。V層は褐色土で20~30cm。スキ属・クマザサ属・クスノキ科などの植物珪酸体が検出されており、アカホヤ火山灰降灰後の植生の回復状況が推定されている。この層の上面でピット群等を検出している。VI層は黄橙色細粒火山灰層とされ、約6,300年前に降灰したアカホヤ火山灰層である。層厚は10~20cm。VII層は粘質がある暗褐色土で約25cm。縄文時代早期の遺物包含層である。プラント・オバール分析から周辺に照葉樹林の存在が推定されている。VIII層は黒褐色土で約55cm。植物珪酸体分析からはヨシ属が検出され、何らかの原因で湿原的状況になったものと報告されている。IX層は黄褐色土（テフラ分析の層序では褐色土）で約60cm。IX~X層はササ類が主体のイネ科植生が存在していたとされる。X層は黄褐色土でIX層によく似ているが粘性を帯びたシルト質の硬くしまった層である。層厚は30~40cm。XI層はテフラ分析の層序では3層に分層されており、上から1暗灰褐色砂質土で25cm、2黄色輕石混じり黒灰褐色土16cm、3黒褐色土12cmと続き、このうちXI-2層が約2万4~5千年前の姶良Tn火山灰（AT）層である。この前後の水期中もクマザサ属などのササ類を主体とした植生が報告されており、当時の動物相を考える上で重要といわれている。XII層は粘性を帯びた明黄褐色土でやや硬くしまる。IX層によく似る。なお、これらの層の厚さは傾斜地であることを考慮

表2 布平遺跡B区北端土層断面観察表

I-1	現水田耕作土 黄灰色
I-2	旧水田耕作土 黄灰色
II-1~5	客土
III-1	暗褐色 やや軟 3~10mmの炭化物粒や1mm前後の燒土粒を極少量、2~10mmの小礫を含む。旧表土か。
III-2	暗褐色 やや軟 2mm前後の炭化物粒を極少量、5mm前後の小礫を少量含む。
III-3	暗褐色 やや軟 2mm前後の炭化物粒を極少量、1mm以下のV層細粒を少量含む。
IV-1	黒褐色 やや硬 2mm前後の炭化物粒及び小礫少量含む。
IV-2	黒褐色 やや軟 1~5mmの炭化物粒及びV層粒少量含む。
IV-3	黒褐色 やや軟 5mm~10mmのV層粒少量含む。さらさらした土。きめ細かい。
A	S A 6層上 黑褐色 やや軟 1mm~15mmのV層粒少量。5mm前後の炭化物粒極少量含む。
イ	S A 6層下 黑褐色 軟 2~5mmのV層粒多量含む。機械のような土。
V-1	褐色 やや硬 3mm前後の炭化物粒極少量含む。V-1層よりします。
V-2	褐色 やや硬 3mm前後の炭化物粒極少量含む。V-1層よりします。
VI	黄褐色 やや硬 30~200mmのアカホヤブロックを下位に含む。シルト質系の土。
VI-1	にぶい黄褐色 やや硬 VI層とVII層の漸移層。アカホヤブロック少量含む。
VI-2	にぶい黄褐色 やや硬 5mm~50mmの黄褐色粘土ブロック少量含む。やや粘性あり。
VII-1	褐色 硬 且層と遷層の漸移層。やや粘性あり。
VII-2	褐色 硬 20~50mmのV層粒極少量含む。非常にしまり粘性を帯びる。
IX	黄褐色 やや硬 含有物なし。やや粘性。
a	ピット内理土 黑褐色 軟 30mm前後のV層ブロック含む。
b	ピット内理土 黑褐色 軟 2mm前後のV層粒少量含む。
c	ピット内理土 黑褐色 軟 2mm前後のV層粒を含む。アカホヤも混じる。
d	ピット内理土 黑褐色 軟 2mm前後のV層粒多量に含む。
e	ピット内理土 暗オリーブ褐色 やや硬 3mm前後のアカホヤ粒少量含む。
コ	暗オリーブ褐色 硬 1mm~10mmの炭化物粒多量に含むしまった土。泥炭堆土類似。



第3圖 布平地帶基本土壤及V上層斷面圖

表3 布平遺跡E区北壁土層断面観察表

I-1～2	B区と同じ
II-①～⑨	客土
III-1～3	B区と同じ
III-a	暗褐色土 やや硬 1～2mmの炭化物粒、焼上粒、褐色土粒、5mm前後の小種含む。
III-b	暗褐色土 軟 1mm前後の褐色土粒、10mmの大の小種多量含む。ろく柔らかい。
III-c	暗褐色土 やや軟 III-3層よりやや暗い。1～5mmの褐色土粒含む。しまりがない。
IV-1～2	B区と同じ
ウ	S A 4 植土 黒褐色土 やや軟 5mm前後の炭化物粒、20～30mmのⅢ層ブロック少量含む。
エ	S A 4 埋土 黒褐色土 やや軟 3mm前後の炭化物粒、10mm前後のV層粒を少量含む。
オ	S A 4 埋土 黒褐色土 やや硬 1mm前後の炭化物粒・焼土粒少量含む。しまっている。
カ	S A 4 埋土 黒褐色土 やや軟 1mm以下の炭化物粒含む。
キ	S A 4 埋土 黒褐色土 軟 3mm前後のV層粒含む。
ク	S A 4 埋土 黒褐色土 軟 2～5mmのV層粒・焼土粒含む。
ケ	S A 4 植土 黒褐色土 やや硬 1mm以下の炭化物粒、10～20mmのV層ブロック含む。

すると平均的な厚さであろう。

第3節 遺構と出土遺物

1 遺構

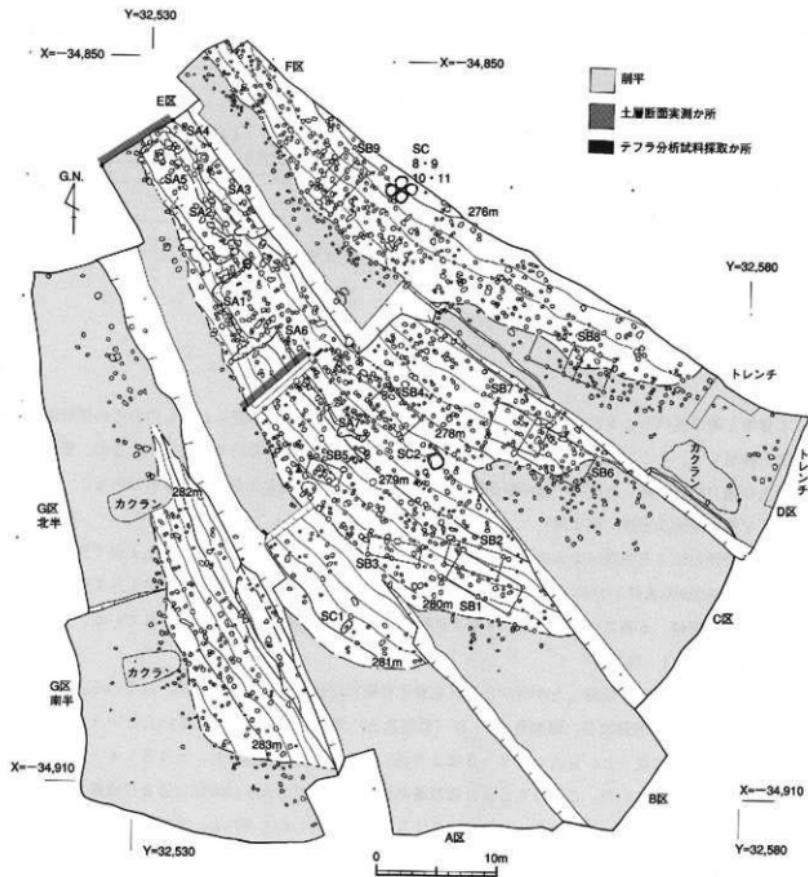
本章第1節で述べたように、調査終了後の結果報告に事実記載の誤りが見られるもののその添付図面の方を採用して、ここではV層上面検出の遺構とVI層上面検出の遺構に分けて記述する。なお、竪穴住居跡及び掘立柱建物跡、土坑の一部の断面図は、平面図の高さの記録よりおこしたものである。

(1) V層上面検出遺構（第4図）

傾斜面の開田により調査区全体の半分以上が削平されていたが、それでもV層褐色土上面で検出された遺構は、総数700基以上のビット群と調査時に確認された9棟の掘立柱建物跡、当初6～7軒と報告された竪穴住居跡、6基の土坑である。V層上面検出遺構は主に黒褐色埋土と記録されている。

竪穴住居跡（S A）（第5図）

B区北端の土層断面を記録したか所からE区北壁土層断面記録か所にかけて検出されている。メモなどによると、竪穴住居跡はIII（暗褐色土）・IV（黒褐色土）層系の土砂に覆われていたという。のちに7軒とされた軒数に従うと、S A 1・2・5はより新しいIII層系の土に覆われ、S A 3・4・6・7はIV層系の土に覆われていた。このうちS A 2はIII層系埋土が中心でS A 5は床面付近及び壁際にはIV層系埋土がレンズ状堆積していたという。故にS A 5よりS A 2が新しいとされる。また、S A 6は若干III層系埋土があり、S A 1より古いがS A 7よりは新しい。S A 3・4は完全にIV層系埋土であったという。出土遺物は殆ど縄文時代晚期の遺物中心であるが、S A 6の床上5～10cmから開元通寶と元符通寶が各1枚ずつ出土し、またS A 1のビット埋土中から白磁片が出土しているという（現在白磁片の所在は不明である）。また、当初S A 2でのちS A 2とS A 5に分けられた竪穴住居跡には2か所の焼土面と1か所の硬化面が確認されており、当初S A 1でのちS A 1とS A 6・7に分けられたうちのS A 1には3か所の焼土面、S A 6にも1か所の焼土面が確認されている。S A 3・4には焼土面は確認されていないが、壁際を巡る溝が確認されている。これらの遺構は、床面の硬化面や焼土痕から竪穴住居跡と認定されたものであるらしいが、削平されたためか残存部分が非常に少ない。主柱穴については住居床面にビットが数多くあるため特定できていない。



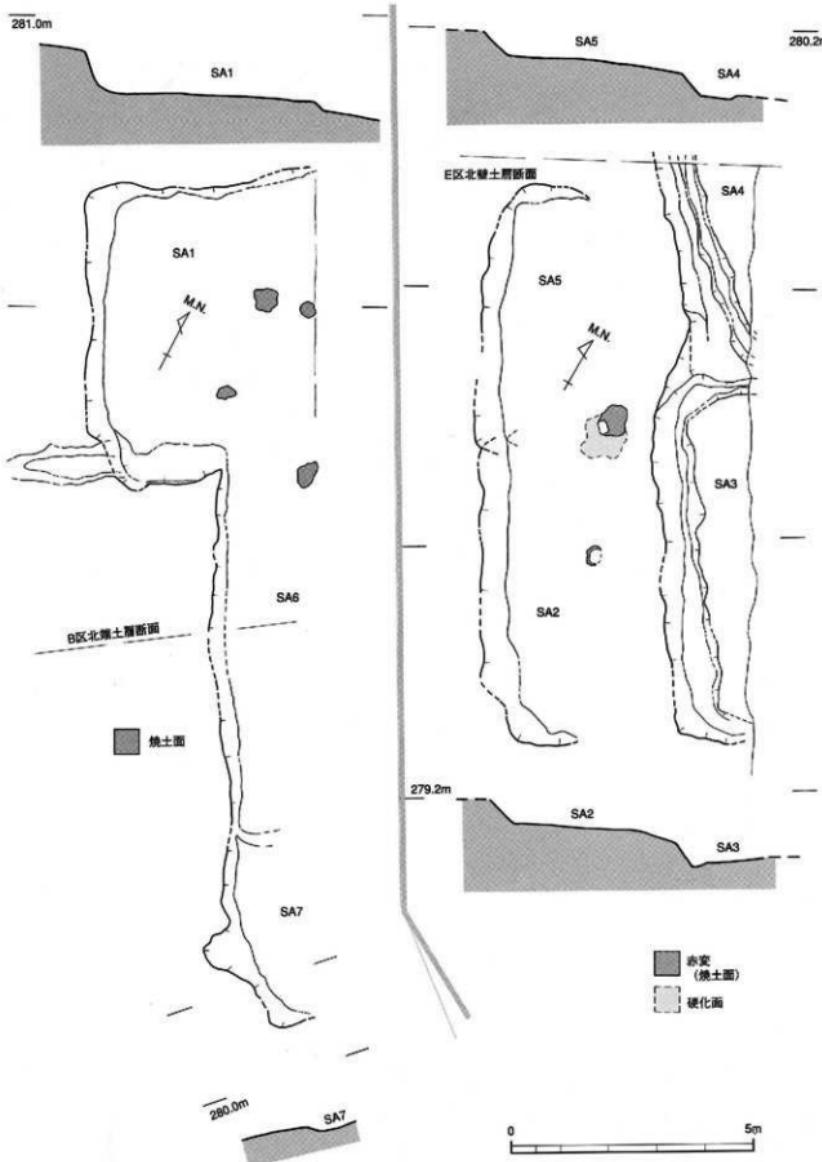
第4図 布平遺跡V層上面検出造構分布図 (1/400)

掘立柱建物跡 (SB) (第6図～第7図 表4)

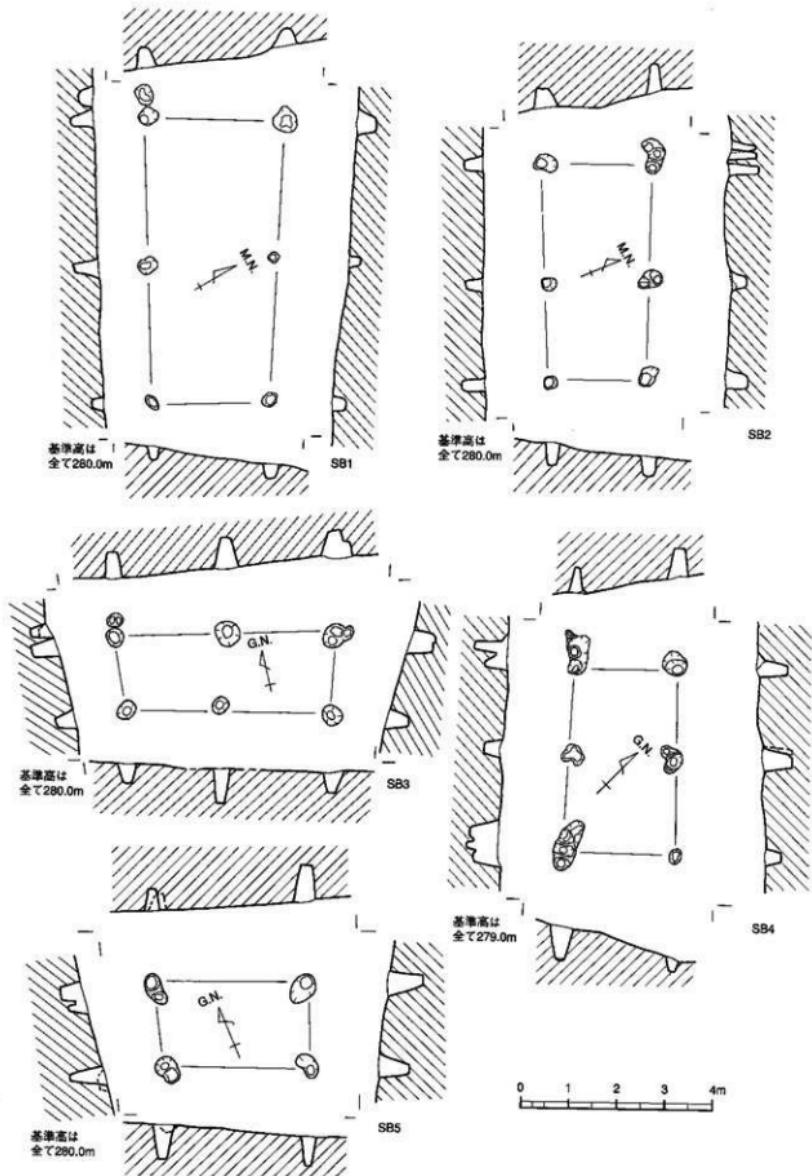
調査中に掘立柱建物跡と認定されたピット列は9棟ある。その殆どが1間×2間の単純な建物である。多くは等高線に添って建てられており、そのうち2例が切り合っている。SB 9のように等高線に垂直

表4 布平遺跡掘立柱建物跡計測表

番号	発出施区・層	主南北位	東 西	南北幅					東西延長	南北延長	面積	南北面積	東西面積	南北面積
				東	西	南北	東西	南北						
SB 1	BR - V層	N -56° -W		1間×2間		2.4		5.8		13.9	SB 2と切合い	南北		
SB 2	BR - V層	N -67° -W		1間×2間		2.0-2.3	4.4-4.5	9.6	SB 1と切合い	南北	柱間平均値での面積			
SB 3	BR - V層	N -78° -W		1間×2間		1.5-1.8	4.2-4.6	7.5			半標準北			
SB 4	BR - V層	N -78° -W		1間×2間		2.1-2.3		3.8		8.4	半標準北			
SB 5	BR - V層	N -67° -W		1間×1間		1.8	3.0-3.2	5.6			半標準北			
SB 6	CR - V層	N -59° 30' -W		1間×2間		3.1-3.3	5.4-5.9	18.1	SB 7と切合い	南北				
SB 7	CR - V層	N -72° 30' -W		1間×2間		3.1-3.2	4.5-5.0	15	SB 6と切合い	南北				
SB 8	DR - V層	N -67° 30' -W	1~2間×5~6間			2.6	6.6-6.9	17.6			半標準北			
SB 9	FR - V層	N -41° 30' -E	2間×4間			2.6-2.7	4.5-4.7	12.2			半標準北、堅硬な柱穴			

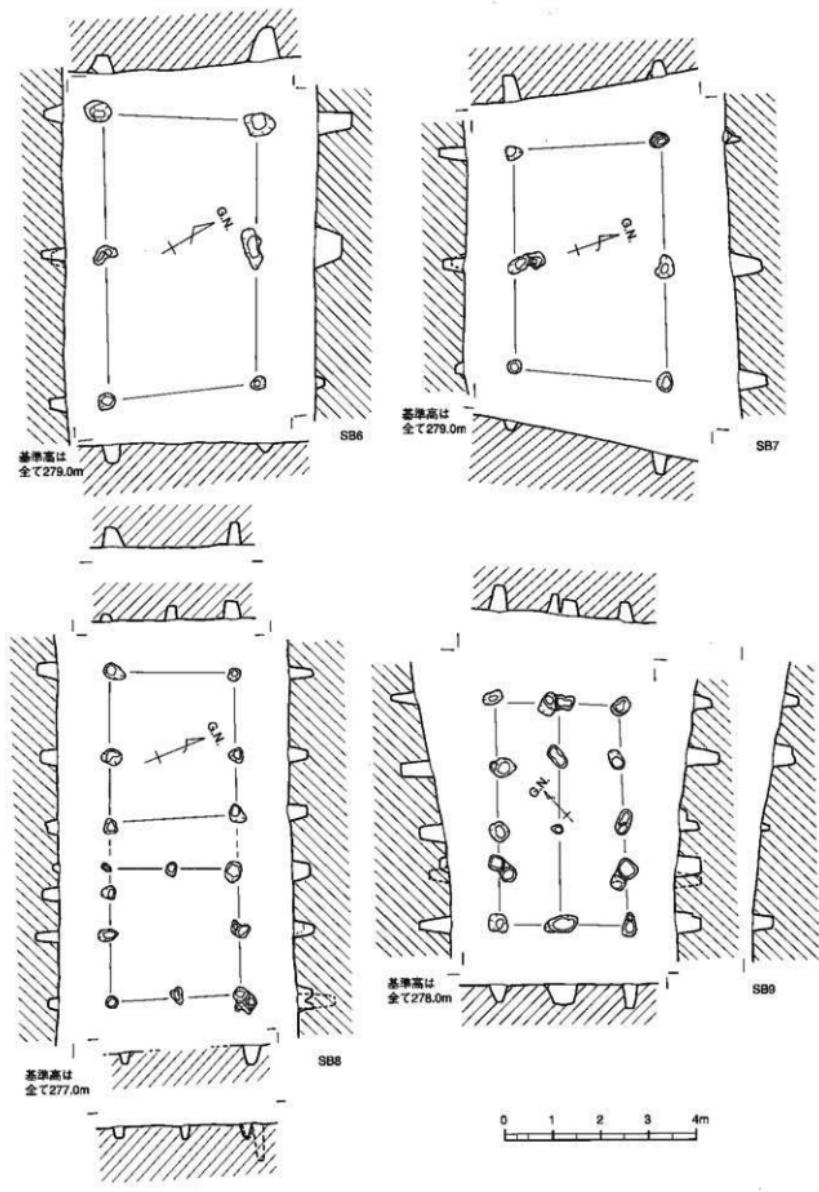


第5図 布平遺跡竪穴住居跡実測図 (1 / 100)



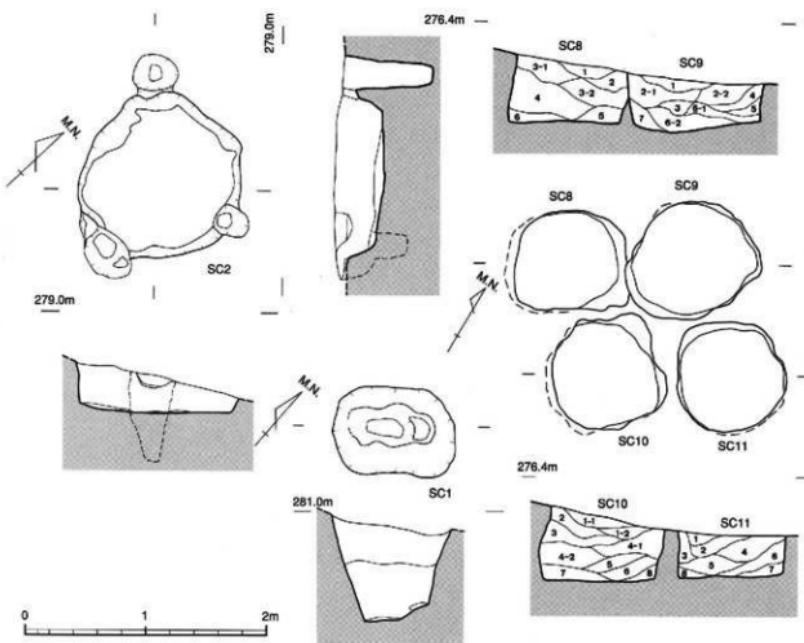
第6図 布平遺跡掘立柱建物跡実測図（1）

$S = 1 / 100$



第7図 布平遺跡掘立柱建物跡実測図 (2)

$S = 1/100$



第8図 布平遺跡V層上面検出土坑実測図（1／40）

SC 8	
1 黒褐色 数 2mm前後のV層粒を含む。	
2 黒褐色 やや灰 2mm前後のV層粒を、30mm前後の暗褐色土ブロックを含む。	
2-1 黒褐色 やや灰 5mm前後のV層粒を多量に含む。1mm前後の炭化物粒を少量含む。	
3-1 黒褐色 数 3mm前後のV層粒を少量含む。	
3-2 黒褐色 やや灰 3~5mmのV層粒を含む。	
4 黑褐色 やや灰 1~8mmのV層粒及び20mm前後の同ブロックを少量含む。20mm以上のアカホヤブロックを含む。	
5 黑褐色 数 5~10mmのV層粒を含む。4層に似る。	
6 黑褐色 やや灰 5mm前後のV層粒を含む。地盤よりしまる。	

SC 9	
1 黒褐色 やや灰 2mm前後のV層粒を少量含む。	
2-1 黒褐色 やや灰 5mm前後のV層粒を多量に含む。1mm前後の炭化物粒を少量含む。	
2-2 黒褐色 やや灰 5mm前後のV層ブロック、3mm前後のアカホヤ粒を含む。	
3 黑褐色 数 50mm前後のV層粒を含む。	
4 黑褐色 数 1mm前後のV層粒を少量含む。	
5 黑褐色 数 10~40mmのV層粒を多量に含む。	
6-1 黑褐色 数 2~10mmのV層粒及びアカホヤ粒を少量含む。	
6-2 黑褐色 数 3~70mmのV層粒、アカホヤ粒及びV層ブロックを含む。	
7 黑褐色 数 5mm前後のV層粒を少量含む。	

SC 10	
1 黑褐色 やや灰 2mm前後のV層粒を少量含む。	
1-2 黑褐色 やや灰 2mm前後のV層粒を少量含む。	
2 黑褐色 やや灰 1~5mmのV層粒、アカホヤ粒を含む。5mmの土層を少量含む。	
3 黑褐色 数 1~10mmのV層粒。アカホヤ粒。30mm前後のV層ブロックを含む。	
4-1 黑褐色 数 2mm前後のV層粒を多量に含む。まれにアカホヤ粒が混じる。	
4-2 黑褐色 数 2mm前後のV層粒及び10~20mmの同ブロックを含む。	
5 黑褐色 数 30mm前後のV層ブロックを少量含む。1mm前後のアカホヤ粒入る。	
6 黑褐色 数 3~5mmのV層粒を少量。5mm前後の炭化物粒を極少量含む。	
7 黑褐色 数 5~20mmのV層粒及び同ブロックを含む。やや粘性あり。	
8 黑褐色 やや灰 1mm以下のアカホヤ粒を少量含む。	

SC 11	
1 黑褐色 やや灰 1mm以下のV層粒を少量含む。	
2 黑褐色 やや灰 1~5mmのV層粒、アカホヤ粒を少量含む。3mmの他土粒を少量含む。	
3 黑褐色 やや灰 10~30mmのV層ブロックを多量に含む。	
4 黑褐色 やや灰 1~20mmのV層粒、アカホヤ粒及びV層・アカホヤブロックを多量に含む。	
5 黑褐色 やや灰 1~3mmのアカホヤ粒を少量含む。	
6 黑褐色 数 5mm前後のV層粒、20mm前後の暗褐色土ブロックを少量含む。	
7 黑褐色 数 1~5mmのアカホヤ粒及び地盤粒を少量含む。	
8 黑褐色 やや灰 2~8mmのアカホヤ粒を含む。きめ細かい。	

方向に建てられたものもあるが、この場合標高の低い方の柱が補強してあるかのように数が多い。このほかにV層上面検出のピット群については、記録によるとその殆どはV層ブロックが混入する黒褐色埋土（IV層系）のピットであるが、E区の堅穴住居跡周辺ではIII層系の暗褐色埋土が8~9割を占めていて、他の地区に比べてピットの時期は比較的新しいと考えられている。

図上ではさらに5~6棟の掘立柱建物跡が復元できるが、現地での確認作業ができないため図化はしなかった。実際にはさらに多くの掘立柱建物跡が存在していた可能性がある。

土坑（SC）（第8図 表5）

土坑は調査終了後の結果報告で検出基数に記述の矛盾があった。先に触れたとおりここでは6基がV層上面で検出されたものとして報告する。なお、図面に注記等のある事柄のみ記述した。

SC 1 の埋土は暗褐色土を基調とするものである。一方、SC 2 はやや軟質の黒褐色土でSC 8~11 の埋土に類似する。またSC 2 の南側と東側は後の時期のピット2基に切られている。SC 1・2 のいずれからも遺物は殆ど出土していないようである。SC 8~11 の埋土もまたピット群の埋土と同質とされている黒褐色系の埋土である。調査者は埋土の観察からは各土坑間の時期差はさほどないのではないかとしている。SC 8~11 からは縄文晩期土器が出土している。当初の基数の矛盾点についてはSC 1

表5 布平遺跡V層上面検出土坑計測表

番号	検出地区・層	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	平面プラン	備考
SC 1	A区・V層上面	1.00	0.71	0.85	楕円形	暗褐色埋土
SC 2	B区・V層上面	1.41	1.32	0.25	不整円形	黒褐色埋土
SC 8	F区・V層上面	0.90	0.80	0.48	不整円形	黒褐色埋土
SC 9	F区・V層上面	1.12	0.97	0.41	不整円形	黒褐色埋土
SC 10	F区・V層上面	0.94	0.90	0.54	不整円形	黒褐色埋土
SC 11	F区・V層上面	0.90	0.89	0.33	円形	黒褐色埋土

のみが暗褐色土系の埋土であり、他の同上面検出遺構に比べてやや違和感がある。

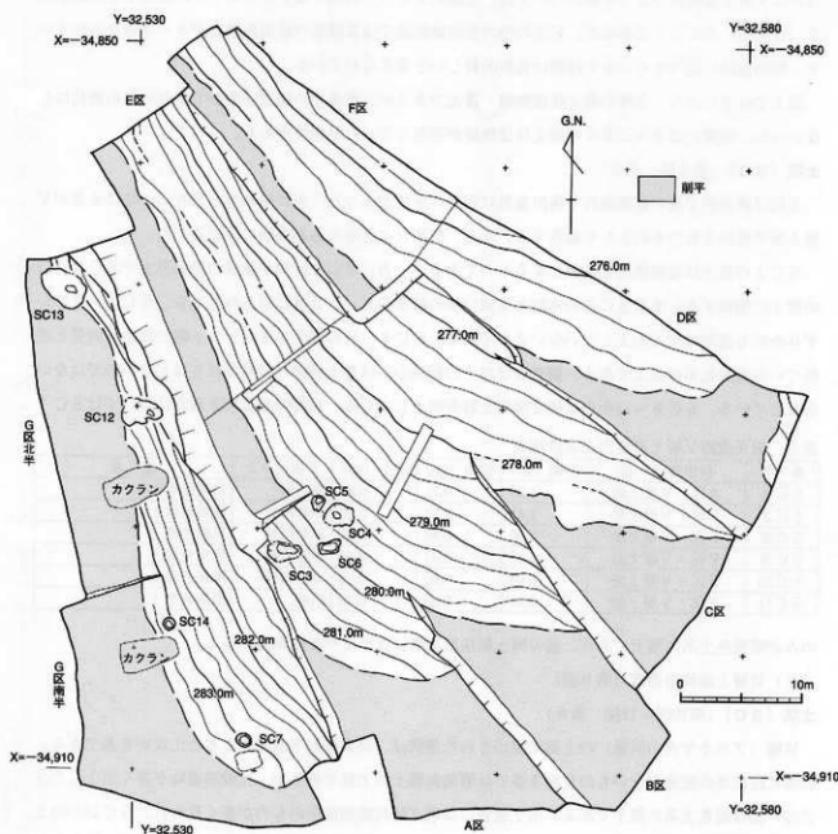
（2）VI層上面検出遺構（第9図）

土坑（SC）（第10図～11図 表6）

VI層（アカホヤ火山灰層）の上面で検出された遺構は、結果報告平面図によると土坑が8基である。図面に注記等の記述がないものを除き多くは暗褐色埋土の土坑であるが、比較的遺物が多く出土したSC 12・13は褐色土系の埋土である。出土遺物には縄文時代晩期前半のものが多く見られ、SC 13の出土状況の記録からは床面より上に浮いた状態であり、いわゆる流れ込みと思われる。埋土はV層系の土であろうか。SC 12の中のピット群は黒褐色埋土のV層上面検出のピットであり、この土坑には伴わない。また、SC 3 の周囲はV層検出のピットに切られているほか、SC 6 では、床面南壁際に一抱えほどもある大きなチャート原石が据え置かれた状態で出土している。なお、このSC 3 の床面直上出土の炭化

表6 布平遺跡VI層上面検出土坑計測表

番号	検出地区・層	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	平面プラン	備考
SC 3	A区・VI層上面	2.78	1.45	0.50	不整楕円形	暗褐色埋土
SC 4	B区・VI層上面	2.50	2.02	0.90	不整楕円形	暗褐色埋土
SC 5	B区・VI層上面	1.20	0.84	0.24	不整楕円形	
SC 6	A区・VI層上面	1.67	1.00	0.40	不整楕円形	暗褐色埋土、チャート原石
SC 7	G区南北・VI層上面	1.16	1.00	0.20	円形	暗褐色埋土
SC 12	G区北半・VI層上面	3.14	1.80	0.70	不定形	SC 13に類似の埋土
SC 13	G区北半・VI層上面	3.93	2.61	0.70	不整楕円形	褐色系埋土、遺物多い
SC 14	G区南北・VI層上面	1.00	0.82	0.22	楕円形	暗褐色埋土

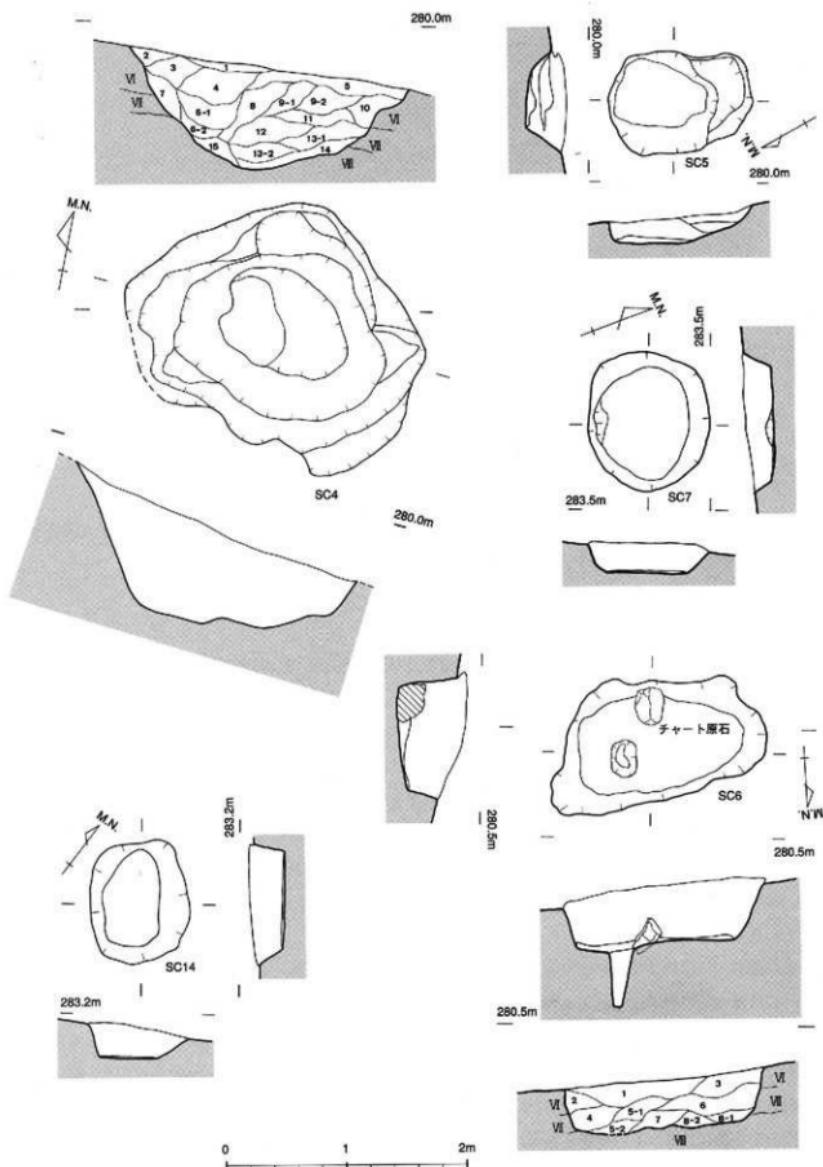


第9図 布平遺跡VI層（アカホヤ）上面検出遺構分布図（1／400）

物を加速器質量分析（AMS）法による放射性炭素年代測定に委託した結果、補正年代値で $3,250 \pm 60$ 年BPという年代が報告されている (^{14}C 年代は $3,270 \pm 60$ 年BP、測定No.Beta-105080)。

2 出土遺物

布平遺跡から出土した遺物は、出土状況や取り上げ状況など詳細は不明である。実際の遺物や残された図面から判断すると、遺構や層ごとの一括取り上げを基本といいわゆる点上げはごく一部で行われたようである。調査終了時に2万5千点とも記された遺物のうちその殆どは縄文時代後期後半から晩期の遺物である。竪穴住居跡や土坑・ピット等からも多量に出土しているが、多くはⅢ・Ⅳ層、量的には少なくなるがV層からも出土している。また、早期の遺物はアカホヤ火山灰層の下のⅥ層から出土してい



第10図 布平遺跡VI層上面検出土坑実測図（1）

S = 1 / 40

SC 4

- 1 暗褐色 やや軟 1～2cmのV層ブロックを少量含む。
 2 赤褐色 やや硬 1～5mmのアカホヤ粒を少量含む。シルト質。
 3 暗褐色 やや硬 2cm前後のV層ブロック、1mm以下の炭化物粒を少量含む。しまっている。
 4 極暗褐色 やや硬 やや粘性帯びる。しまっている。
 5 黄褐色 やや硬 5cm前後のV～2層ブロックを少量含む。
 6-1 極暗褐色 やや軟 1cm前後の褐色土ブロックを少量含む。粘性がある。
 6-2 極暗褐色 やや硬 5mm前後の褐色土ブロックを少量含む。粘性がある。
 7 暗褐色 やや硬 1～2cmの褐色土ブロックを含む。しまっている。
 8 暗褐色 やや硬 2～5mmのアカホヤ粒を極少量、2cm前後の褐色土ブロック少量を含む。しまっている。
 9-1 暗褐色 やや硬 1mm～4mmのアカホヤ粒及び同ブロックを含む。シルト質。
 9-2 暗褐色 やや硬 1mm～1cmのアカホヤ粒を少量含む。シルト質。
 10 暗オリーブ褐色 やや硬 2mm前後のアカホヤ粒を極少含む。しまりのあるシルト質。
 11 暗褐色 やや軟 1～3mmのアカホヤ粒を極少量、2cm前後のV～2層ブロックを含む。やや粘性がある。
 12 暗褐色 やや硬 5mm～5cmのアカホヤ粒及び同ブロック少量、5mm前後の褐色土粒含む。
 13-1 暗褐色 やや硬 1mm～10mmのアカホヤ粒を多量含む。シルト質。
 13-2 暗褐色 やや硬 1mm～2cmのアカホヤ粒及び同ブロックを含む。シルト質。
 14 極暗褐色 やや硬 2mm前後のアカホヤ粒極少量、2～3cmの豊富ブロック含む。粘性がある。
 15 暗褐色 やや軟 5mm～1cmの瓦礫粒含む。粘性がある。V層に類似。

SC 6

- 1 暗褐色 やや軟 2cm前後のV層ブロックを含む。
 2 暗褐色 やや硬 1mm前後のアカホヤ粒及び2～3cmのV層ブロックを含む。
 3 暗褐色 やや硬 3～10cmのアカホヤ粒を少量含む。
 4 暗褐色 やや硬 2～8mmのアカホヤ粒少量、1cm前後の瓦礫粒を含む。しまっている。
 5-1 暗褐色 やや硬 1mm前後のアカホヤ粒極少量、1cm前後の青灰色ブロックを含む。粘性がある。
 5-2 暗褐色 やや硬 1mm前後のアカホヤ粒極少量、1cm前後の青灰色ブロックを5～1層より多く含む。粘性がある。
 6 暗褐色 硬 5mm前後のアカホヤ粒を極少含む。しまっている。
 7 暗褐色 やや軟 3mm前後のアカホヤ粒を含む。2cm前後のV層ブロックを少量含む。
 8-1 極暗褐色 やや軟 5mm～1cmのV層粒を少量含む。粘性がある。
 8-2 極暗褐色 やや軟 5mm～1cmのV層粒を含む。粘性がある。

る。遺物の大半が出土するⅢ・Ⅳ層からは既に述べているとおり中世の陶磁器類や弥生土器・土師器等も小片ながら少量混在している。

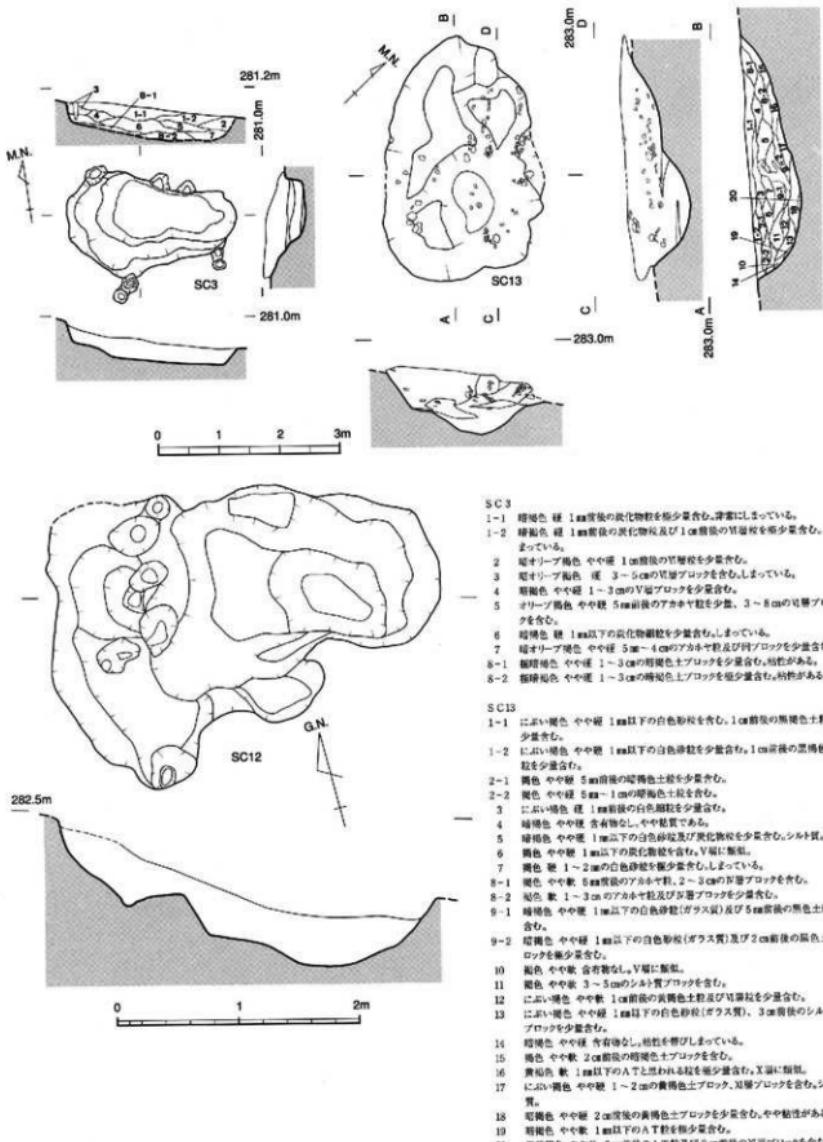
縄文時代の遺物と遺構出土遺物について

(1) 土器その他 (第12図～第19図 表7)

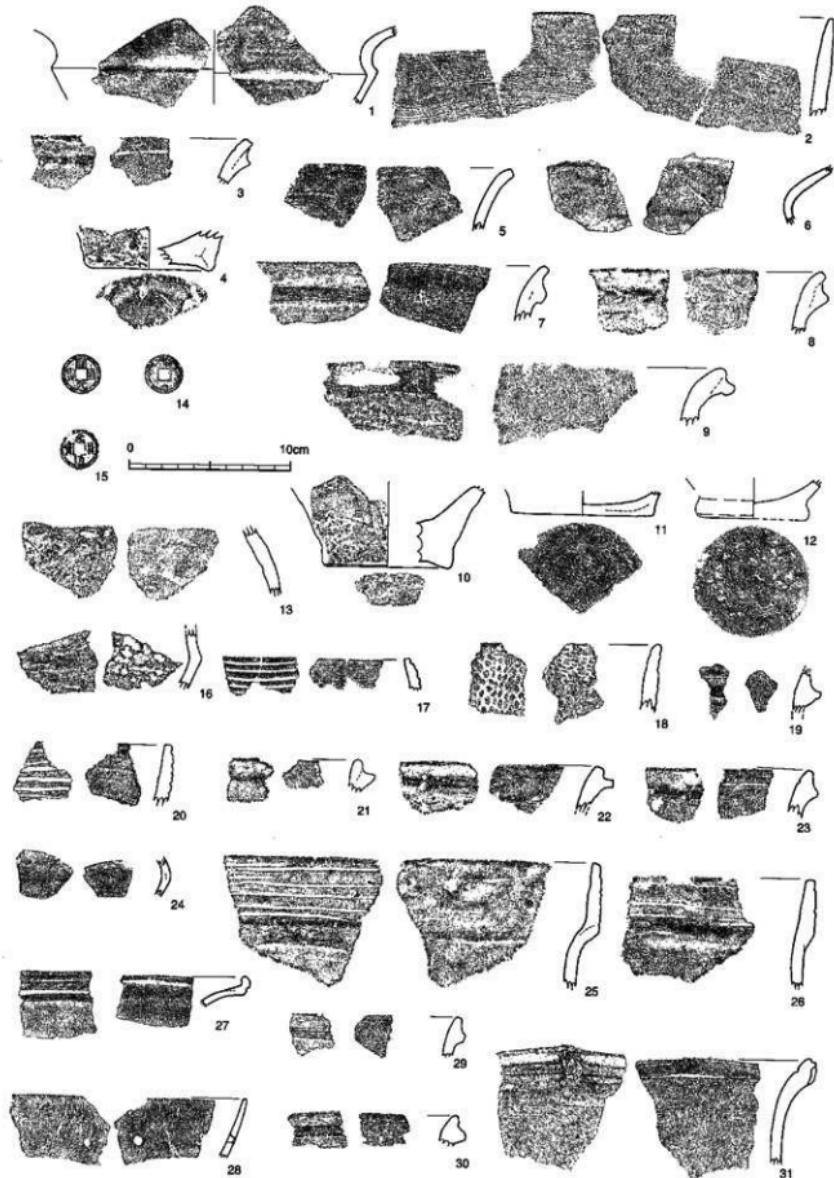
出土遺物のうち遺構出土の土器、その他関連遺物及び包含層出土の比較的破片が大きなものや時期的特徴を表すものを図化した。

このうち第12図1～4は1号竪穴住居跡 (SA 1) 出土である。晩期前～中葉の土器であろう。5～12はSA 2出土。同様の時期を示す土器類である。ところが関連して住居跡出土遺物として14～15の古鏡が出土している。これらはSA 6の床面近くから出土し、調査者がE区竪穴住居跡群の営まれた時期を考える際に、多くの縄文土器の出土にもかかわらず、他のピット群の埋土や中世遺物混在の包含層の状況などとともに竪穴住居跡が古代(末)～中世に営まれたものではないかと考えさせられた遺物である。16～46までは土坑出土の土器である。18の早期押型文土器を除いて殆どが晩期前半～中葉の遺物と考えられる。

第14図47～57は縄文時代早期と考えられる土器である。このうち47・49・51・56・57はⅣ層出土である。47は南九州の岩本式土器相当の土器と思われる。55はV層出土であるが手向山式土器と考えられる。56・57は同一個体で早期末に比定されている土器である。58は前期曾畠式土器の胸部片か。59は全容が不明だが宮崎平野部から県北五ヶ瀬川流域に散見される後期中葉頃と考えられる土器であろう。60は後期前半の貼り付けたか折り返した様な口縁帯に単純な短弦線文を施す土器と思われる。61～62は県南地方の後期中葉に見られるいわゆる丸尾式土器であろう。63も条痕や口縁端部の特徴から同時期の所産であろう。第15図64～74は貝殻疑似縄文や磨消繩文を施した土器で、75～82はいわゆる黒色磨研土器である。これらは北久根式・西平式・太郎迫式・三万田式の各土器に相当する。83～90は口縁帯に弦線や凹線を施す黒色磨研の深鉢形土器で、やはり三万田式・鳥井原式・御領式の各土器に相当する。91～

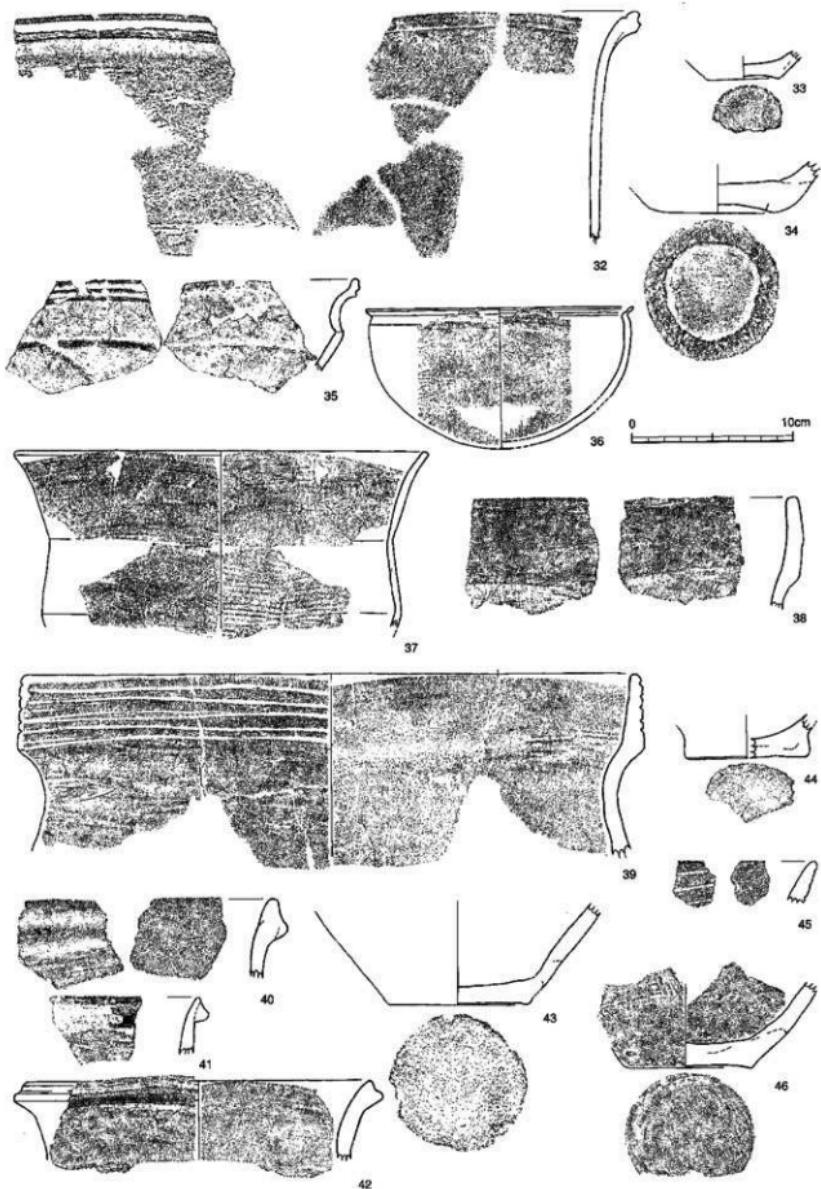


第11図 布平遺跡VI層上面検出土坑実測図（2）



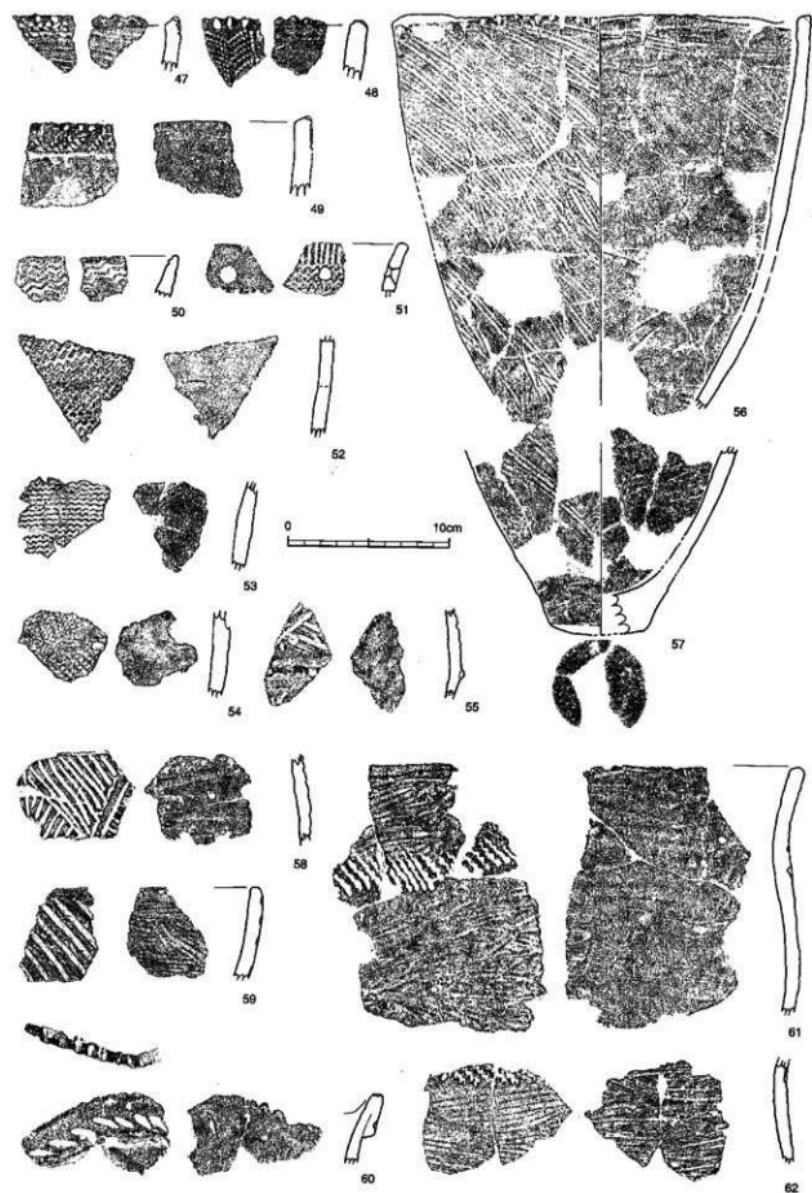
第12図 布平遺跡出土土器実測図（1） ※ S A 6 出土銅錢拓影を含む

S = 1 / 3



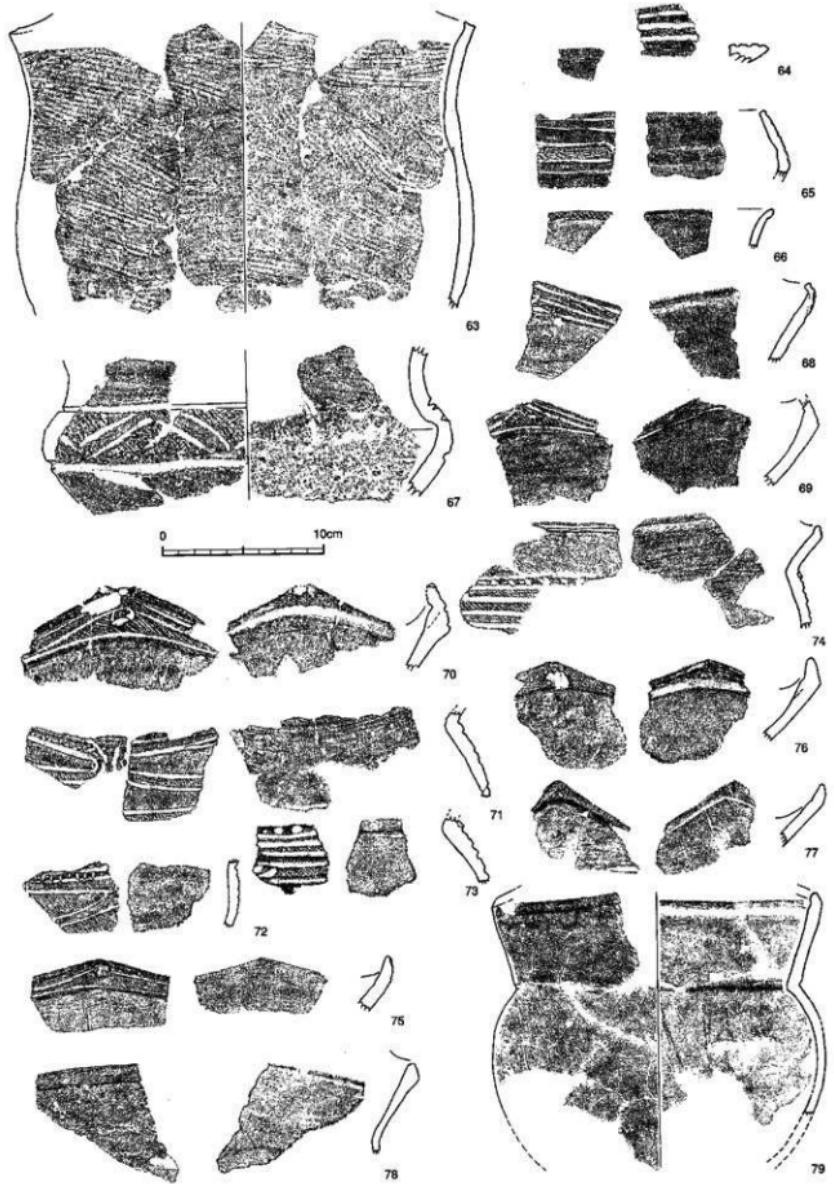
第13図 布平遺跡出土土器実測図（2）

S = 1 / 3



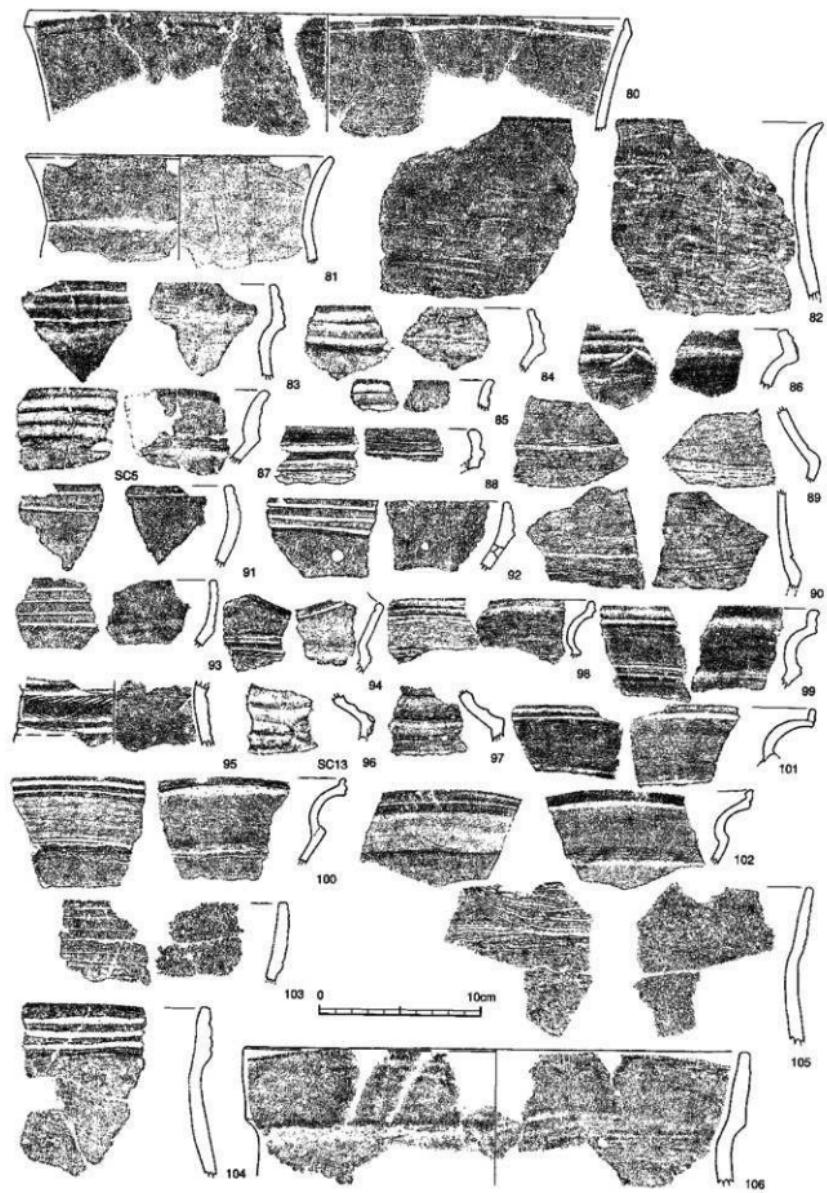
第14図 布平遺跡出土土器実測図 (3)

S = 1 / 3



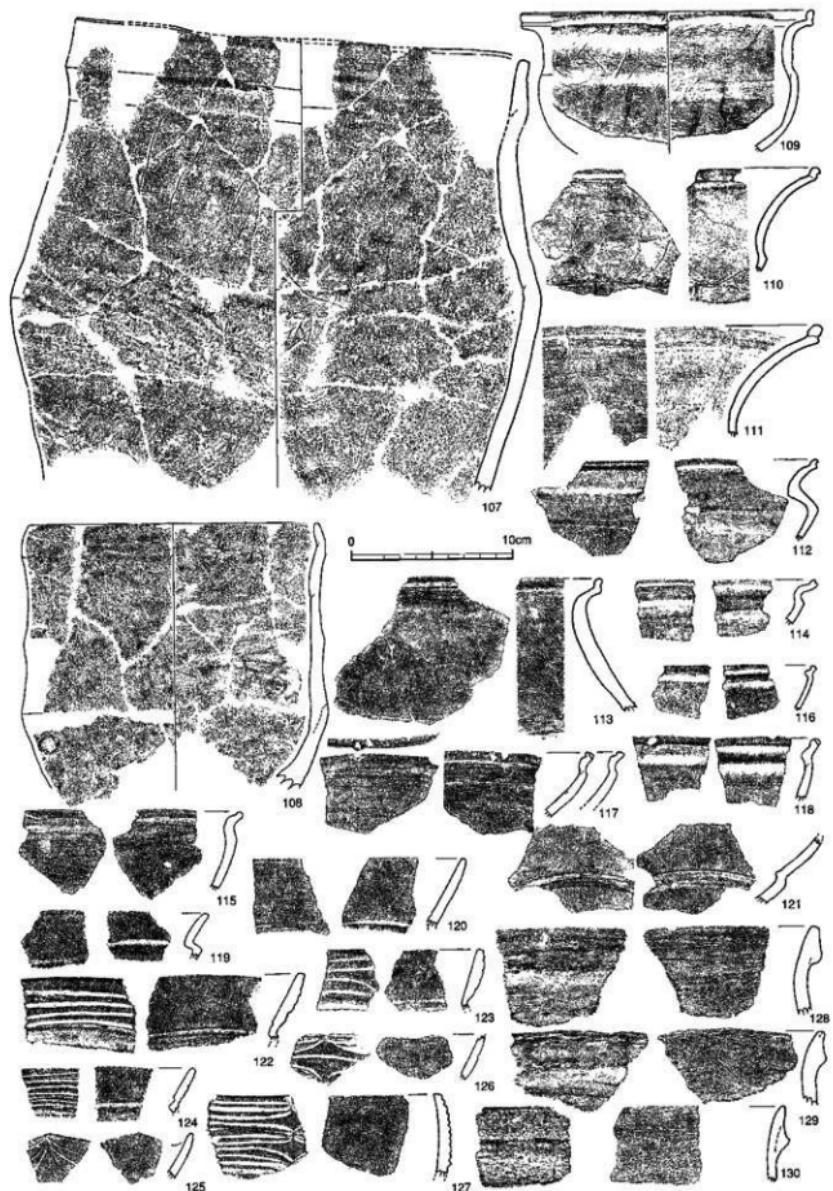
第15図 布平遺跡出土土器実測図 (4)

S = 1 / 3



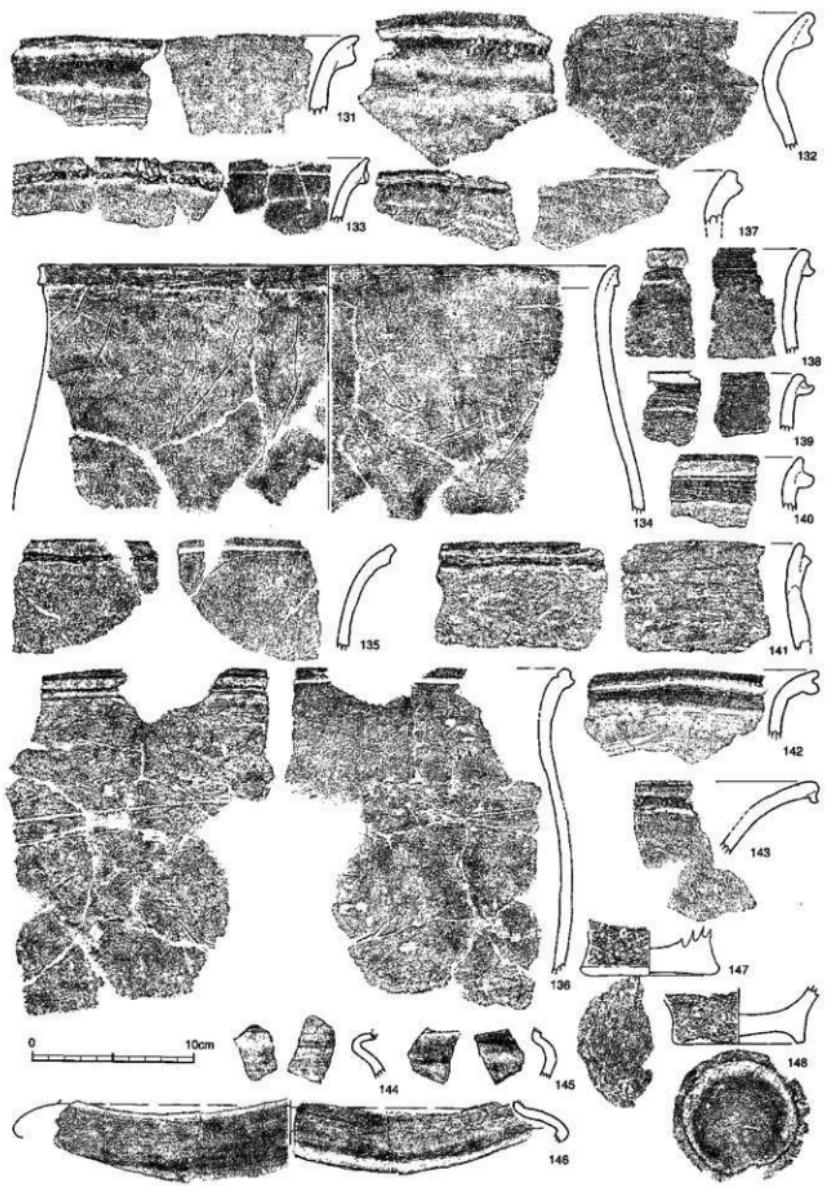
第16図 布平遺跡出土土器実測図（5）

S = 1 / 3



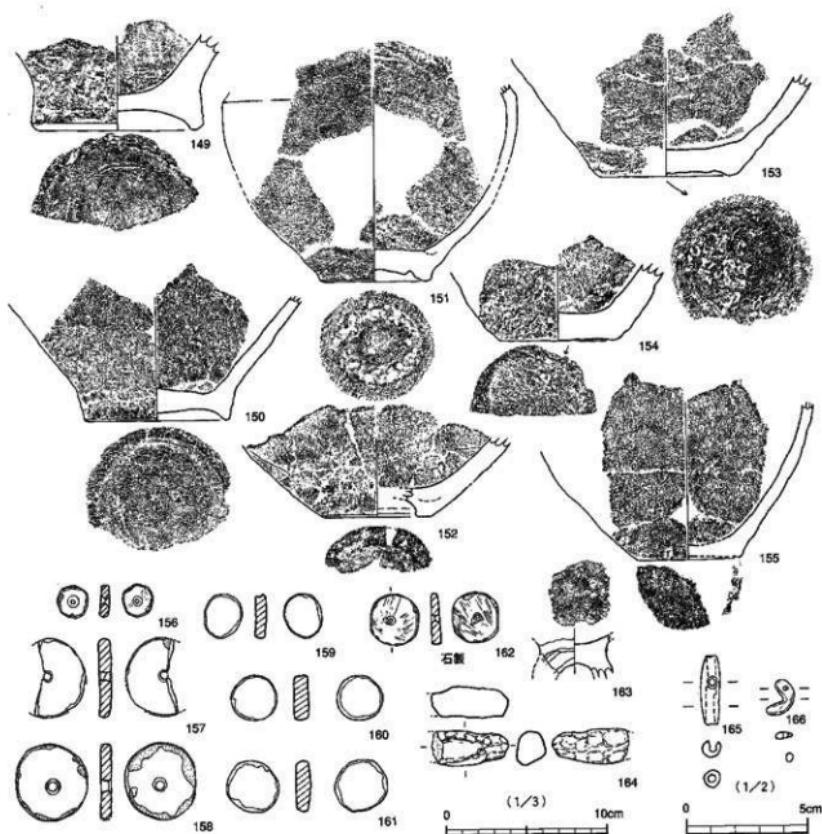
第17図 布平遺跡出土土器実測図（6）

S = 1 / 3



第18図 布平遺跡出土土器実測図 (7)

S = 1 / 3



第19図 布平遺跡出土土器(8)・土製品・石製品実測図

102は三万田式～後期末あるいは晩期初頭と考えられる時期の浅鉢形土器である。103～108は晩期前半の口縁帯を有する深鉢で沈線を施すものや無文のものである。109～127は同じく晩期前半の黒色磨研の浅鉢である。128～143は無文の口縁帯下部が肥厚して突出するもので貼付突帯文を有するものも含まれる。いわゆる無刻目突帯文土器の類である。144～146は從来から黒川式期の浅鉢とされる土器である。147～155は各期の底部である。156～162は有孔または穴のない円整状土製品と有孔円盤状石製品である。163は三万田式期の高杯形土器脚部と思われる。164は手捏ねの土製品、165～166はIV層・V層出土の硬玉製（翡翠輝石）管玉と勾玉である。管玉は側面にも未貫通の孔があく。

(2) 石器類 (第21図～第26図 表8)

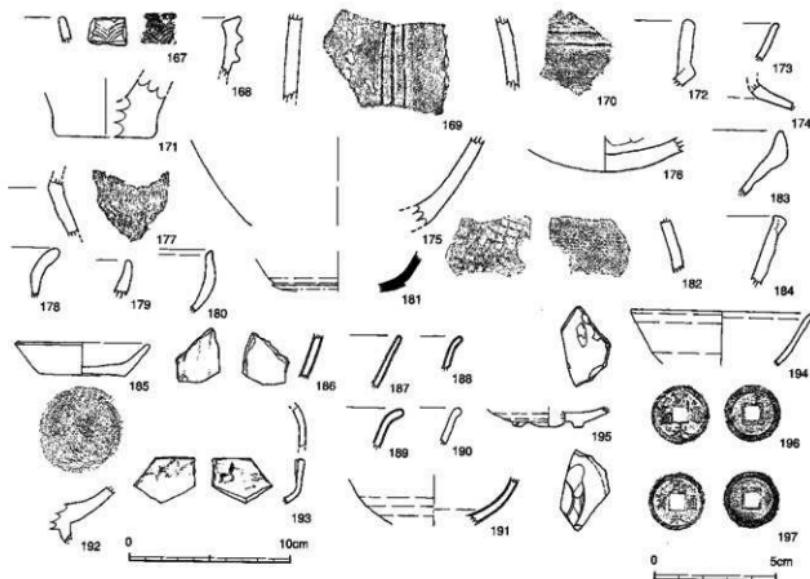
石器類は土器と同じくⅢ・Ⅳ層出土のものが多くを占める。ここでは剥片石器から礫石器の順に主に

層ごとに図示する。石器も多量に出土しているが、岡化できなかったものも全て計測表ならびに図版に示した。もっと多いのは打製石斧である。打製石斧は短冊形（第23図80）あるいは幅が狭く細身のいわゆる石鎌類（第23図81～82など）を含むものが最も多く（I類）、バチ形あるいは基部先端が三角形に尖るもの（II類 第23図83～90）が次に多い。また、そのほかに肩部を有するものも少量であるが出土している（III類 第24図91～96）。全ては岡化できなかったが、その外形をまとめたものが第26図である（整理初期の作成のため多少異類のものも混入している）。このほか、磨製石斧も多くはないが出土している。その殆どは破損品である。また、磨石・敲石の出土量に比べると石皿や台石類はごく少ない。石錐も極めて少ない。特筆すべき石器として第25図122～125の石刀・石棒があげられる。県内でも4例前後しか出土していないと思うが、近くでは高千穂町の陣内遺跡で両方の出土例がある。石器組成については言及できなかったが狩猟用具や工具類の多さが目立っている。

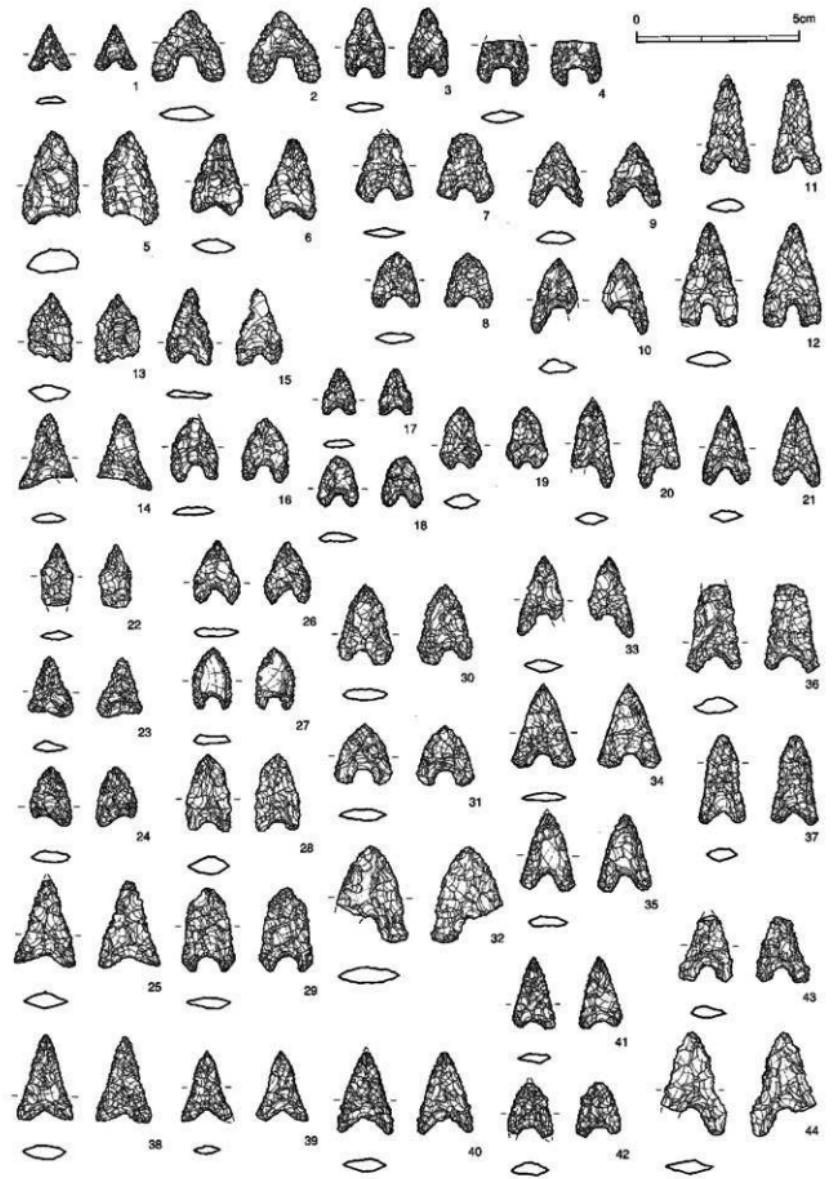
弥生時代以降の遺物（第20図）

167は複合口縁壺の拡張部で外面に櫛波波状文が施される。168は鉢形をなすと考えられ、口縁部に突帯、さらにその直下に2条の突帯がつく。169は壺形土器の胸部で、縦に3条のミミズ張れ状の突帯3条とその両側に縱方向に刻み目が施される。170は壺形土器の肩部で2条の突帯が付される。171は壺形土器の底部で平底を呈す。172は複合口縁壺で拡張部が外傾し、櫛描は見られない。173・174は布留系の壺形土器で口縁部はやや内済しながら外傾する。内外面ともナデ調整。明らかに他の土器と器壁の厚さ、胎土が異なるが、畿内地方の搬入品というわけではない。175・176は壺形土器の底部で丸底を呈す。

177は壺形土器の頸部で口縁部は外面が粗いハケメ、胸部はタタキの後、ナデ調整。179・180は古墳時

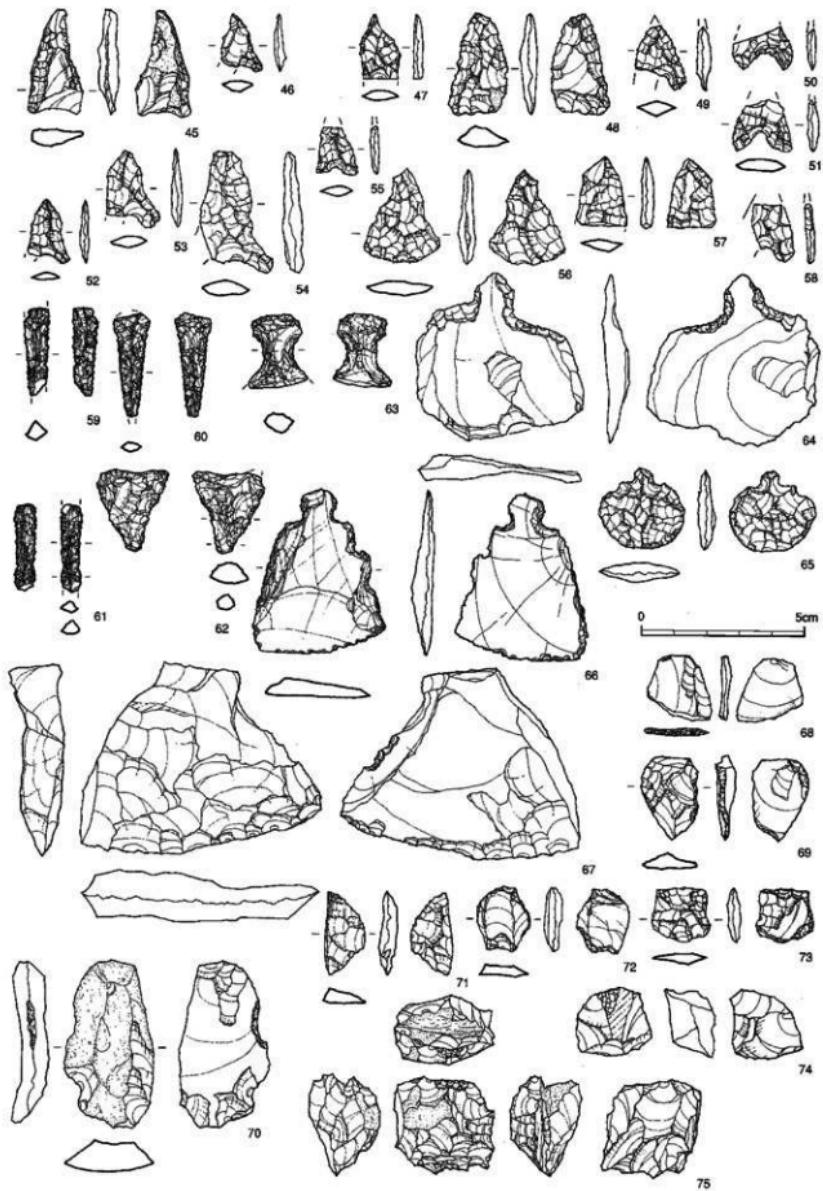


第20図 布平遺跡弥生時代以降出土遺物実測図



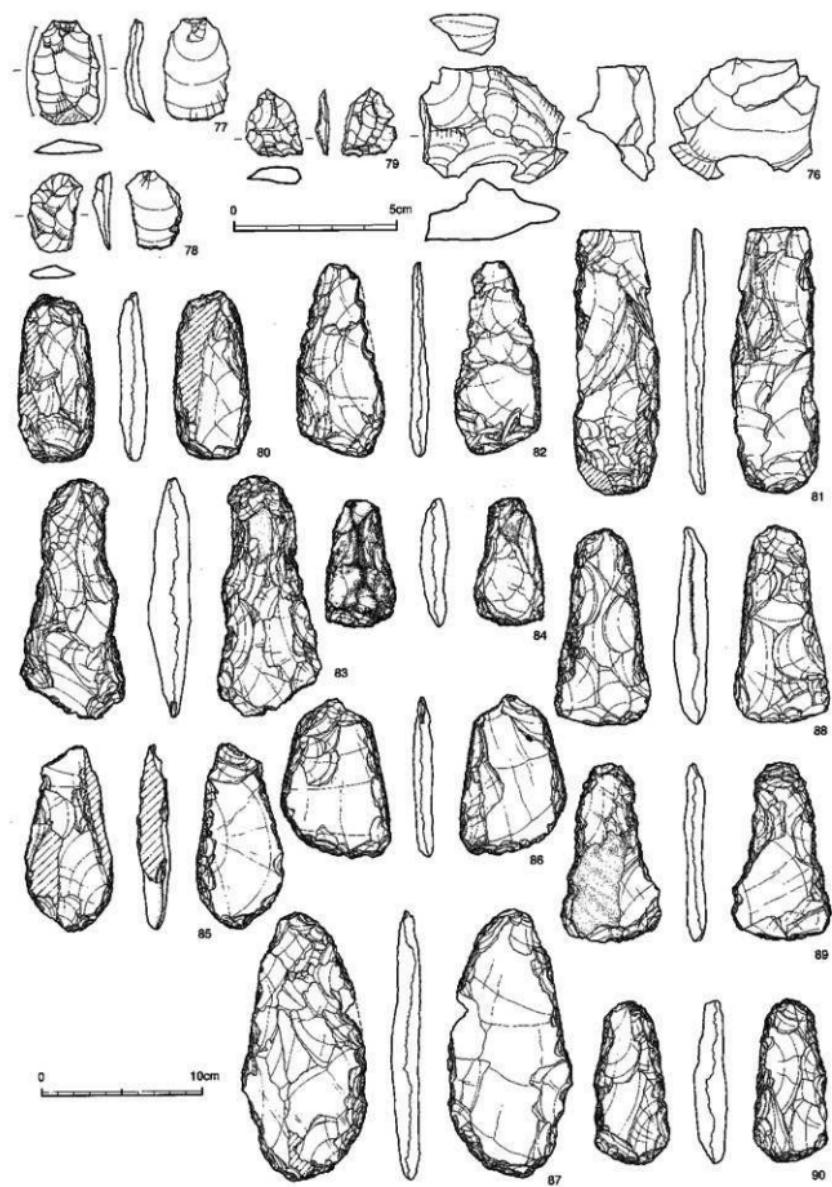
第21図 布平遺跡出土石器実測図（1）

S = 2 / 3



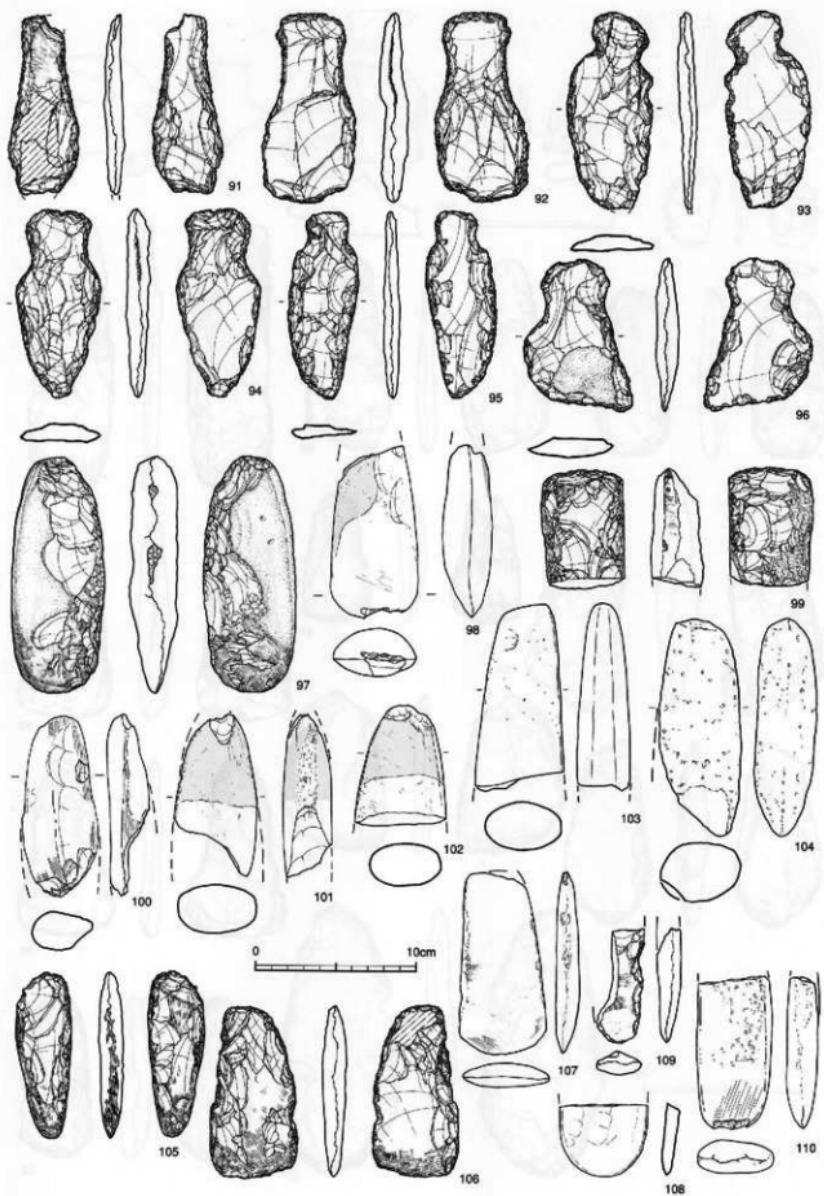
第22图 布平遗址出土石器实测图 (2)

$S = 2 / 3$



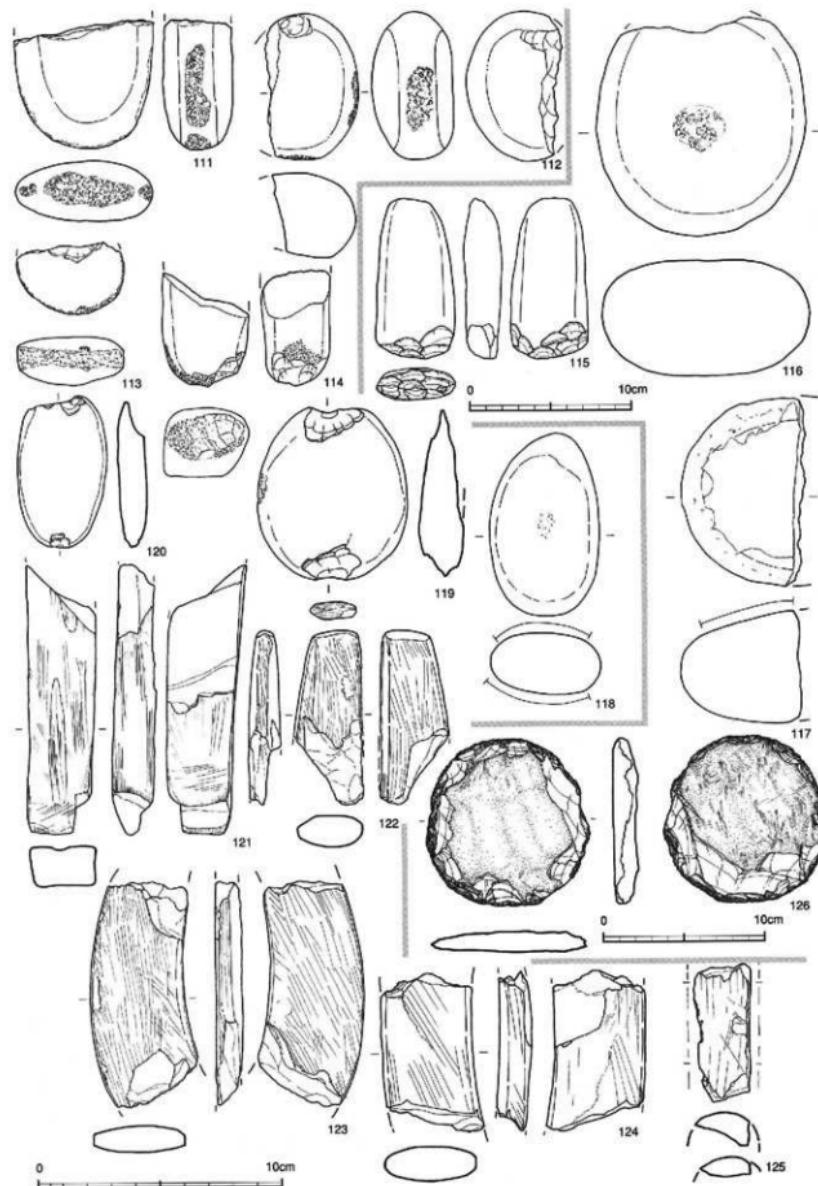
第23圖 布平遺跡出土石器實測圖（3）

$S = 2/3 \cdot 1/3$

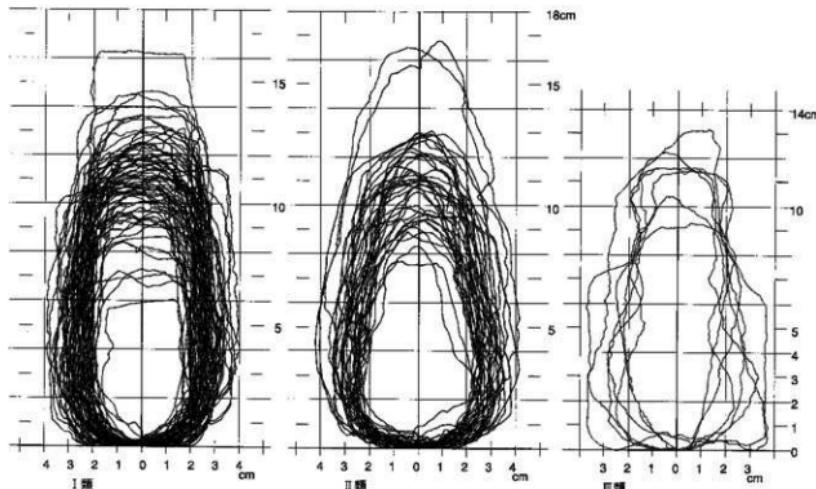


第24図 布平遺跡出土石器実測図（4）

S = 1 / 3



第25図 布平遺跡出土石器実測図（5） 111~116 S = 1/2 115~117 S = 1/3 126 S = 1/3



第26図 布平遺跡出土上打製石斧形態別比較図（1／2）

代の塊形土器で、内外面ともいねいなナデ。181は須恵器高杯の杯部で下半に突帯を有する。182は土師質の壺形七器で外面格子目タタキ、内面横ナデ。183は東播系こね鉢、184も須恵質のこね鉢で口縁部は平口縁をなす。185は土師質の小皿で糸切り底。186～193は青磁である。186・192は線描蓮弁文碗、188～190は端反り碗の口縁部、193は皿（角皿）の可能性がある。194・195は白磁で、195は高台がアーチ状をなす小型の皿である。江戸時代の遺物として寛永通宝（196・197）が2枚出土している。ほかに図示していないが、時期不明のフイゴの羽口の小片や土鉢と推定される破片も出土している。

第4節 まとめ

ここで布平遺跡の造構の時期について述べてまとめにしたい。当時の調査者は、調査終了後の概要報告で造構の時期を埋土状況と検出面で分けていた。その際判断に大きく影響した遺物はやはり第12図14～15の古銭とS A 1のピットから出土したとされる白磁片（現在所在不明）であろう。V層上面で検出された造構はその埋土が上層の黒褐色土・暗褐色土系の土であり、縄文遺物は多量に出土したが混在する中世の遺物（15世紀を中心とする前後）の時期にピット群は比定されている。ただ、竪穴住居跡は古代末～中世かとされたが、Ⅲ～V層から出土した古代の土師器等は摩耗した小片で決め手に欠ける。一方で竪穴住居が中世にも営まれるのかという疑問も残る。調査中に焼土面や硬化面の存在から竪穴住居跡と認定されたため一度は否定された「掘立柱建物用の削平した整地部分」という考え方も再考の余地があると思う。またVI層検出の土坑は縄文時代とされているが年代測定をしたSC 3、縄文晩期の遺物が出土したSC 12・13以外は暗褐色埋土のみで時期を決めがたい。時期不明とした方がよいと思われる。

表7 布平遺跡出土土器、その他観察表

報告書 番号	出土区	部 位	文 標	類 整	色 調		地 土 の 特 徴	備 者
					外 面	内 面		
1 SA1	深鉢 底部		内外面とも腰の方向のヘラミガキ	に赤い背景 に赤い背景	1mm以下の光沢のある黒色角柱状の植物性、灰白色の粘土を含む		内部の一部にススキの黒い部分あり	
2 SA1	深鉢 口縁部		外側 横一筋方向に板状工具によるナ 内側 丁字型ナナ	に赤い背景 に赤い背景	2mm以下の光沢のある黒色角柱状、白色光透明の植物性、乳白色の表面を含む		外側の所々にススキを含む	
3 SA1	豆付 口縁部	無刻印符号文、内面に浅い 凹溝	内外面とも横方向ナナ	に赤い背景 に赤い背景	褐色	3mm以下の乳白色小石、黒色の碎片を含む		
4 SA1	深鉢 底部		外側 緩ナナ一張模方向の工具痕痕 内面 丁字型ナナ	に赤い背景 に赤い背景	オーリーブ系 黄系	3mm以下の光沢のある黒色角柱状、黑色透明白沢のある黒色角柱状の植物性、褐色の碎片を含む	外側黒化(削離)なし 内面にススキ付帯	
5 SA2	深鉢 口縁部		外側 緩ナナ一張模方向の工具痕痕 内面 丁字型ナナ	に赤い背景 に赤い背景	黄系	1mm以下の光沢のある透明、黑色植物性及び白色不透明の植物性を含む	内面にススキ付帯	
6 SA2	深鉢 底部		内外面とも横方向の丁字ナナミガキ	褐色、灰	褐灰、灰	1mm以下の灰白色的、灰沢のある黒色角柱状、白色不透明の植物性を含む		
7 SA2	深鉢 口縁部	無刻印符号文	外側 横方向、一斜側方向のナナ 内面 横方向のナナ	に赤い背景 に赤い背景	2mm以下の褐色透明白沢の角のある植物性、白乳不透明の植物性を含む		外側ススキ付帯	
8 SA2	深鉢 口縁部	無刻印符号文	内外面とも全体的に浅い横ナナ。	褐	褐	1mm以下の光沢のある黒色角柱状、灰白色透明白沢の植物性、1mm~3mmの灰白色、灰色の碎片を含む	外側わざかにススキ付帯	
9 SA2	深鉢 口縁部	無刻印符号文	外側 浅い横ナナ・西斜側あり 内面 ナナ・西斜側	に赤い背景 に赤い背景	4mm以下の横方向の褐色、白色不透明の横ナナ、4mmの光沢のある黒色角柱状の植物性を含む			
10 SA2	深鉢 底部		外側 浅いナナ 内面 ナナ	に赤い背景 に赤い背景	4mm以下の光沢のある黒色角柱状、黑色透明白沢の植物性、5mm以下の灰白色、褐色の碎片を含む			
11 SA2	深鉢 底部		外側 丁字型ナナも少しはミガキ 内面 ミガキナ 内面 ナナ	に赤い背景 に赤い背景	3mm以下の光沢のある黒色角柱状、黑色透明白沢の植物性、灰白色の小石、乳白色の碎片を含む			
12 SA2	深鉢 底部		外側 両方向にナナ。工具痕痕あり 内面 ナナ	に赤い背景 に赤い背景	1mm以下の白色半透明、光沢のある黒色角柱状の植物性を含む		内面、調理による凹みあり	
13 SA4	深鉢 底部		外側 黒いナナ 内面 黒いナナ	に赤い背景 に赤い背景	灰褐色、灰	1mm以下の白色半透明、光沢のある黒色角柱状の植物性を含む	内面に一部ススキあり	
14 SA5	鉢	開口通貫						地上5~10cm後
15 SA6	鉢	元井通貫						岸上約5m、壁端
16 SC2	深鉢 口縁部		外側 緩ナナ 内面 緩ナナ・脱離	に赤い背景 に赤い背景	明褐色	3mm以下の光沢のある黒色植物性、1~4mmの灰白色で不透明な碎片を含む	外側下にススキ付帯	
17 SC3	深鉢 口縁部	5条の沈線文	内外面ともうらミガキ	灰	灰オーリーブ	0.5mm以下の褐色、灰白色の碎片を含む		
18 SC4	深鉢 口縁部	横印押文	外側 緩ナナ 内面 緩ナナ	に赤い背景 に赤い背景	褐色	2mm以下の褐色、灰白色の透明白沢及び黑色角柱状の植物性、5mmの灰白色碎片を含む		
19 SC5	深鉢 口縁部	無刻印符号文	外側 緩ナナ 内面 丁字ナナ	に赤い背景 に赤い背景	1mm以下の光沢のある黒色角柱状の植物性、黑色角柱状の植物性、2mmの灰白色碎片を含む			
20 SC8	深鉢 口縁部	6~7条の沈線文	内外面とも横ナナ	灰褐色	褐色オーリーブ	5mm以下の褐色、灰白色の透明白沢及び白色角柱状の植物性を含む		
21 SC9	深鉢 口縁部	無刻印符号文	内外面とも横ナナ	灰	褐	3mm~5mmの赤い背景、不定形状の骨片、2mm以下の灰白色の透明白沢及び白色角柱状の植物性を含む	外側 厚くススキ付帯	
22 SC10	深鉢 口縁部	無刻印符号文	内外面とも横ナナ	褐色	褐色オーリーブ	2mm以下の光沢のある黒色角柱状の植物性、黑色角柱状の植物性を含む	月刊 黒葉	
23 SC10	深鉢 口縁部	無刻印符号文	内外面とも横ナナ	褐	灰	2mm以下の褐色で透明白沢、灰沢のある黒色角柱状の植物性、灰白色及び褐色の碎片を含む	外側 ススキ付帯	
24 SC11	深鉢 底部		内外面ともうらミガキ	褐色オーリーブ	褐褐色	褐褐色の光沢のある透明、黑色植物性、白灰色の碎片を含む	黒色砂砾土層	
25 SC12	深鉢 口縁部	5条の沈線文(一横一 つなびがわらない)	内外面 ナナ 内面 ナナ	に赤い背景 に赤い背景	灰褐色	1mm~5mmの白い台形の碎片、2.5mm以下の光沢のある黒色角柱状の植物性、黑色角柱状、やや黄色色のある透明白沢の植物性を含む	外・内面と少量のススキ付帯	
26 SC12	深鉢 口縁部	3条の沈線文(横4つぶれ てある)	内外面 横4つぶれ てある	褐色	褐色	1mm~3mmの白い台形の碎片、2mm以下の光沢のある黒色角柱状の植物性、やや黄色色のある透明白沢の植物性を含む	外・内面と少量のススキ付帯	
27 SC12	深鉢 口縁部	1条の沈線文	内外面 横4つぶれ てある	褐色	褐色	1mm~3mmの白い台形の碎片、2mm以下の光沢のある黒色角柱状の植物性、やや黄色色のある透明白沢の植物性を含む	外・内面 黒葉あり	
28 SC12	深鉢 口縁部		内外面 ナナの上にミガキ 内面 ナナ(灰白色)、横方向	に赤い背景 に赤い背景	褐色	褐色な光沢、光沢のある黒色植物性を含む	成城宿原(円削) あり	
29 SC12	深鉢 口縁部	無刻印符号文	内外面とも横ナナ	褐	褐	4mm以下の褐色の碎片を少し含む	外側にススキ付帯	
30 SC12	深鉢 口縁部	無刻印符号文	内外面とも横ナナ	褐	褐	2mm以下の灰褐色、黒褐色、灰白色の植物性を含む	外側にススキ付帯	
31 SC12	深鉢 底部	1条の沈線文、横 足文	外側 横4つぶれの片方ナナ ナナテク	褐色	褐	2mm以下の灰褐色、乳白色、黒褐色、褐色な光沢植物性を含む	辺と同一様	
32 SC12	深鉢 口縁部	横4つぶれ	横4つぶれの片方ナナ	褐	褐	3mm以下の褐色の碎片、乳白色、黒褐色、褐色な光沢植物性を含む		
33 SC12	深鉢 底部		内面 横4つぶれのナナミガキ 内面 横4つぶれのヘラミガキ(光沢がな い)	に赤い背景 に赤い背景	褐色、灰褐色	2mm以下の光沢のある黒色角柱状の植物性、灰白色の透明白沢及び白色角柱状の植物性を含む	上げ茎	
34 SC12	深鉢 底部		外側 横4つぶれのナナミガキ 内面 横4つぶれのヘラミガキ 内面 上部横方向のナナミガキ、下部横ナ のうち横方向のナナミガキ	に赤い背景 に赤い背景	褐色	1mm以下の白色透明白沢、光沢のある黒色角柱状の植物性、5~6mmの灰白色の透明白沢の植物性を含む	外側の一部に黒葉付帯	
35 SC13	深鉢 口縁一部	2条の沈線文	外側 横4つぶれのナナミガキ 内面 横4つぶれのヘラミガキ 内面 上部横方向のナナミガキ	褐色	褐色	褐色な透明白沢植物性及びUO、5~6mmの灰白色の透明白沢の植物性を含む	外側にススキ付帯、内面に灰白色の透明白沢	
36 SC13	深鉢 口縁一部	内面横縁部に1条の沈線文	内外面 横4つぶれのナナミガキ 内面 ナナ	褐色	褐色	褐色~2mmの透明白沢、灰褐色、黑色、灰褐色の4mm以下の光沢のある黒色角柱状の植物性を含む	外側にススキ付帯、内面に灰白色の透明白沢	
37 SC13	深鉢 口縁一部		外側 横4つぶれのナナミガキ 内面 ナナ	に赤い背景 オーリーブ	褐色	2mm以下の透明白沢、光沢のある黒色角柱状の植物性及び3mm以下の光沢、に赤い背景の植物性を含む	外側に区分してススキ付帯、内面 黒葉あり、変化あり	

報告書 番号	出土区 部 位	文 種	調 整	色 国		地 士 の 特 徴	備 考	
				外 壁	内 面			
38	S C13	深鉢 口縁部	外縁 横ナデ、腰頭あり。 内縁 横ナデ、やや丸みあり。	にい青黄 面	3 mm以下の光沢白、黒褐色、茶褐色及び2~6 mm以下の光沢のある黒褐色粘土を含む	外縁部分的にスズ付骨 一部灰化、黒文の口縁 等あり		
39	S C13	深鉢 口縁部	5条の武藏文	外縁 横ナデ、直角底にしらのあき。 内縁 やや扁平な横ナデナカ、所 に浅い凹溝とえぞ	にい青黄 面	5.5~6.5 mmの大光沢の片手、3~5 mm以下の光沢 ある黒褐色粘土。やや黄色のものもある。内縁は 灰青~灰青粘土を含む	外縁一部にスズ付骨、 内縁一部に灰青(ス ズ付骨)等あり	
40	S C13	深鉢 口縁部	新鉢日高文	外縁 横ナデ、腰頭压痕あり。 内縁 横ナデ	にい青黄 面	3 mm以下の光沢白、乳白色、黒褐色等をも 含む。北沢のものと黒褐色角柱状、白色不透明の粘土を 含む	外縁にスズ付骨	
41	S C13	深鉢 口縁部	新鉢日高文	外縁 横ナデ、點打突起。 内縁 横ナデ。	青黄~緑灰黄 面	1 mm以下の光沢のある透明白、黒色角柱状の粘土等。 2 mm以下の赤斑。側面の 片手を含む	外縁にスズ付骨、内縁 の一部灰化	
42	S C13	深鉢 口縁部	新鉢日高文	外縁 横ナデ、腰頭压痕らしい痕迹あり。 内縁 横ナデ	にい青黄 面	1 mm~4 mmの灰白色の粘土、1 mmの光沢のある 黑色粘土を含む	外縁にスズ付骨	
43	S C13	深鉢 底部	外縁 横ナデか、ミガキの黒化したも のの横ナデ。 内縁 横ナデ	明青黄 面	4 mm以下の光沢白、灰褐色、茶褐色の初期、3 mm 以下の光沢のある黒褐色粘土を含む	内縁間に灰化物付着		
44	S C13	深鉢 底部	外縁 横ナデの上を一部横ヘリミガ キナリ。横ナデ。 内縁 横ナデ	にい青 面	3.5 mm以下の光沢白、灰褐色、灰白色、薄葉及び 銀色等を含む。2 mm以下の光沢のある黒褐色角柱状の粘 土を含む			
45	S C14	深鉢 口縁部	3条の武藏文	内外縁とも横ナデ	オリーブ墨 面	3 mm以下の白色角柱状で光沢灰、灰白で透明白、光 沢のある黒褐色粘土の粘土等。5 mm 大のにい青黄 粘土を含む	外縁にスズ付骨	
46	S C18	深鉢 底部	外縁 横ナデ、一部斜方向に直角邊 底部。 内縁 ナデ	青黄~暗青黄 面	2 mm以下の白色角柱状、光沢のある黒褐色粘土の 初期。2 mm以上の赤斑。5 mm 大のにい青黄 粘土を含む	外縁下部をとりくよ うに押さえがる		
47	C 区 直層	深鉢 口縁部	口縁部に無鉢工具による 横ヘリミガキの跡がある。内 縁に横ヘリミガキの跡 がある。また内縁の 腰頭附近で、横出の腰頭 跡と研究文。	外縁 横方向の浅い直角条文 内縁 横ナデもしくは直角条文	にい青 面	3 mm以下の光沢白、乳白色、黒褐色の粘土、銀葉等 白色不透明の粘土を含む	口縫は小美状	
48	G 区	深鉢 口縁部	口縁部に横ヘリミガキによ る横ヘリミガキの跡がある。 内縁に横ヘリミガキの 跡がある。また内縁の 腰頭附近で、横出の腰頭 跡と研究文。	外縁 ナデ 内縁 斜方向にナデ	横・直 面	1 mm以下の光沢白、灰褐色の粘土及び銀葉を白色不 透明の粘土を含む	口縫は小直状	
49	G 区	深鉢 口縁部	口縁部に横ヘリミガキによ る横ヘリミガキの跡がある。 内縁に横ヘリミガキの 跡がある。また内縁の 腰頭附近で、横出の腰頭 跡と研究文。	外縁 丁寧な横ナデか 内縁 横ナデ	にい青黄 面	銀葉と黒、灰、黒色の粘土及び銀葉を白色不透明の 粘土を含む	口縫は小直状、外縫は 斜面多い	
50	F 区 V 層	深鉢 口縁部	横内に山形削型文、内縁 は斜方向に山形削型文	内縁下部 横ナデ	横 面	3 mm以下の光沢のある黒褐色粘土、無色透明の粘 土を含む		
51	B 区 V 层	深鉢 口縁部	内縁に複合平行削型文、斜 方向の山形削型文	内縁 横ナデ	横 面	2 mm以下の光沢のある黒褐色粘土、白色透明白、無 色透明の粘土等を含む	成堆隙隙孔あり	
52	E 区 II 层	深鉢 鉢底	横方向の山形削型文	内縁 横ナデ	にい青 面	2 mm以下の光沢のある黑褐色粘土、白色透明白的 粘土及び3~5 mmの大黒褐色粘土等を含む		
53	E 区 II 层	深鉢 鉢底	横方向の小さな山形削型文	内縁 横ナデ	横 面	3 mm以下の光沢のある黑褐色粘土、白色透明白的 粘土等を含む		
54	G 区 II 层	深鉢 鉢底	梯子目鑄型文	内縁 横・斜方向のナデ	横 面	2 mm以下の白色透明白、光沢のある黑褐色粘土の 初期。2 mm以下の赤斑及びやや青の片手及び6~8 mmの大 の黄褐色の点突起等を含む		
55	V 层	深鉢 鉢底	斜の定窓文、その下に みみ縁の始まる斜方窓文	外縁 横ナデ 内縁 横ナデ	浅青 面	4 mm以下の光沢のある黒褐色粘土、青色の粘土等を含む		
56	E 区 直層	深鉢 口縁部	口縁部に横ヘリミガキによ る横ヘリミガキの跡がある。 斜・左斜方向のケンクリ、一帯に 斜向の腰頭本文。	横 面	3 mm以下の光沢のある黒褐色粘土、光沢のある無 色透明白的粘土の初期。4 mm以下の赤斑、青色 の粘土等を含む	口縫はよく流打ち長い 斜面と斜面、斜面と斜面 等がある。内縫に灰化物付着		
57	E 区 直層	深鉢 直層	斜方向の横鉢底文。	内縁 横ナデ	にい青 面	2 mm以下の光沢白の粘土、無色透明白的粘土、 銀葉等を含む	56と同一隙隙孔と認めた が、56と57の隙隙孔は 違う。56は平底	
58	B 区 IV 层	深鉢 鉢底	上部から下部斜方向の化 粧文(新文形)	内縁 横ナデ	浅青 面	2 mm以下の光沢白の粘土、無色内核性的粘土、 銀葉及び青色の点突起等、4 mm以下の後白の板 等を含む		
59	B 区 V 层	鉢	斜方向の多条の直波文	内縁 斜方のナデ 内縁 斜方の直波文	横 面	1 mm~3 mmの赤斑、灰斑、深青色の片手等を含む		
60	A 区直層 G V 区 口縁部	深鉢 口縁部	口縁部に横ヘリミガキによ る横ヘリミガキの跡がある。 斜・左斜方向の腰頭本文。	横ナデ 内縁 斜方のナデ	にい・青黄 面	2 mm以下の赤斑、黒褐色の粘土及び光沢のある黑褐色 粘土の粘土等を含む	波状口縫	
61	B 区 V - VI 层 直層	深鉢 口縁部	斜方斜に直角腰頭本文 の後、斜方の腰頭本文。	内縁 横ナデ 内縁 斜方の腰頭本文	横 面	5.5~7 mmの大光沢白の粘土、深青~1.5 mmの大 の黒褐色の粘土等を含む	前面に部分的にスズ付 骨等あり	
62	G 区直層 B 区直層	深鉢 鉢底	斜方斜に直角腰頭本文 の後、斜方の腰頭本文。	内縁 横ナデ 内縁 斜方の腰頭本文	横 面	1.5 mm以下の光沢白の粘土、無色透明白的粘土及び 2 mmの大赤の粘土等を含む		
63	B 区 V 层	深鉢 口縁部	斜方斜の腰頭本文。	内縁 横ナデ 内縁 斜方の腰頭本文	横 面	3 mm以下の赤斑、青斑、5 mmの大黒褐色の片手等 を含む	外面の窓にスズ付骨、 内縫は部分的に灰化物付 着	
64	B 区 口縁部	口縁部	口縫部に3条の武藏文、 其外縁の神事による直角腰 頭本文。	内縁と横ナデ	にい・青黄 面	深青色の片手等を含む	上面に土壠基	
65	G 区 直層	深鉢 口縁部	腰頭の直角腰頭文、その上に 其外縁の直角腰頭文。	内縁 横ナデ	オリーブ墨 面	にい・青黄 面	外縫に部分的にスズ付 骨等あり	
66	E 区 直層	鉢	口縫部に横文	外縁 横方向のナデ 内縁 横方向のナデ(原形)	浅青 面	2 mm以下の白色透明白、金色の粘土等の粘土等を 含む		
67	B 区 直層	鉢	横方向の深い直角腰頭文 の後、斜方斜の腰頭本文。	内縁 横ナデ	深青 面	3 mm以下の光沢白の粘土、無色内核性的粘土、 銀葉等の粘土等を含む	内縫の裏化粧しい C	
68	C 区 直層	深鉢 口縁部	上方の武藏文、その上に 下部から斜方斜の腰頭文。	内縁 横ナデ 内縁 斜方斜	にい・青黄 面	0.5~1.5 mmの大光沢白の粘土、2.5~4 mmの大光沢白 の粘土等を含む	波状口縫、外面の隙 縫にスズ付骨、木の実様 の柱があり	
69	G 区 直層	深鉢 口縁部	外縫3条の武藏文により三 角棒等の3個の腰頭本文。	内縁 横ナデ	横方向のナデ(原形) 内縁 横方向のナデ	にい・青黄 面	横方向のナデ(原形)の 粘土等を含む	波状口縫

報告者番号	出土区	部位	文様	調整	色調		出土の特徴	備考
					外	内		
70	C区V層 G区V層	深鉢 口縁部	直溝に横斜工具による押出文、口縁部に2条の横溝と1条の横溝、内面に1条の沈溝文	外側 ミガキ 内側 佛ナデ、部分的にミガキ	に近い黄 に近い黄	緑	0.5mm以下の光沢のある黒色、黒地、0.5~2mmの大粒の斑駁、明瞭な、赤褐色の脈状物を含む	波状口縁
71	A区V層 B区V層	深鉢 腰-肩部	直溝文、弦状文様、夷文	外側 2ゴマ 内側 横・斜方向のミガキ	に近い青緑	浅青	2mm以下の光沢のある黒色地性材、茶、灰白、透明白	外側に部分的にスス付
72	A区	深鉢 胴部	2条の平行溝文様、横2方向	外側 横へラミガキ 内側 佛ナデミガキ	黒青	暗青	2.5mmの大粒の斑駁、黒地と黒色、無色、無色透明	外側に部分的にスス付
73	B区 II層	深鉢 腰-肩部	外側間に横斜工具による押出文、横2方向の比較的浅い文様、腰部に直溝文と2条の横溝文	外側 ミガキ 内側 佛ナデミガキ	黄青	に近い青緑	白、灰、米色の微細繊維、1~3mmの大粒の淡黄色の斑駁を含む	
74	E区 II層	深鉢 口縁-肩部	外側口縁部に2条、腰部に4条の直溝文、腰部に2条の横溝文、腰部に直溝文と2条の横溝文	外側 横方向のミガキ 内側 横へラミガキ	緑	に近い黄 に近い黄	光沢のある黒色の透明白物質、0.5mm~1mmの大粒の斑駁及び斑駁、褐色の砂粒を含む	波状口縁。外側にタキのスス付
75	G区 II層	深鉢 口縁部	口縁部に3条の文様文、直溝文に浅い直溝文	外側と内側とも横ヘラミガキ	に近い青緑	に近い青緑	3mm以下の光沢、灰白色の斑駁、2mm以下の大粒の斑駁を含む	波状口縁
76	G区 II層	深鉢 口縁部	内面に3条の直溝文	外側 横方向のミガキ 内側 佛ナデ、ミガキ(一部風化剥離)	に近い青緑	に近い青緑	2.5mm以下の光沢、灰白色の斑駁、褐色の砂粒を含む	外側に一部剥離、スス付
77	A区 II層	深鉢 口縁部	内面と外側に2条の直溝文	外側と内側とも横ヘラミガキ	に近い緑	緑	1.5mm以下の灰白色、薄褐色の斑駁を含む	外側に2.5mmの、光沢の弱い口縁部と直溝部が削り落す
78	G区 IV層	深鉢 口縁部	内面に1条の直溝文	外側と内側とも横ヘラミガキ	に近い黄 に近い黄	に近い青緑	3mm以下の光沢の灰白色、薄褐色の斑駁、2mm以下の大粒の斑駁を含む	波状口縁
79	B区V層 D区V層	深鉢 口縁-胴部	内面に1条の直溝文	外側 線-横方向のヘラミガキ 内側 横・斜方向のヘラミガキ、佛ナデ	黒青	に近い青緑	2mm~3mmの灰褐色の斑駁、3mm以下の光沢の灰白色地性材、茶色、灰白、褐色の斑駁を含む	外側に部分的にスス付
80	A区V層 B区V層 G区V層	深鉢 口縁部	内面に1条の直溝文	外側 線-横方向のヘラミガキ 内側 佛ナデヘラミガキ	に近い青緑	に近い青緑	1mm以下の光沢、0.5~2mmの大粒の斑駁と無色角柱状の脈状物を含む	外側にスス付
81	B区 V層	深鉢 口縁部	内面に1条の直溝文	外側 横も横ヘラミガキ 内側 テグナの横に横ヘラミガキ	に近い緑	地斑青	1mm以下の光沢、5mm以下の光沢の灰白色の斑駁を含む	外側にスス付
82	G区 II層	深鉢 口縁部	内面に1条の直溝文	外側 佛ナデの横方向の筋とミガキ 内側 横も横ヘラミガキ	に近い青緑	地斑青	5mm以下の光沢、灰色の筋と1.5mm以下の横方向の筋と無色角柱状の脈状物を含む	外側にスス付
83	B区 II層	深鉢 口縁部	横方向に直溝と2条によく3条の直溝文	外側 ミカナ、横・斜方向のヘラミガキ 内側 テグナの横に横ヘラミガキ	に近い青緑	地斑青	横・斜方向のヘラミガキとミカナの横方向の筋と無色角柱状の脈状物を含む	外側にスス付
84	F区 II層	深鉢 口縁部	横を含む3条の中をもついた直溝文、斜方形の直溝文	外側 横も横ヘラミガキ 内側 横・斜方向のミガキ	浅黄 地斑青	浅黄 地斑青	横・斜方向の横も横ヘラミガキとミガキの横方向の筋と無色角柱状の脈状物を含む	
85	E区 IV層	深鉢 口縁部	横を含む3条の中をもついた直溝文、斜方形の直溝文	外側 横も横ヘラミガキ 内側 横・斜方向のミガキ(風化剥離)	浅青	に近い青緑	1mm以下灰白色、浅青緑色の斑駁、無色透明の脈状物を含む	
86	E区 V層	深鉢 口縁部	横を含む3条の中をもついた直溝文、斜方形の直溝文	外側と内側とも横ヘラミガキ	青黄 に近い青	地斑青 に近い青	青緑色の光沢のある黑色、0.5~1mmの大粒の灰白、暗緑及び濃緑色の斑駁	外側に部分的にわざかにスス付
87	S C 5	深鉢 口縁部	中を埋いた複数な3条の直溝文	外側と内側とも横ヘラミガキ	に近い青緑	に近い青緑	横・斜方向の1.5mm~2mmの大粒の光沢のある黒色地性材の斑駁物、1mm以下の光沢の灰白色の斑駁を含む	
88	B区 II層	深鉢 口縁部	横を含む複数な2条の直溝文	外側 横・斜方向のミガキ 内側 佛ナデ	に近い青緑	地斑青	横・斜方向の1.5mm~2mmの大粒の光沢、白地の斑駁を含む	
89	G区 II層	深鉢 胴部	斜に埋いた3条の直溝文	外側 横・斜方向のミガキ 内側 佛ナデ	に近い青	地斑青	横・斜方向の光沢のある黒色、1mm以下の灰白、褐色の脈状物を含む	外側にスス付
90	G区 II層	深鉢 胴部	斜に埋いた3条の直溝文	外側 横・斜方向のミガキ 内側 横・斜方向のミガキ、部分的に横テグナ	オリーブ黒 地斑青	地斑青	横・斜方向の1.5mm~2mmの大粒の光沢消褪、先沢のある黒色地性材の斑駁物、横・斜方向の1.5mm~2mmの大粒の光沢の斑駁を含む	
91	B区 II層	深鉢 口縁部	内面に2条の直溝文	外側 横・斜方向のミガキ 内側 横・斜方向のミガキ	黒	に近い青緑	横・斜方向の1.5mm~2mmの大粒の光沢のある黒色地性材の斑駁物、横・斜方向の1.5mm~2mmの大粒の光沢の斑駁を含む	外側に所々にスス付、横・斜方向剥離あり
92	G区 II層	通鉢 口縁部	中を埋いた3条の直溝文	外側 縦・斜方向のミガキ 内側 横・斜方向のミガキ	に近い青緑	地斑青	横・斜方向の1.5mm~2mmの大粒の光沢の斑駁、横・斜方向の1.5mm~2mmの大粒の光沢のある黒色地性材の斑駁物、横・斜方向の1.5mm~2mmの大粒の光沢の斑駁を含む	
93	A区 V層	浅鉢 口縁部	中を丁寧に埋いた4条の直溝文、斜方形の直溝文	外側 ミカナ 内側 丁寧なミカナ	に近い青 地斑青	地斑青	横・斜方向の1.5mm~2mmの大粒の光沢、1mm以下の灰白色の斑駁を含む	
94	C区 III・IV層	深鉢 口縁-胴部	外側斜-腰部に2条の中をもついた直溝文、斜方形の直溝文、腰部に1条の横溝と1条の横溝(直溝部)、内面に2条の直溝文	外側 線-2ゴマ 内側 横・斜方向のミガキ 内側 佛ナデヘラミガキ	オリーブ黒 地斑青	地斑青 に近い青	横・斜方向の1.5mm~2mmの大粒の光沢消褪、先沢のある黒色地性材の斑駁物、1mm以下の光沢の斑駁物を含む	波状口縁、外側に部分的にスス付
95	B区 IV層	法口土器 口縁部	4条の太めの直溝文、斜方形の直溝文	外側 丁寧なミカナ 内側 丁寧なミカナ、真庭底あり	透青 地斑青	地斑青 に近い青	地斑青の光沢のある黑色、1mm以下の灰白、褐色の脈状物を含む	
96	S C 13	深鉢 胴部	直溝もしくは横溝もしくは斜方形の直溝文	外側 横・斜方向のミガキ 内側 佛ナデヘラミガキ	梅区 透青	地斑青	地斑青の光沢のある黑色、0.5~1mmの大粒の光沢の斑駁物、0.5~1mmの大粒の光沢の斑駁物を含む	
97	E区 II層	深鉢 口縁部	直溝による横溝もしくは斜方形の直溝文	外側 横・斜方向のミガキ 内側 佛ナデヘラミガキ	に近い青	地斑青	地斑青の光沢のある黑色、0.5~1mmの大粒の光沢の斑駁物、0.5~1mmの大粒の光沢の斑駁物を含む	
98	G区 II層	深鉢 口縁-胴部	横テグナによる直溝文、直溝と斜方形の直溝文	外側 横・斜方向のミガキ 内側 佛ナデヘラミガキ	に近い青	地斑青	地斑青の光沢のある黑色、1mm以下の灰白、直溝の微細繊維、1mm以下の無色透明の脈状物を含む	
99	G区 II層	深鉢 口縁-胴部	口縁部による2条の直溝文、斜方形の直溝文	内面と外側とも横ヘラミガキ	地斑青 オリーブ黒	地斑青 オリーブ黒	地斑青の光沢のある黑色、1mm以下の灰白、褐色の脈状物を含む	

報告書 番号	出土区 名	部 位	文 物 様	調 研	色 艶	地 士 の 特 徴		備 サ
						外 面	内 面	
100	E区 口縫部	浅鉢 口縫部	口縫に2条の沈透文(手 は巻かない)、2条の流線文 が、やや突出したように 見える。表面に1条の波形 文がある。	外周 内面 丁寧な模ナデ、わずかに波形 あり	に bei 黄 オリーブ 黒	に bei 黄 オリーブ 黒	光沢のある輪縁を透明、黒色の粘物質。他の約1.5mm の大波の跡がある。	小さな波状凹凸がある。口縫部 横幅が広めで、5mm程度
101	G区 口縫部	浅鉢 口縫部	中も奥いた2条の沈透文	外周と内側とも模ナデ	オリーブ 黒	オリーブ 黒	光沢のある輪縁を透明、黒色の粘物質。他の約1.5mm の大波の跡がある。	
102	G区 口縫部	浅鉢 口縫部	1条の弱い沈透文	外周 内側とも模ナデ	オリーブ 黒	オリーブ 黒	光沢のある輪縁を透明、黒色の粘物質を含む	
103	B区 口縫部	深鉢 口縫部	7条の弱い沈透文		に bei 黄 黒	に bei 黄 黒	1mm~5mm程度の、少し複合的な、1mm以下の光 沢のある黑色、白い不透明の粘物質を含む	
104	G区 口縫部	深鉢 口縫部	3条の沈透文	外周 内側とも模ナデ	基盤	黒	5mm以下の複合性、白い部分の層片、3mm以下の光 沢のある黑色、白い不透明の粘物質を含む	外観の所々にスカス カス付着
105	G区 口縫部	深鉢 口縫部	底あるいは横走の多波形 文	外周 内側とも模ナデ	に bei 黄 黒	に bei 黄 黒	2mm以下の複合性、白い部分の層片、3mm以下の光 沢のある黑色、白い不透明の粘物質を含む	
106	G区 口縫部	(無文の口縫部)		内側とも模ナデ	に bei 黄 黒	に bei 黄 黒	底は複数の不透明な片層、側面は3mm~5mmの白い部分 の底の層片である。底は複数の不透明な片層を含む	内側部の一部にスカ カス付着
107	D-E-V 区	深鉢 口縫部	(無文の口縫部)	内側とも模ナデ	暗赤	暗赤	0.5mm~5mmの複数の層片と底の層片、1mm以下の光 沢のある白色半透明、光沢のある黑色の粘物 質を含む	特に内側部にスカス カス付着
108	G区 口縫部 下部	深鉢 口縫部 下部	口縫にかなり黒化してい る。底は複数の層片である。 底は複数の層片である。	外周 内側とも模ナデ	暗赤 に bei 黄 黒	暗赤 に bei 黄 黒	2mm以下の光沢のある黒色角柱状、角柱状の層片 と、3mm~5mm程度の底の層片及び底の層片を含む	
109	B区 口縫部 下部	(口縫部は無文)		外周 内側とも模ナデ	暗・黒	暗・黒	2mm以下の光沢のある黒色角柱状の層片、2mm以下の 底の層片で不透明な片層を含む	外周口縫部と内側にス カス付着
110	G区 口縫部	浅鉢 口縫部	1条の光沢の沈透文(中 は巻かない)	外周部とも丁寧な模ナデ	に bei 黄 黒	に bei 黄 黒	複数~1mmの乳白、透明の層片、側面を無色透明 の粘物質を含む	
111	B区	浅鉢 口縫部	1条の沈透文(中は巻か ない)	内側とも模ナデ	暗灰黒	暗灰黒	1mm以下の光沢のある黒色または無色透明の粘物 質を含む	
112	B区	浅鉢 口縫部	1条の弱い沈透文	内側とも模方向の丁寧な模 ナデ	明赤	明赤	1mmの光沢の白、薄褐色の層片、無色不透明な粘物 質を含む	
113	C区 口縫部	浅鉢 口縫部	口縫部に1条の沈透文(中 は巻かない)。胸部に無波形 文	外周 内側とも模ナデ	暗	暗	1mmの複数の乳白色、黒、褐色、青褐色の不透明な片 層、側面は無色透明の粘物質を含む	外側にスカス付着
114	一 口縫部	浅鉢 口縫部	口縫部に1条の沈透文	外周 内側とも模ナデ	暗灰黒	暗灰黒	複数~1mmの光沢の層片、光沢のある黒色角柱 状、角柱状の層片及び底の層片を含む	
115	C区 口縫部	浅鉢 口縫部		外周 内側とも模ナデ	青 オリーブ	青 オリーブ	底は透明及び底の層片、0.5mm前後の白、 黒褐色の粘物質などを含む	
116	G区 口縫部	浅鉢 口縫部	口縫部内に1条のための 沈透文	外周部とも模ナデ	黒	黒	複数~2mm程度の光沢の層片、黒緑~0.5mm大の 底の層片を含む	黒褐色磨研土
117	G区 口縫部	浅鉢 口縫部	口縫部に1ヶ所への状 況よしとある方舟から船体 部に波形文	外周 内側とも模ナデ	オリーブ 黒	オリーブ 黑	0.5~1mmの光沢のある透明、0.5mmの大の複合の 底の層片を含む	
118	G区 口縫部	浅鉢 口縫部	口縫部に1ヶ所への状 況よしとある方舟から船体 部に波形文	外周 内側とも模ナデ	オリーブ 黒	オリーブ 黒	0.5mm以下の光沢の透明、光沢のある黒色、0.5mm以下の光 沢の底の層片を含む	外側にスカス付着
119	F区 口縫部	浅鉢 口縫部	口縫部に1ヶ所への状 況よしとある方舟から船体 部に波形文	外周 内側とも模ナデ	に bei 黄 黒	に bei 黄 黒	複数~1mmの底の層片、底の層片を含む	
120	B区	浅鉢 口縫部	内側底面部の上に弱い沈 透文もしくは波形文	外周 内側とも模ナデ	に bei 黄 黒	に bei 黄 黒	複数~1mmの底の層片、底の層片を含む	
121	G区 口縫部	浅鉢 口縫部	内側底面部の上に弱い沈 透文もしくは波形文	外周 内側とも模ナデ	に bei 黄 黒	に bei 黄 黒	複数~1mmの底の層片、底の層片を含む	外側にスカス付着
122	E区 V型	浅鉢 口縫部	今まで失った跡に4条の 沈透文(中は巻かない)、1条 の波形文	外周 内側とも模ナデ	二二・三 オリーブ	二二・三 オリーブ	0.5~2mmの大の光沢のある黒色角柱状の粘物質、 3mm以下の光沢の底の層片を含む	内側に一部黒斑
123	B区 V型	浅鉢 口縫部	今まで失った跡に4条の 沈透文(中は巻かない)、1条 の波形文	外周 内側とも模ナデ	暗	暗	複数~1mmの大の底の層片、光沢のある黒色の 底の層片を含む	外面に部分的にスカ ス付着
124	F区 口縫部	浅鉢 口縫部	内側に1条の沈透文と波形 文、1条を墨透文の文跡か	外周 内側とも模ナデ	青 黒	青 黒	複数~1mmの大の底の層片、底の層片を含む	
125	B区 V型	浅鉢 口縫部	墨透文	外周部とも模方向の丁寧な模ナデ	黒	黒	複数~1mmの大の光沢の層片、1mm以下の光沢の 底の層片を含む	
126	F区 口縫部	浅鉢 口縫部	墨透文と波形文、1条を 墨透文の文跡か	外周 内側とも模ナデ	に bei 黄 黒	に bei 黄 黒	1mm以下の光沢のある黒色角柱状、無色透明の底の層片 と、1.5mm以下の底の層片、1mm以下の底の層片 を含む	
127	G区 口縫部	浅鉢 口縫部	墨透文と波形文の組 み合わせ。墨透文の文跡か	外周 内側とも模ナデ	に bei 黄 黒	に bei 黄 黒	0.5mm以下の光沢のある白色及び黒色の粘物質を含む	ボウ状の洗跡
128	E区 V型	浅鉢 口縫部	無文の口縫部	外周 内側とも模ナデ	透明 青黒	透明 青黒	透明な底の層片、底の層片を含む	
129	E区 V型	浅鉢 口縫部	無文の口縫部	外周 内側とも模ナデ	暗	暗	複数~1mmの大の底の層片、底の層片を含む	内側の一側にスカ ス付着
130	B区 トランシ	浅鉢 口縫部	無文の口縫部	外周 内側とも模ナデ	暗 黒	暗 黒	0.5~2mmの大の底の層片、底の層片を含む	内側の一側にスカ ス付着
131	E区 V型	浅鉢 口縫部	無文の口縫部	外周 内側とも模ナデ	に bei 黄 黒	に bei 黄 黒	2mm以下の光沢の、光沢のある黒色角柱状の粘物質 と、6mm~7mmのに bei 黄の層片の層片、4mm以下の層片 を含む	外側の一部にスカ ス付着
132	G区	浅鉢 口縫部	無文の口縫部	外周 内側とも模ナデ	に bei 黄 黒	に bei 黄 黒	2mm~3mmの大の底の層片の光沢の層片、4mm以下の 底の層片を含む	外側と内側部の一部にス カス付着
133	G区 V型	浅鉢 口縫部	無文の口縫部	外周 内側とも模ナデ	暗	暗	複数~1mmの大の底の層片、底の層片を含む	
134	G区 V型	浅鉢 口縫部	無文の口縫部	外周 内側とも模ナデ	に bei 黄 黒	に bei 黄 黒	1mm~3mmの大に bei 黄の層片の層片、4mm以下の層片 を含む	外側上面にわざかにス カス付着
135	G区 V型	浅鉢 口縫部	無文の口縫部	外周 内側とも模ナデ	暗 黒	暗 黒	複数~1mmの大の底の層片の層片、1.5mm以下の底の層片 を含む	

報告書番号	出土区	部位	文様	調査	色		地の特徴	備考
					外	内		
136	B区 V・VI層 C区 Ⅳ層	深鉢 口縁部	無目交差文、頭上にごく 低い1条の波足文、内面 口縁部に1条の波足文	外面 槌子テ、下部は斜方のナデ 内面 ナデ、部分的に直方の棒条	青 青	1mm~4mmの灰白、灰青、黄褐色の碎片や粘物質 を多く含む	上面にスス付青、 下面に部分的に更化付青	
137	B区 Ⅳ層	深鉢 口縁部	無目交差文、頭上に1条 ごく高い1条の波足文	外面 槌子テ、頭の工芸風の上を横ナデ	青 青	1mm前後の灰青、青緑、黒褐色の碎片を含む		
138	E区 Ⅲ層	深鉢 口縁部	無目交差文、頭上に1条 ごく高い1条の波足文	外面 槌子テ、斜方のナデ 内面 ナデ	青 青	1mm前後の灰青、灰褐色及び2mm大の灰褐色の碎片 を含む	内面にスス付青	
139	E区 Ⅴ層	深鉢 口縁部	無目交差文、頭上に1条 ごく高い1条の波足文	外面 陶器と同様ナデ	青 青	1mm前後の灰青、青緑、黒褐色の碎片を含む		
140	B区 Ⅳ層	深鉢 口縁部	無目交差文	内面陶器と同様ナデ	青 青	1mm前後の灰青、灰褐色の碎片を含む	内面にスス付青	
141	G区 Ⅲ層	深鉢 口縁部	無目交差文、つま き目が残る	外面 陶器テ 内面 四角に傾いた棒ナデ	青 青	1mm前後の灰青、灰褐色の碎片を含む 3mm前後の灰青、灰褐色の碎片、3mm以下 の光沢のある白色の碎片を含む	内面にスス付青	
142	G区 Ⅲ層	深鉢 口縁部	無目交差文、頭上に1条 ごく高い1条の波足文	外面 槌子テへラナテ、光沢が少々 内面 槌子及び斜方のナデ	青 青	1mm~1.5mm大の光沢のある青緑、黑色の粘物質、 3mm以下の青緑色の粘物質の碎片を含む	内面にスス付青	
143	B区 II-V层	深鉢 口縁部	無目交差文、頭上に1条 ごく高い1条の波足文	外面 槌子及び斜方のナデ 内面 槌子	青 青	1mm~1.5mm大の光沢のある青緑、黑色の粘物質の 碎片、0.5mm~2mm大の粗面の碎片を含む	内面にスス付青	
144	E区 Ⅳ層	深鉢 口縁部下 側縁部		内面陶器と同様ナデ	青 青	1mm以下の中白、灰白色、褐色の粘物質を含む		
145	D区 I-Ⅱ層	深鉢 口縁部		内面陶器と同様ナデ	青 青	1mm以下の中白、灰白色の碎片を含む		
146	E区 Ⅳ層	深鉢 口縁部		内面陶器と同様ナデ	青 青	1mm以下の中白、灰白色の碎片を含む		
147	E区 Ⅳ層	深鉢 底面		内面陶器、画面ともナデ	青 青	1mm~4mm大の灰白色の碎片、銀灰~1.5mm大的 光沢のある黑色碎片、角状の粘物質を含む	内面上面に更化付青	
148	F区 Ⅳ層	深鉢 底面		外面 陶器のナデ 内面 ナデ	青 青	1mm~4mm大の光沢のある黑色碎片、2mm以下の光沢の ある黑色碎片、角状の粘物質を含む		
149	O区 Ⅲ層	深鉢 底面		内面 ナデ 丁寧なナデもしくはミガキの 陶器	青 青	0.5mm~1mm大の光沢のある青緑色の碎片、 2mm以下の光沢のある黑色碎片、角状の粘物質を含む		
150	G区 III-IV层	深鉢 底面		内面 ナデ(基化) ナデ(基化) ナデ	青 青	2.5mm以下の中白のある白色碎片、無色透明の 碎片、5mm以下の灰白色、灰青、灰褐色の碎片を含む		
151	O区 I-II层	深鉢 側底部		内面 丁寧なナデ ナデ ミガキ	青 青	0.5mm~1mm大の光沢のある白色碎片、2mm以下の無色 透明の碎片、光沢のある黑色碎片、角状の粘物質を含む	外面の窓辺にわずかに スス付青、内面上面に 更化付青、底面に近 くもむわずかに更化付 青	
152	O区 III-IV层	深鉢 底面		外面 丁寧なナデ(底面) ナデ ナデ	青 青	1mm~7mm大の光沢、銀灰~4mmの大光沢の 碎片、2mm以下の光沢のある黑色碎片、4mm~7mm の灰白色の粘物質等を含む		
153	G区 II-V层	深鉢 底面		外面 槌子テ 内面 槌子テ	青 青	1mm~6mm大の光沢のある黑色碎片、無色透明の 碎片、2mm以下の光沢のある黑色碎片、角状の粘物質を含む		
154	B区 II层	深鉢 底面		内面 ミガキ(がるがる) ナデ ナデ	青 青	0.5mm~4mm大の光沢のある白色碎片、 2mm以下の光沢の碎片、やや青味のある透明の粘物質等 を含む		
155	G区 II-Ⅲ層	深鉢 底面	外見-底面 ナデ	内面 ナデ(基化)化したもの ナデ	青 青	3mm以下の中白の光沢、無色透明の 碎片、2mm以下の光沢で不透明、灰青及び不透明、 無色透明で不定形の碎片を含む	内面底面付青にドーナ ツ状に更化付青	
156	G区 Ⅲ層	有孔 円盤状 土製品		外面 ナデ 内面 丁寧なナデ	青 青	1mm以下の中白、青褐色碎片、1mm前後の光沢 のある黑色碎片、白色碎片を含む	底面を青緑色、底面 を182mm、底面厚 度0.5mm、重さ2.7g	
157	B区 Ⅲ層	有孔 円盤状 土製品		内面陶器と同様ナデ	青 青	1mm以下の中白、青褐色碎片、2mm以下の無色透明 の碎片を含む	底面は青緑色、底面 を180mm、底面厚 度0.8mm、重さ12.3g	
158	E区 Ⅲ層	有孔 円盤状 土製品		外面 槌子テ 内面 丁寧なナデもしくはミガキ	青 青	1mm以下の黒褐色、白色碎片、青褐色光沢のある 黑色碎片、白色不透明な粘物質を含む	底面は青緑色、底面 を147mm、底面厚 度0.8mm、重さ1.7g	
159	G区 Ⅲ層	円盤状 土製品		内面 新規則のヘリミガキ ナデ、むきにした粘物質	青 青	1mm以下の光沢のある黑色碎片、無色透明の 碎片、2mm以下の光沢で不定形、灰青及び不透明、 無色透明で不定形の碎片を含む	底面は青緑色して黒 褐色土製品を使用、 底面27mm、底面厚 度0.5mm、重さ5.7g	
160	F区 Ⅲ層	円盤状 土製品		内面 槌子テ 内面 斜方のナデ	青 青	1mm~1.5mm大の光沢のある黑色碎片、1mm以下の光沢 のある黑色碎片、白色碎片を含む	底面は青緑色して黒 褐色土製品を使用、 底面27mm、底面厚 度0.5mm、重さ5.9g	
161	A区	円盤状 土製品		内面陶器と同様ナデ	青 青	2mm以下の光沢のある白色碎片、無色透明の 碎片、1mm以下の灰白色の碎片を含む	底面は青緑色して黒 褐色土製品を使用、 底面27mm、底面厚 度0.5mm、重さ13.2g	
162	A区 Ⅲ層		北朝研磨、泥は罔神から	底青	青 青	青青石。青が良い。 斜方のナデ陶器と同様 の形状で、斜方のナデ 陶器、又は斜方のナデ の粘物質が含まれる	青青石。底面にした 泥は罔神からも寄乳を 残す。底面の研磨面 は15mmで底面は7.5mm	
163	B区 Ⅲ層	團合付 筒部	曲波文	内面 研磨 ナデ ナデ	青 青	0.5mm~1mm大の光沢のある黑色碎片の粘物質、 2mm以下の灰白色、灰褐色の碎片を含む	斜面中央に透かし	
164	B区 Ⅲ層	棒状 土製品	手握ね付、指先の底面が多く残る。	青 青	青 青	青 青		
165	G区 Ⅲ層	管玉		絶縁色	青 青			
166	F区 Ⅲ層	勾玉		絶縁色	青 青			

表8 布平遺跡出土石器計測表

番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
1	A	SC 3	石錐	1.4	1.3	0.2	0.3	チャート	委託
2	B	SC 4	*	2.3	2.2	0.4	1.4	*	*
3	G北	SC 12上	*	2.1	1.2	0.3	0.6	黒色黒曜石	*
4	G北	SC 12	*	1.4	1.5	0.3	0.6	*	*
5	G	I・II	*	2.9	1.6	0.7	3.1	チャート	*
6	C	II	*	2.45	1.5	0.4	1.3	*	*
7	E	II	*	2.1	1.7	0.3	0.9	*	*
8	E	II	*	1.7	1.4	0.3	0.8	*	*
9	G	-	*	2.0	1.6	0.3	0.8	*	*
10	D	V	*	2.35	1.4	0.4	0.8	*	*
11	G	I・II	*	2.9	1.5	0.4	1.3	流紋岩	*
12	B	II・III	*	3.3	1.8	0.4	2.2	チャート	*
13	B	III	*	2.1	1.3	0.4	1.2	*	*
14	B	III	*	2.3	1.7	0.3	0.8	*	*
15	B	III	*	2.3	1.4	0.2	0.6	*	*
16	G	III	*	2.0	1.45	0.2	0.7	*	*
17	E	III	*	1.5	1.0	0.2	0.4	*	*
18	G	III	*	1.5	1.2	0.25	0.5	*	*
19	G	III	*	1.9	1.2	0.4	0.8	姫島産黒曜石	*
20	E	III	*	2.5	1.3	0.3	0.9	チャート	*
21	G	III	*	2.4	1.4	0.3	0.8	*	*
22	B	V	*	1.9	0.95	0.2	0.5	*	*
23	B	V	*	1.8	1.4	0.3	0.6	黒色黒曜石	*
24	C	V	*	1.8	1.3	0.3	0.7	*	*
25	G	V	*	1.7	1.85	0.5	1.5	チャート	*
26	B	V	*	2.0	1.4	0.2	0.6	*	*
27	E	V	*	1.9	1.15	0.3	0.7	*	*
28	E	V	*	2.4	1.4	0.5	1.6	サヌカイト	*
29	C	V	*	2.6	1.6	0.3	1.3	チャート	*
30	B	V	*	2.5	1.7	0.3	1.3	*	*
31	B	V	*	1.9	1.7	0.35	0.9	*	*
32	B	V	*	3.0	2.0	0.5	2.7	石英	、弱く研磨
33	E	V	*	2.4	1.3	0.3	0.8	チャート	*
34	B	V	*	2.6	1.9	0.2	1.0	*	*
35	G	V	*	1.4	1.6	0.3	1.1	*	*
36	G	V	*	2.7	1.6	0.5	1.8	*	*
37	C	V	*	2.7	1.4	0.35	1.3	*	*
38	B	V	*	2.7	1.7	0.4	1.3	*	*
39	B	V	*	2.2	1.5	0.3	0.6	*	*
40	B	V	*	2.5	1.7	0.3	1.2	*	*
41	E	V	*	1.2	1.3	0.2	0.6	*	*
42	E	V	*	1.7	1.4	0.3	0.6	黒色黒曜石	*
43	F	V	*	2.0	1.6	0.4	1.1	チャート	*
44	B	V	*	3.2	2.0	0.4	1.5	凝灰岩	*
45	E	III	*	3.2	1.7	0.7	2.8	黒色黒曜石	*
46	F	III	*	1.8	1.3	0.4	0.5	*	*
47	B	V	*	2.0	1.3	0.3	0.7	*	*
48	E	V	*	3.1	1.8	0.7	2.6	*	*
49	G	III・IV	*	2.0	1.6	0.5	1.0	*	*
50	B	V	*	1.3	1.8	0.3	0.6	*	*
51	E	IV・V	*	1.6	1.9	0.3	0.9	姫島産黒曜石	
52	E	V	*	1.9	1.3	0.3	0.8	黒色黒曜石	
53	C	V	*	2.4	1.7	0.4	1.1	チャート	
54	B	V	*	3.8	2.3	0.6	4.5	*	
55	B	V	*	1.5	1.3	0.3	0.6	黒色黒曜石	
56	E	V	*	2.9	2.3	0.6	2.4	チャート	
57	E	V	*	2.2	1.5	0.5	1.3	黒色黒曜石	
58	A	V上面	*	1.8	1.3	0.3	0.7	姫島産黒曜石	
59	E	II	石錐	2.7	0.7	0.7	1.3	黒色黒曜石	委託
60	B	V	*	3.2	1.1	0.5	1.2	チャート	*
61	-	S H 569	*	2.7	0.6	0.6	0.7	黒色黒曜石	*
62	G	II	*	2.6	2.2	0.65	3.4	チャート	*
63	E	一	石匙	2.2	1.75	0.7	2.4	サヌカイト	委託
64	B	S H	*	5.2	5.2	0.8	17.2	チャート	
65	E	III	*	2.5	2.6	0.6	3.0	黒色黒曜石	小国産の可能性あり
66	E	V	*	5.15	4.0	0.6	10.7	震岩	委託
67	B	V	*	5.9	7.4	1.6	65.2	チャート	
68	B	S H	スクレイバー	2.1	2.0	0.3	1.3	黒色黒曜石	

番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
69	B	S H	スクレイバー	2.6	1.7	0.6	2.7	姫島産黒曜石	
70	B	S H	*	5.2	2.8	1.1	14.7	黒色黒曜石	
71	A	IV	*	2.6	1.1	0.5	1.5	*	
72	B	V上層	*	2.0	1.6	0.4	1.4	*	
73	E	S H155	クサビ	1.7	1.8	0.4	1.3	*	
74	A	III	*	2.1	2.3	1.6	6.0	*	
75	B	IV	石核	3.1	3.1	2.2	18.1		
76	G	V	*	3.5	4.6	2.4	20.9	姫島産黒曜石	
77	E	V	*	3.2	2.0	0.8	3.0	黒色黒曜石	
78	E	II	剥片	2.4	1.7	0.6	1.8	*	
79	E	IV	*	2.0	1.7	0.5	1.2	*	
80	B	III	*	10.3	4.5	1.6	93.6	片岩	委託
81	B	IV	打製石斧	16.3	5.2	1.1	108.5	*	*
82	B	S H95	*	11.7	5.2	1.0	60.9	*	*
83	SA2	IV	*	24.7	6.3	2.3	193.4	頁岩	*
84	G	床	打製石斧	7.9	4.2	1.5	50.7	砂岩	*
85	G	I・II	*	21.4	5.3	1.9	103.4	凝灰岩	*
86	G	II	*	9.9	6.7	1.1	91.3	綠泥片岩	*
87	B	IV	*	16.5	7.6	1.6	211.6	*	*
88	E	IV	*	12.1	5.6	1.8	138.6	凝灰岩	*
89	G	IV	*	21.0	6.0	1.1	78.3	片岩	*
90	G	IV	*	10.0	4.5	1.7	92.3	凝灰岩	*
91	-	IV	*	11.15	4.2	1.1	57.1	片岩	*
92	F	I・II	打製石斧	21.6	5.6	1.7	112.0	凝灰岩	*
93	C1	III	*	12.1	5.2	1.1	75.2	片岩	*
94	G	III・IV	*	11.6	5.2	1.3	79.1	凝灰岩	*
95	E	III・IV	*	11.5	4.1	0.8	46.5	*	*
96	G	IV	*	9.4	6.5	1.3	74.3	*	*
97	F	IV	*	14.4	5.6	2.7	306.1	凝灰岩	*
98	E	IV	磨製石斧	10.8	5.4	2.9	228.3	砂岩	左半分の表裏に黒い変色部分 委託、基部
99	G	S H609	*	7.5	5.1	3.0	196.2	凝灰岩	
100	G	III	*	11.1	4.8	2.6	138.6	砂岩	
101	G	N	*	10.1	5.1	3.0	186.9	*	表裏に黒変部分
102	G	IV	*	7.4	5.7	2.8	157.1	*	黒変部分有り
103	G	IV	*	11.6	5.5	3.3	311.5	凝灰岩	
104	G	IV	*	13.5	5.1	3.8	330.1	砂岩	
105	G	IV	*	10.2	3.3	1.4	59.0	凝灰岩	委託
106	E	-	*	10.5	5.2	1.3	93.0	綠泥片岩	*
107	G	IV	*	11.2	5.4	1.7	158.9	蛇紋岩	
108	E	II	*	4.4	5.4	1.0	37.8	凝灰岩	
109	G	II	*	7.0	2.8	1.5	29.9	*	
110	G	IV	*	9.3	4.7	2.0	147.8	*	
111	E	IV	*	5.3	5.7	2.5	124.5	砂岩	
112	E	S A1-12	敲石	6.1	3.6	3.4	113.0	凝灰岩	
113	D	S H646	*	2.9	4.4	2.0	34.4	*	
114	B	III・IV	*	4.7	3.5	2.8	70.0	*	
115	G	S H150	*	9.8	4.8	2.3	193.3	砂岩	
116	G	I・II	*	13.5	12.8	7.1	2200.0	凝灰岩	
117	-	IV	磨・敲石	7.5	11.6	7.0	874.0	*	
118	A	II	磨石	7.6	4.5	2.5	135.5	砂岩	
119	G	S H	*	7.1	6.2	1.8	95.2	凝灰岩	
120	G	IV	石錐	6.3	3.7	1.2	40.7	*	
121	G	IV	*	11.1	2.8	1.7	99.1	砂岩	
122	B	III・IV	砾石	7.2	2.8	1.3	35.3	頁岩	
123	G	II	石刀	9.2	3.9	1.1	70.4	赤色頁岩	
124	G	III	*	6.6	3.7	1.3	50.2	白色頁岩	
125	B	IV	*	5.8	2.4	1.4	16.9	片岩系	
126	G	III	石棒か	10.5	10.1	1.4	202.9	緑晶片岩	委託
127	G	III	円盤状石器	2.2	1.7	0.6	1.3	黑色黒曜石	以下、計測表・写真掲載のみ
128	E	S H397	石錐	3.05	2.1	0.7	5.1	チャート	*
129	E	III	*	(2.9)	(1.8)	(0.25)	(1.5)	*	*
130	E	III	*	(2.2)	(1.35)	(0.25)	(0.8)	*	*
131	C	III	*	(1.9)	(2.05)	(0.4)	(1.7)	*	*
132	G	III	*	3.0	1.65	0.95	1.5	*	*
133	G	III	*	(2.45)	(2.0)	(0.5)	(1.8)	*	*
134	G	III	*	(1.35)	(1.65)	(0.35)	0.9	*	*
135	E	III	*	(1.6)	(1.45)	(0.35)	(0.7)	*	*
136	E	III	*	(1.9)	(1.1)	(0.25)	(0.5)	*	*
137	G	III	*	(1.9)	(1.4)	(0.4)	1.0	サヌカイト	*

番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
138	B	IV	石錐	2.55	1.35	0.6	1.8	チャート	+
139	F	IV	+	(2.7)	(2.0)	(0.5)	(2.9)	+	+
140	G	IV	+	3.05	2.1	0.7	4.4	+	+
141	F	IV	+	(3.2)	(1.5)	(0.65)	(3.4)	+	+
142	F	IV	+	(3.0)	(2.0)	(0.7)	(5.0)	+	+
143	G	IV	+	(2.1)	(1.7)	(0.45)	(1.9)	+	+
144	B	IV	+	(1.7)	(1.45)	0.35	0.7	+	+
145	G	IV	+	(1.9)	(1.2)	(0.25)	(0.6)	+	+
146	B	IV	+	2.3	(1.55)	0.45	1.3	+	+
147	F	IV	+	1.7	1.1	0.25	0.5	+	+
148	A	IV	+	(1.45)	(1.65)	(0.3)	0.6	+	+
149	B	IV	+	2.3	1.75	0.45	1.1	+	+
150	B	IV	+	(1.25)	1.3	0.25	0.4	+	+
151	G	IV	+	(1.85)	(1.5)	(0.4)	(0.8)	+	+
152	B	IV	+	2.1	(1.25)	0.35	0.6	+	+
153	B	IV	+	2.25	(1.25)	0.35	0.8	+	+
154	B	IV	+	2.15	1.7	0.45	2.3	+	+
155	E	IV	+	2.1	1.4	0.4	0.9	黒色黒曜石	+
156	B	IV	+	1.65	(1.45)	0.3	0.6	チャート	+
157	A	IV	+	1.85	1.6	0.4	0.7	+	+
158	G	V	+	(1.8)	(1.6)	(0.5)	(1.6)	+	+
159	B	V	石錐	(1.2)	(1.6)	(0.2)	(0.5)	+	+
160	B	V	+	(1.4)	(1.5)	(0.2)	(0.5)	+	+
161	B	V	+	(1.65)	(1.6)	(0.3)	(0.8)	+	+
162	B	V	+	1.9	1.7	0.45	1.1	岐阜産黒曜石	+
163	E	V	+	(1.4)	(1.9)	(0.25)	(0.7)	チャート	+
164	-	-	石錐	(2.0)	(1.85)	(0.45)	(1.7)	+	+
165	-	-	+	(2.0)	(1.3)	(0.2)	(0.6)	+	+
166	-	-	+	(1.4)	(1.0)	(0.3)	(0.4)	岐阜産黒曜石	+
167	E	-	+	(2.0)	(1.5)	(0.3)	(0.9)	チャート	+
168	B	IV	+	1.7	1.1	0.3	0.6	黒色黒曜石	+
169	-	-	+	2.6	1.7	0.45	2.0	チャート	+
170	B	S H112	石錐	(1.1)	(1.4)	(0.25)	(0.4)	+	+
171	G・北	S C 12	剥片	(1.7)	(0.9)	(0.2)	(0.3)	岐阜産黒曜石	+
172	E	III	石錐	3.35	1.7	0.7	4.0	チャート	+
173	E	III	+	(1.8)	(2.0)	(0.85)	(2.6)	+	+
174	B	IV	+	4.15	1.6	1.0	5.7	+	+
175	B	S H137	スクレイバー	3.7	2.3	0.8	8.5	サヌカイト	+
176	B	S H109	+	(3.2)	(4.5)	(1.2)	(13.0)	チャート	+
177	G	III	スクレイバー	11.0	5.5	1.4	87.1	サヌカイト	+
178	B	III	+	5.1	7.5	1.4	54.8	チャート	+
179	E	III	+	5.25	3.55	1.2	21.0	+	+
180	E	III	+	3.4	2.9	0.6	6.3	+	+
181	G	IV	スクレイバー	6.3	4.7	1.5	58.3	ホルンフェルス	+
182	B	IV	+	6.3	4.6	0.7	27.0	質岩	+
183	E	IV	+	2.95	3.05	0.95	6.0	チャート	+
184	E	IV	+	3.3	2.25	1.1	7.2	+	+
185	B	S C 4	石核	3.2	2.3	1.5	12.8	+	+
186	C	S H196	+	3.8	2.8	1.1	14.2	+	+
187	C	S H246	+	4.8	3.5	1.3	26.1	+	+
188	D	S H256	+	3.7	2.95	1.0	12.4	+	+
189	F	S H559	+	8.0	5.9	4.1	217.9	+	+
190	G	S H597	+	5.35	3.4	1.45	24.2	+	+
191	G	I・II	石核	4.9	3.5	1.25	24.2	+	+
192	D	II	+	4.75	2.05	1.2	11.2	+	+
193	E	III	+	3.65	2.85	1.2	15.5	+	+
194	C	III	+	4.2	3.1	1.7	17.5	+	+
195	B・E	-	+	4.1	3.7	1.35	24.9	+	+
196	G	IV	+	7.1	4.6	1.85	55.3	+	+
197	B	IV	+	4.4	3.5	1.9	24.0	流紋岩	+
198	G	IV	+	5.1	3.5	2.5	45.1	チャート	+
199	B	IV	+	4.0	3.9	1.7	19.1	+	+
200	C	IV	+	4.8	3.6	1.45	26.2	+	+
201	F	IV	+	4.45	3.6	1.7	29.1	+	+
202	F	IV	+	4.05	2.45	1.0	10.3	+	+
203	E	IV	+	4.1	2.95	1.6	23.8	+	+
204	G	IV	+	2.3	2.5	0.9	4.4	黒色黒曜石	+
205	F	IV	+	5.7	5.6	2.0	67.3	チャート	+
206	B	V	+	6.2	4.5	1.7	42.5	+	+

番号	出土区	出土層	器 種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石 材	備 考
207	E	V	石核	2.9	2.4	1.3	7.0	黒色黒曜石	△
208	B	V	△	3.2	3.0	1.0	11.8	チャート	△
209	B	V	△	6.7	6.5	2.2	92.6	△	△
210	G北	SC12上	二次加工の ある剥片	5.1	3.7	1.6	21.9	△	△
211	G北	SC12	△	3.8	2.4	1.05	8.6	△	△
212	A	SH	△	3.6	2.8	1.05	10.3	△	△
213	C	SH197	△	3.35	2.8	0.9	6.4	△	△
214	F	SH430	△	3.2	2.8	0.95	8.2	△	△
215	F	SH617	△	3.4	2.7	1.4	14.0	△	△
216	F	SH548	△	3.6	2.7	0.65	7.1	△	△
217	E	II	二次加工の ある剥片	2.0	1.5	0.5	1.1	黒色黒曜石	△
218	B	III	△	2.7	1.95	0.5	3.2	チャート	△
219	B	III	△	3.6	2.95	0.85	8.6	△	△
220	B	III	△	2.4	2.1	0.5	3.1	△	△
221	B	III	△	2.5	1.85	0.6	2.4	△	△
222	B	III	△	3.4	2.85	1.55	15.0	△	△
223	E	III	△	3.0	2.5	0.6	5.5	△	△
224	E	III	△	4.55	3.0	0.9	15.0	△	△
225	E	III	△	4.8	3.0	1.1	14.1	△	△
226	E	III	△	3.1	2.2	0.8	4.2	△	△
227	F	III	△	3.4	2.9	1.0	8.5	△	△
228	E	III	△	3.4	2.1	0.5	2.7	黒色黒曜石	△
229	B	IV	二次加工の ある剥片	4.0	3.3	0.95	12.4	チャート	△
230	B	IV	△	2.9	2.8	0.55	6.1	△	△
231	B	IV	△	3.0	2.4	0.95	5.9	△	△
232	B	IV	△	2.9	2.3	0.75	5.4	△	△
233	B	IV	△	2.5	1.7	0.5	2.2	△	△
234	C	IV	△	2.4	1.8	0.45	2.0	△	△
235	F	IV	△	4.3	3.0	1.2	13.1	△	△
236	F	IV	△	2.8	2.3	0.8	5.4	△	△
237	F	IV	△	5.1	2.8	1.4	16.4	△	△
238	F	IV	△	3.8	3.1	1.5	16.3	△	△
239	F	IV	△	2.2	1.9	0.7	3.0	△	△
240	G	IV	△	3.5	2.0	0.85	5.3	△	△
241	G	IV	△	3.2	2.5	1.0	7.5	△	△
242	E	IV	△	2.7	1.6	0.6	2.5	△	△
243	E	IV	△	2.65	1.65	0.6	2.2	△	△
244	E	IV	△	2.8	1.6	0.5	2.4	△	△
245	E	IV	△	2.55	1.8	0.5	2.0	△	△
246	E	IV	△	2.65	1.4	0.75	2.8	△	△
247	E	IV	△	2.75	2.55	0.9	4.9	△	△
248	E	IV	△	2.75	2.2	0.75	4.4	△	△
249	E	IV	△	2.5	2.55	0.85	5.5	△	△
250	E	IV	△	2.15	2.0	0.55	2.5	△	△
251	E	IV	△	2.85	2.1	0.8	3.7	△	△
252	E	IV	△	3.4	2.8	1.2	10.2	△	△
253	C	IV	△	8.6	5.4	2.0	104.3	サヌカイト	△
254	B	IV	△	2.6	1.9	0.8	3.7	船鳥産黒曜石	△
255	B	V	△	3.3	2.7	0.9	8.0	チャート	△
256	—	—	△	2.8	2.1	0.5	3.7	△	△
257	—	—	△	3.0	2.1	0.85	5.6	石英	△
258	—	—	△	1.8	1.6	0.3	1.0	チャート	△
259	G南	SC14	剥片	2.9	2.6	0.75	5.3	△	△
260	A	SH	△	3.8	2.65	1.05	10.2	△	△
261	B	SH112	△	2.3	1.5	0.35	0.7	△	△
262	D	SH257	△	2.7	2.35	0.85	6.0	△	△
263	G	I・II	△	2.95	2.5	1.1	8.1	△	△
264	G	I・II	△	2.55	2.0	0.7	4.4	△	△
265	G	I・II	△	3.5	2.4	0.8	5.8	△	△
266	E	III	△	3.2	3.0	0.7	7.2	△	△
267	E	III	△	3.7	2.3	0.85	7.1	△	△
268	E	III	△	2.75	1.75	0.6	3.2	△	△
269	E	III	△	2.6	2.5	0.6	4.4	△	△
270	G	III	△	3.55	2.25	1.15	7.6	△	△
271	E	III	△	3.95	3.0	1.25	16.3	△	△
272	G	III	△	3.25	2.05	0.8	5.8	△	△

番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
273	E	Ⅲ	剥片	2.5	1.7	0.4	1.5	姫島産黒曜石	+
274	B	Ⅳ	+	3.2	2.2	1.0	7.4	チャート	+
275	B	Ⅳ	+	3.7	3.2	1.2	15.4	+	+
276	B	Ⅳ	+	2.4	2.4	0.5	3.1	+	+
277	B	Ⅳ	+	3.1	1.8	0.55	3.1	+	+
278	B	Ⅳ	+	2.4	2.4	0.9	4.0	+	+
279	B	Ⅳ	+	3.9	3.2	1.3	16.9	+	+
280	C	Ⅴ	+	2.5	2.1	0.6	3.3	+	+
281	F	—	+	4.3	3.0	1.2	13.5	+	+
282	F	—	+	(2.7)	(0.9)	(0.2)	(0.4)	ホルンフェルズ	+
283	—	—	+	3.7	2.95	1.0	12.1	チャート	+
284	—	—	+	5.5	4.9	0.55	15.5	ホルンフェルズ	+
285	E	SA1床	打製石斧	13.6	6.85	1.85	230.1	凝灰岩	+
286	E	SA1-1	+	12.5	6.65	1.7	165.2	頁岩	+
287	E	SA2-6	+	11.7	5.6	2.1	140.0	凝灰岩	+
288	E	SA2-27	+	9.7	5.9	1.6	97.4	頁岩	+
289	E	SA2床	+	8.5	6.0	1.6	72.8	+	+
290	E	SA2-29	+	6.5	6.6	0.9	42.0	+	+
291	F	SC10	+	7.2	4.3	1.0	31.3	+	+
292	F	SC11	+	5.8	4.65	1.15	29.2	砂岩	+
293	G北	SC12	+	9.3	6.1	1.4	84.9	頁岩	+
294	G北	SC12	+	4.9	6.7	1.25	53.9	凝灰岩	+
295	G北	SC13	+	10.45	6.15	2.5	130.5	+	+
296	G北	SC13-67	+	11.9	7.8	1.3	134.8	頁岩	+
297	G北	SC13	+	10.3	5.25	2.05	133.0	+	+
298	G北	SC13-68	+	11.4	6.5	1.2	113.4	+	+
299	G北	SC13-50	+	7.3	5.1	1.3	47.5	+	+
300	—	SE1	+	6.0	6.7	1.3	68.4	片岩	+
301	A	SH	+	7.9	5.95	1.7	98.6	緑泥片岩	+
302	B	SH	+	11.2	5.5	1.5	109.3	凝灰岩	+
303	B	SH51	+	8.0	3.6	0.6	19.2	結晶片岩	+
304	B	SH76	+	7.7	5.0	1.3	63.1	緑泥片岩	+
305	B	SH134	+	7.3	5.2	0.8	42.4	片岩	+
306	B	SH	+	6.1	4.6	1.0	33.1	凝灰岩	+
307	E	SH692	+	6.45	5.55	1.05	44.2	結晶片岩	+
308	F	SH458	+	6.8	4.55	1.35	49.2	凝灰岩	+
309	E	SH626	+	11.5	6.9	1.7	128.9	緑泥片岩	+
310	G	SH720	+	10.3	4.8	0.7	42.7	+	+
311	B	トレシ	+	6.6	5.85	1.1	47.6	+	+
312	G	I・II	打製石斧	10.7	6.1	1.8	143.1	片岩	+
313	G	II	+	11.1	7.3	1.0	119.0	凝灰岩	+
314	D	II	+	14.0	6.65	1.65	223.7	結晶片岩	+
315	G	II	+	12.1	6.4	1.7	144.7	緑泥片岩	+
316	E	II	+	9.3	4.4	1.05	49.6	凝灰岩	+
317	C	II・IV	+	12.9	7.7	1.4	116.7	緑泥片岩	+
318	G	II	+	9.0	5.9	1.1	67.1	結晶片岩	+
319	E	II	+	11.35	4.85	2.0	132.8	頁岩	+
320	G	III	+	11.4	5.5	2.0	140.2	+	+
321	E	III	+	9.5	5.2	1.4	70.7	+	+
322	B	III	+	12.1	5.4	1.2	106.8	片岩	+
323	E	III	+	12.1	6.35	0.9	90.2	+	+
324	B	III	+	9.3	4.2	1.2	57.5	凝灰岩	+
325	E	III	+	11.9	5.6	1.8	106.2	頁岩	+
326	E	III	+	9.3	5.0	1.1	59.1	+	+
327	A	III	+	8.45	5.5	1.0	48.8	凝灰岩	+
328	G	III	+	8.2	4.9	1.3	66.4	結晶片岩	+
329	B	III	+	9.6	6.2	1.2	95.6	片岩	+
330	G	III	+	7.5	4.2	0.9	26.6	チャート	+
331	A	III	+	6.0	6.55	1.0	59.6	片岩	+
332	G	III	+	9.7	6.25	1.8	143.2	凝灰岩	+
333	G	III	+	8.5	5.9	1.3	69.0	結晶片岩	+
334	G	III	+	9.65	5.6	1.95	93.1	片岩	+
335	A	III	+	10.6	6.3	1.45	110.4	+	+
336	G	III	+	12.1	8.5	1.7	208.6	凝灰岩	+
337	C	III・IV	+	6.9	5.1	0.85	34.8	片岩	+
338	G	III	+	10.8	4.4	0.8	48.8	緑泥片岩	+
339	G	III	+	11.4	6.15	1.9	114.9	凝灰岩	+
340	F	III	+	8.1	3.8	0.8	38.0	片岩	+
341	G	IV	+	13.0	5.65	1.5	145.1	+	+

番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
342	F	N	打製石斧	10.4	5.4	1.85	116.0	結晶片岩	✓
343	A	N	✓	10.5	5.3	1.1	88.0	凝灰岩	✓
344	C	N	✓	11.2	5.8	2.0	143.3	片岩	✓
345	—	N	✓	11.6	5.4	1.9	118.5	綠泥片岩	✓
346	E	N	✓	11.5	7.3	2.0	205.5	片岩	✓
347	B	N	✓	11.75	5.25	1.9	132.4	凝灰岩	✓
348	E	N	✓	9.5	5.25	1.95	126.0	片岩	✓、早期層出土
349	G	V-84	✓	8.3	5.2	1.6	77.1	結晶片岩	✓
350	B	N	✓	8.7	4.3	0.8	38.8	片岩	✓
351	F	N	✓	7.7	5.85	1.3	85.0	✓	✓
352	G	N	✓	7.5	4.5	1.5	55.0	✓	✓
353	G	N	✓	9.8	5.2	1.6	81.3	綠泥片岩	✓
354	G	N	✓	9.7	5.2	1.2	81.4	凝灰岩	✓
355	B	N	✓	8.7	5.0	1.4	79.5	綠泥片岩	✓
356	G	N	✓	11.1	5.9	2.0	150.3	片岩	✓
357	G	N	✓	12.2	6.9	1.8	168.3	✓	✓
358	A	N	✓	9.65	6.0	2.15	130.3	凝灰岩	✓
359	E	N	✓	12.8	6.5	1.8	181.7	✓	✓
360	B	N	✓	10.45	5.55	1.75	99.3	✓	✓
361	G	N	✓	10.6	5.05	1.5	119.1	片岩	✓
362	E	N	✓	14.5	6.3	1.9	223.7	✓	✓
363	E	N	✓	8.6	5.5	1.2	70.0	✓	✓
364	B	N-V	✓	8.5	5.1	1.55	82.1	✓	✓
365	E	N-V	✓	12.1	5.5	1.6	146.2	凝灰岩	✓
366	G	N	✓	9.45	5.25	1.75	78.2	片岩	✓
367	E	N	✓	9.6	4.3	1.3	56.4	綠泥片岩	✓
368	E	N	✓	10.2	5.3	1.1	83.8	片岩	✓
369	G	N	✓	10.5	5.45	1.6	99.9	✓	✓
370	C	N	✓	12.45	6.4	2.5	151.9	凝灰岩	✓
371	C	N	✓	10.3	5.8	1.9	117.1	片岩	✓
372	G	N	✓	10.45	4.5	2.0	101.6	凝灰岩	✓
373	E	N	✓	9.4	5.95	1.7	105.3	片岩	✓
374	G	N	✓	9.2	4.8	2.0	63.7	✓	✓
375	G	N	✓	9.5	4.6	1.5	59.1	綠泥片岩	✓
376	G	N	✓	10.4	6.1	1.8	123.5	凝灰岩	✓
377	E	N	✓	13.0	6.0	1.0	79.2	安山岩	✓
378	B	N	✓	8.3	5.1	1.1	67.3	綠泥片岩	✓
379	B	N	✓	10.7	5.2	1.2	73.5	✓	✓
380	B	N	✓	8.2	5.65	0.75	45.6	綠晶片岩	✓
381	F	N	✓	9.2	5.7	0.9	72.1	片岩	✓
382	B	N	✓	8.1	5.1	0.7	42.2	✓	✓
383	B	N	✓	6.6	3.4	0.9	24.8	安山岩	✓
384	B	N-V	✓	9.2	4.4	1.05	41.3	片岩	✓
385	G	N	✓	8.8	5.4	0.7	38.4	綠泥片岩	✓
386	F	N	✓	9.5	6.2	1.0	77.8	✓	✓
387	B	N	✓	10.1	5.65	1.2	84.4	✓	✓
388	G	N	✓	8.4	7.05	0.95	48.7	片岩	✓
389	B	N	✓	11.05	6.75	1.8	132.3	凝灰岩	✓
390	E	N	✓	9.3	7.1	0.9	75.1	片岩	✓
391	G	N	✓	11.0	7.2	0.7	65.8	結晶片岩	✓
392	E	N	✓	10.8	6.3	1.3	88.9	凝灰岩	✓
393	C	N	✓	9.9	7.55	1.15	83.0	片岩	✓
394	G	V	✓	9.1	6.3	1.5	95.7	安山岩	✓
395	B	N	✓	9.8	6.6	1.5	97.7	凝灰岩	✓
396	C	N	✓	9.5	6.8	2.0	142.8	✓	✓
397	G	N	✓	10.7	6.5	1.6	129.8	結晶片岩	✓
398	E	N	✓	10.65	7.9	1.75	172.1	凝灰岩	✓
399	G	N	✓	10.6	6.75	1.9	154.3	片岩	✓
400	E	N	✓	11.4	7.6	1.6	146.0	綠泥片岩	✓
401	G	N	✓	12.0	6.55	1.8	145.9	凝灰岩	✓
402	A	H	✓	13.7	7.35	1.8	205.4	結晶片岩	✓
403	B	N	✓	8.6	5.5	1.6	100.5	凝灰岩	✓
404	B	N	✓	9.2	5.4	1.7	83.9	綠泥片岩	✓
405	B	N	✓	14.0	6.4	0.9	101.8	片岩	✓
406	E	N	✓	13.5	5.8	1.7	123.0	凝灰岩	✓
407	E	N	✓	12.2	4.9	1.7	113.6	綠泥片岩	✓
408	F	N	✓	12.15	6.0	1.4	112.6	結晶片岩	✓
409	F	N	✓	12.0	5.2	1.15	91.2	安山岩	✓
410	G	N	✓	10.8	5.4	1.5	105.0	凝灰岩	✓

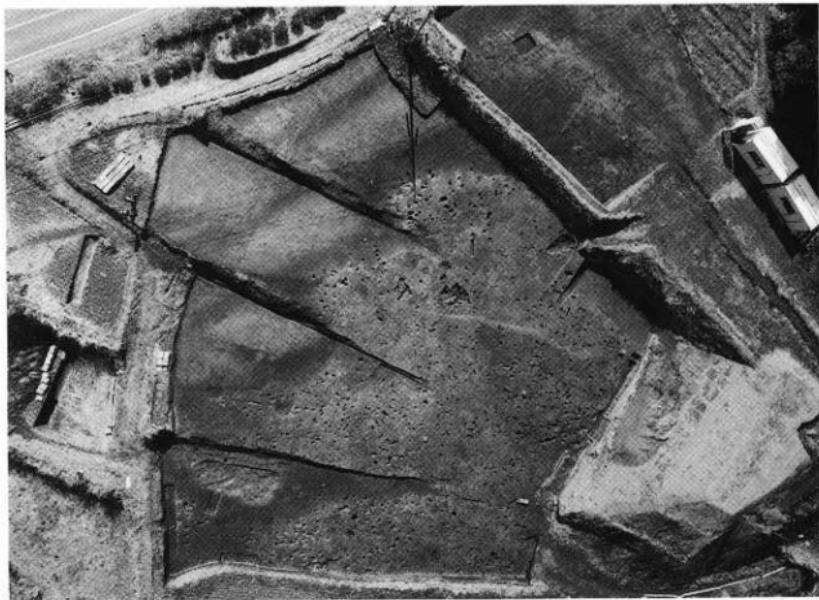
番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
411	E	IV	打製石斧	12.8	5.1	1.7	120.8	綠泥片岩	+
412	G	IV	*	13.15	4.3	1.3	79.3	片岩	+
413	B	IV	*	13.05	4.8	1.2	89.8	結晶片岩	+
414	E	IV	*	10.7	4.1	1.4	78.8	凝灰岩	+
415	G	IV	*	9.5	3.9	1.4	48.3	綠泥片岩	+
416	G	IV	*	10.5	4.4	1.6	95.5	凝灰岩	+
417	G	IV	*	10.2	3.6	0.7	31.5	片岩	+
418	G	IV	*	11.5	4.8	1.4	84.3	*	+
419	G	IV	*	9.65	4.6	1.5	76.7	綠泥片岩	+
420	G	IV	*	10.05	5.05	1.0	64.9	結晶片岩	+
421	B	IV	*	11.4	4.4	0.7	55.9	凝灰岩	+
422	B	IV	*	5.8	4.3	0.4	16.6	*	+
423	E	V	*	9.2	5.0	1.2	66.2	*	+
424	E	IV	*	11.0	5.4	0.9	79.2	ホルンフェルス	+
425	B	IV	*	12.2	5.8	1.5	111.9	凝灰岩	+
426	B	IV	*	9.4	4.5	1.15	46.5	結晶片岩	+
427	E	IV	*	12.3	4.7	0.8	63.2	凝灰岩	+
428	G	IV	*	9.9	4.5	0.9	46.6	綠泥片岩	+
429	E	V	*	12.1	4.8	1.5	107.9	*	+
430	E	V	*	10.0	5.6	0.9	60.3	片岩	+
431	G	V	*	10.8	7.4	1.4	126.3	綠泥片岩	+
432	-	-	*	10.0	4.8	1.4	79.5	片岩	+
433	G	-	*	12.45	5.3	2.1	146.0	凝灰岩	+
434	G	-	*	11.2	4.7	2.0	115.2	*	+
435	-	-	*	10.6	5.0	1.3	77.7	*	+
436	-	-	*	8.5	6.4	1.0	59.9	*	+
437	-	-	*	7.6	5.1	0.6	18.0	安山岩	+
438	-	-	*	11.1	6.1	1.2	84.1	片岩	+
439	-	II	*	8.8	7.0	1.3	95.1	*	+
440	G	III	*	11.05	5.85	1.85	106.3	*	+
441	G	II	*	11.2	6.5	1.3	104.1	結晶片岩	+
442	B	III	*	12.9	6.9	1.9	177.5	凝灰岩	+
443	B	III	*	12.85	6.5	1.7	118.4	片岩	+
444	B	III	*	11.7	6.9	2.7	237.3	凝灰岩	+
445	F	III	*	10.25	6.3	1.5	101.7	綠泥片岩	+
446	B	III	*	12.0	6.35	1.8	137.6	*	+
447	C	II	*	16.7	7.2	1.6	191.1	片岩	+
448	G	II	*	13.0	5.8	1.75	106.2	*	+
449	G	II	*	10.8	5.0	1.45	79.7	*	+
450	G	III	*	11.3	6.3	2.55	150.1	凝灰岩	+
451	G	III	*	(9.6)	5.9	1.5	85.4	綠泥片岩	+
452	E	III	*	11.5	4.2	1.8	94.2	凝灰岩	+
453	B	III	*	12.9	5.3	2.1	137.0	綠泥片岩	+
454	B	III	*	16.0	6.5	2.4	160.9	片岩	+
455	E	IV	*	12.0	7.0	1.4	131.6	*	+
456	C	IV	*	10.7	5.8	1.4	100.4	結晶片岩	+
457	G	III	*	11.1	6.6	1.2	102.2	*	+
458	G	IV	*	11.1	6.25	1.4	106.5	頁岩	+
459	G	III・IV	*	11.6	5.3	1.4	113.8	綠泥片岩	+
460	E	IV	*	10.8	6.5	1.2	88.2	*	+
461	E	IV	*	13.05	7.1	1.4	129.6	結晶片岩	+
462	G	IV	*	9.4	5.6	1.5	81.7	*	+
463	B	IV	*	10.9	6.0	1.3	73.4	*	+
464	C	IV	*	11.05	6.4	1.25	93.7	*	+
465	G	IV	*	8.7	5.65	1.6	77.0	*	+
466	E	II	*	8.4	6.1	1.0	53.5	凝灰岩	+
467	B	IV	*	9.9	5.2	0.9	58.3	片岩	+
468	G	IV	*	9.3	5.1	0.9	44.9	*	+
469	B	IV	*	16.5	5.9	1.5	94.8	*	+
470	F	IV	*	9.6	5.1	1.1	59.5	凝灰岩	+
471	F	IV	*	9.85	4.3	1.75	70.1	片岩	+
472	G	IV	*	13.25	5.7	1.0	53.8	*	+
473	F	IV	*	7.65	4.5	1.25	49.3	綠泥片岩	+
474	G	IV	*	10.1	5.3	1.3	78.9	*	+
475	A	N	*	10.7	4.8	1.4	61.0	頁岩	+
476	G	IV	*	7.9	4.3	1.1	42.5	綠泥片岩	+
477	A	V	*	12.9	8.4	1.4	142.1	*	+
478	E	V	*	12.3	6.4	1.5	112.1	片岩	+
479	E	V	*	10.45	6.35	1.55	106.8	*	+

番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
480	G	III	打製石斧	10.4	6.2	0.7	63.5	+	+
481	G	III	+	12.2	7.0	1.1	95.0	+	+
482	B	III	+	9.6	4.6	0.6	39.2	+	+
483	G	III	+	9.4	4.1	0.9	44.7	綠泥片岩	+
484	D	III・IV	+	13.15	7.4	1.0	108.0	片岩	+
485	E	IV	+	10.4	4.9	1.1	60.5	凝灰岩	+
486	G	IV	+	9.2	5.6	0.7	50.4	綠泥片岩	+
487	C	III・IV	+	12.95	4.85	1.1	83.2	片岩	+
488	C	IV	+	10.4	4.2	0.9	48.0	+	+
489	C	II・IV	+	8.15	4.6	1.1	50.9	綠泥片岩	、基部
490	-	II	+	7.0	5.1	1.8	66.9	凝灰岩	、基部
491	C	II・IV	+	9.8	5.05	1.6	75.1	綠泥片岩	、基部
492	E	II	+	8.3	5.3	1.45	55.8	片岩	、基部
493	E	III	+	6.5	5.0	0.8	30.5	綠泥片岩	、基部
494	A	III	+	7.1	4.7	0.8	46.5	+	基部
495	A	III	+	8.2	5.0	1.2	66.2	凝灰岩	、基部
496	C	III・IV	+	7.15	4.1	2.7	60.6	+	基部
497	E	III	+	7.3	6.3	1.8	89.8	+	基部
498	B	III	+	6.4	6.0	1.75	66.4	片岩	、基部
499	G	III	+	12.7	6.6	1.6	130.3	綠泥片岩	、基部
500	B	III	+	10.6	5.4	1.5	103.5	凝灰岩	、基部
501	G	IV	+	10.5	5.5	2.5	126.8	+	基部
502	B	IV	+	10.05	5.55	2.05	122.6	+	基部
503	G	IV	+	8.7	5.5	1.25	60.4	片岩	、基部
504	C	IV	+	6.1	4.2	1.8	54.9	+	基部
505	G	IV	+	5.35	4.1	1.0	30.4	+	基部
506	F	IV	+	9.1	4.4	1.1	44.6	+	基部
507	G	IV	+	5.25	5.65	1.6	47.6	綠泥片岩	、基部
508	G	IV	+	7.0	5.1	1.4	66.2	結晶片岩	、基部
509	G	IV	+	9.3	7.0	1.7	88.4	綠泥片岩	、基部
510	E	IV	+	7.0	6.0	1.0	49.9	+	基部
511	B	IV・V	+	5.6	5.1	1.3	33.2	+	基部
512	E	IV	+	10.3	5.4	1.3	78.0	片岩	、基部
513	G	IV	+	9.4	6.7	1.4	97.3	+	基部
514	G	IV	+	8.0	5.5	1.6	76.6	+	基部
515	G	IV	+	9.2	5.05	1.7	67.0	+	基部
516	B	IV	+	7.7	4.2	1.0	44.8	結晶片岩	、基部
517	E	IV	+	7.0	6.8	1.2	56.9	凝灰岩	、基部
518	C	IV	+	6.1	3.4	1.0	27.2	+	刃部
519	B	V	+	4.9	4.8	0.8	17.9	+	刃部
520	G	II	+	11.6	7.5	1.0	96.2	結晶片岩	、刃部
521	G	III	+	9.0	7.4	1.6	139.9	凝灰岩	、刃部
522	F	III	+	7.4	7.0	2.3	115.2	+	刃部
523	G	III	+	7.2	6.5	1.8	113.6	片岩	、刃部
524	E	II	+	5.0	5.7	0.8	27.3	+	刃部
525	C	IV	+	4.95	5.25	1.4	40.7	結晶片岩	、刃部
526	E	III	+	8.2	7.4	1.7	107.9	+	刃部
527	B	III	+	6.7	9.8	1.25	106.0	片岩	、刃部
528	B	IV	+	9.1	8.2	2.4	197.1	凝灰岩	、刃部
529	E	IV	+	8.0	6.2	1.3	65.4	片岩	、刃部
530	G	III	+	7.1	6.7	1.0	61.1	綠泥片岩	、刃部
531	B	IV	+	7.25	5.0	2.1	73.2	凝灰岩	、刃部
532	-	-	+	9.6	6.0	1.4	83.5	綠泥片岩	、刃部
533	E	IV	+	6.8	5.6	1.2	54.6	結晶片岩	、刃部
534	B	IV	+	7.75	6.45	1.1	59.7	片岩	、刃部
535	G	IV	+	6.0	6.2	1.1	52.8	+	刃部
536	G	IV	+	5.45	7.05	1.2	45.3	+	刃部
537	F	IV	+	7.75	6.6	1.55	70.4	+	刃部
538	E	IV	+	9.3	6.5	1.8	116.6	凝灰岩	、刃部
539	A	IV	+	9.35	8.2	2.35	199.7	+	刃部
540	G	IV	+	6.4	6.2	0.75	35.0	片岩	、刃部
541	G	IV	+	7.6	7.6	1.5	80.9	凝灰岩	、刃部
542	G	IV	+	6.1	6.2	1.6	73.2	+	刃部
543	A	IV	+	6.4	6.3	1.9	60.0	+	刃部
544	B	IV	+	7.45	4.95	1.5	54.5	片岩	、刃部
545	B	IV	+	6.55	5.1	0.95	30.4	綠泥片岩	、刃部
546	G	IV	+	9.9	5.7	1.1	36.9	片岩	、刃部
547	-	-	+	3.7	5.15	1.3	24.2	+	刃部
548	G	IV	+	10.0	8.1	1.4	127.9	凝灰岩	、刃部

番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
549	C	IV	打製石斧	6.2	8.9	1.1	61.6	片岩	△、刃部
550	C	IV	△	8.4	6.85	1.3	86.2	△	△、刃部
551	G	III	△	8.65	5.45	1.4	76.0	△	△、基部片
552	-	-	△	5.95	6.25	1.55	76.0	△	△、基部片
553	F	IV	△	9.4	5.3	1.6	75.1	△	△、基部片
554	-	II	磨製石斧	5.1	5.0	2.6	99.7	砂岩	△
555	E	II	△	9.0	4.7	3.4	210.5	凝灰岩	△、欠損
556	E	IV	△	12.2	3.9	2.5	189.8	ホルンフェルス	△
557	E	III	△	4.5	2.5	1.5	19.3	凝灰岩	△
558	G	III	△	11.1	4.8	2.6	214.6	ホルンフェルス	△、欠損
559	C・IV	IV	△	9.5	5.2	2.7	148.8	蛇紋岩	△
560	F	IV	△	3.2	3.7	1.7	22.2	凝灰岩	△
561	E	IV	△	10.0	1.7	2.4	50.3	△	△
562	E	IV	△	13.7	6.3	3.7	438.6	△	△、欠損
563	G	IV	△	8.4	6.0	2.4	141.5	△	△
564	E	IV	△	6.3	2.3	2.1	44.0	蛇紋岩	△、欠損
565	E	IV	△	7.4	5.8	3.7	295.8	砂岩	△、欠損
566	G	IV	△	7.6	3.7	2.1	73.9	△	△、欠損
567	E	V	△	9.7	5.0	3.1	182.2	蛇紋岩	△
568	E	IV	△	12.2	5.2	2.7	249.5	凝灰岩	△
569	E	III	△	5.6	4.8	1.5	49.3	砂岩	△
570	B	IV	△	9.0	4.4	1.0	49.0	結晶片岩	△
571	B	IV	△	7.7	3.4	0.6	20.9	結晶片岩	△
572	B	IV	△	7.4	2.4	0.7	13.6	△	△
573	B	IV	△	7.0	2.2	0.4	9.9	△	△
574	E	IV	△	8.7	2.9	1.2	44.0	ホルンフェルス	△
575	E	III	敲石	7.4	5.4	4.1	261.8	砂岩	△
576	G	II	△	9.5	5.1	2.7	216.6	凝灰岩	△
577	G	IV	△	5.9	6.9	5.4	309.5	△	△
578	G	IV	△	5.0	7.1	1.9	110.8	砂岩	△
579	G	IV	△	10.0	4.4	3.1	294.0	△	△
580	G	IV	△	11.6	4.2	2.8	212.0	△	△
581	G	V	△	9.6	8.6	6.6	875.6	△	△
582	A	V	△	9.3	5.4	2.7	179.0	凝灰岩	△
583	E	W-73	△	8.0	6.6	5.5	480.1	△	△、早期層出土
584	G	V	磨・敲石	15.5	12.1	6.7	2200.0	△	△
585	G	SH384	磨石	(7.4)	(6.3)	(5.05)	(345.0)	△	△
586	G	II	△	7.5	10.0	4.9	541.9	△	△
587	E	III	△	5.4	7.2	5.3	259.5	△	△
588	B	III	△	(6.9)	(6.3)	(2.6)	(103.3)	△	△
589	E	IV	△	7.3	5.7	4.9	290.4	△	△
590	E	IV	△	11.7	5.4	5.7	256.5	△	△
591	G	IV	△	8.6	5.4	4.5	223.3	△	△
592	G	IV	△	4.7	4.7	3.7	128.0	△	△
593	E	V	台石	16.7	13.7	10.2	3200.0	△	△
594	E	III	石錐	8.2	4.5	1.5	72.0	△	△
595	G	III	敲石	6.9	6.4	1.8	71.9	砂岩	△
596	E	III	△	5.1	6.4	3.2	129.3	△	△
597	G	IV	△	14.6	4.4	3.6	224.0	△	△
598	A	IV	△	12.7	6.0	3.5	351.3	△	△
599	E	IV	△	7.3	6.7	1.0	84.4	片岩	△
600	D	III・IV	円盤状石器	7.8	8.0	1.1	82.2	凝灰岩	△、打製
601	G	III・IV	△	5.9	5.4	1.3	38.3	結晶片岩	△、打製
602	G	IV	△	8.1	7.8	2.5	152.6	片岩	△、打製
603	G	IV	△	6.8	5.8	1.4	75.8	結晶片岩	△、打製
604	G	IV	△	10.0	8.9	1.4	149.5	凝灰岩	△、打製
605	G	IV	△	8.1	8.85	0.8	77.7	片岩	△、打製
606	G	IV	△	5.4	6.6	0.8	38.1	結晶片岩	△、打製
607	B	IV	△	3.8	3.8	0.8	14.9	凝灰岩	△、磨製
608	G	III	△	2.1	2.3	0.3	2.0	△	△、磨製
609	G	III	丸石	2.3	1.55	0.7	4.0	△	△、丸くつるつした自然礫
610	G	III	△	2.3	1.55	1.0	5.1	石英	△、丸くつるつした自然礫
611	B	III	△	2.1	1.5	1.0	4.5	△	△、丸くつるつした自然礫
612	G	III	△	2.05	1.2	0.9	2.9	△	△、丸くつるつした自然礫
613	B	IV	△	2.6	1.6	0.85	5.3	△	△、丸くつるつした自然礫
614	G	-	△	2.25	1.3	0.55	2.0	△	△、丸くつるつした自然礫
615	B	IV	剥片	4.9	3.95	1.0	18.4	チャート	△、丸くつるつした自然礫
616	A	SC6	砾石	30.8	27.3	17.5	22000.0	△	△



布平遺跡全景（北東から）



布平遺跡A～D区V層上面造構完掘状況



布平遺跡 G·E~F 区 V 層上面遺構完掘狀況



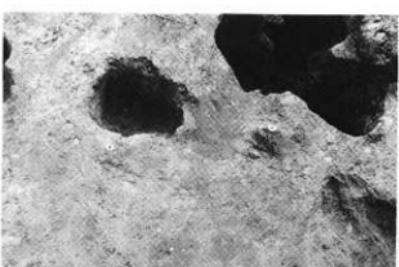
E 区北壁土層斷面



E 区 V 層上面檢出堅穴住居跡



E·F 区 V 層上面遺構完掘狀況



SA 6 床付近出土古錢



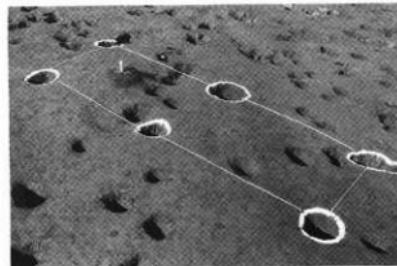
A～D区V層上面（北西から）



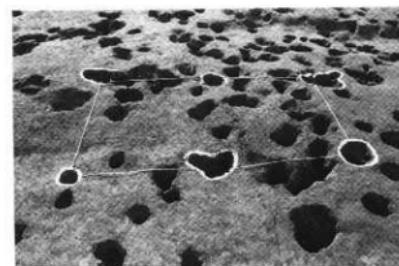
SB 1～8（西方から）



B区V層上面 SB 1～3（東から）



V層上面 SB 3（南から）



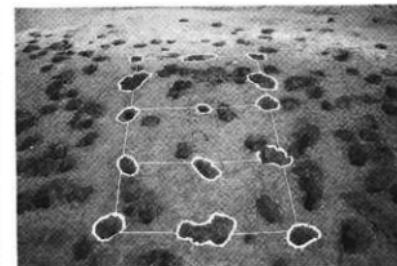
SB 4（北東から）



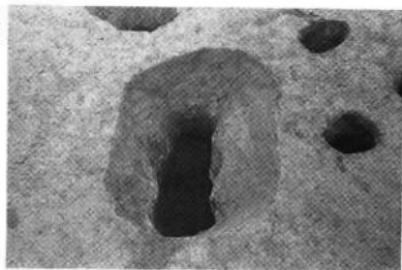
SB 4～5（西から）



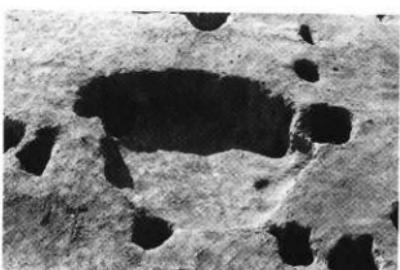
SB 4・6～7（東から）



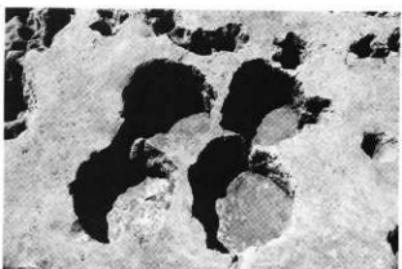
SB 9（北東から）



A区V層上面 SC 1 (北東から)



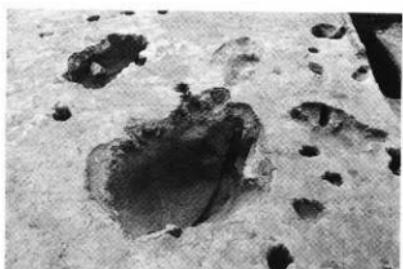
SC 2 (北東から)



SC 10・8・11・9 (北東から)



SC 3 (北西から)



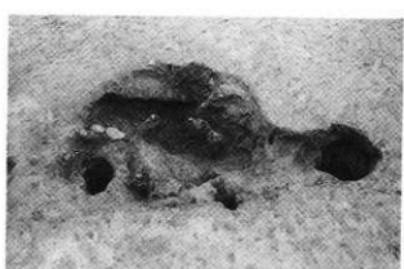
SC 4 (北から)



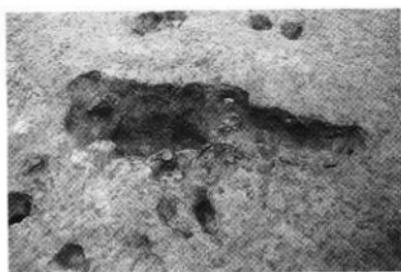
SC 6 (東から) 中にチャート原石



G区SC 7 (東から)



SC 12 (西から)



S C 13 (北からか)

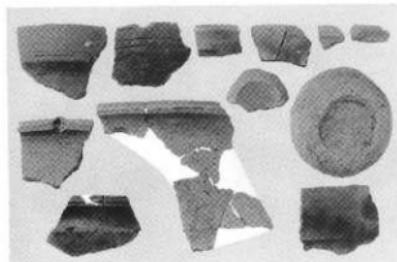


S C 13完掘 (西から)

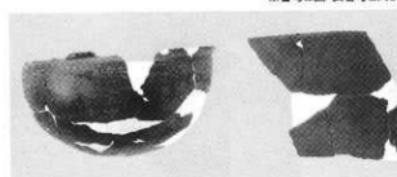


1~24 (14・15はSA 6出土銅錢)

※番号は図・表番号と同じ(左→右、上→下の順、以下同じ)



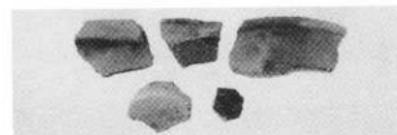
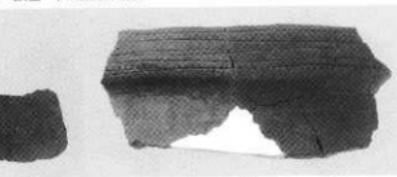
25~35・38



36

37

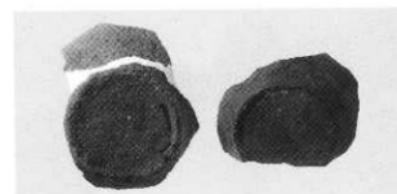
39



40~42・44~45



47~55・58~60



43

46

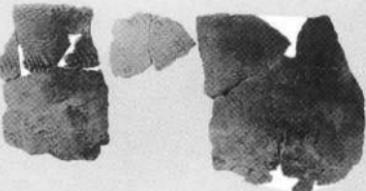
布平遺跡出土土器・古銭 (1)



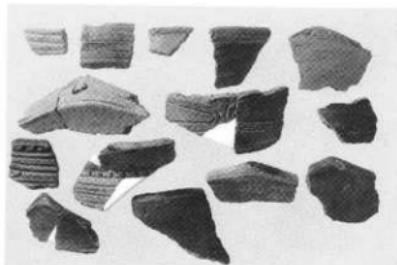
56



57



61~63



64~66 · 68~78



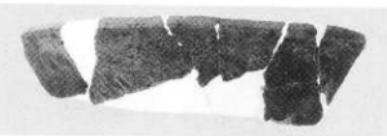
67



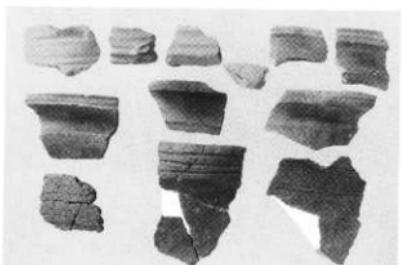
79



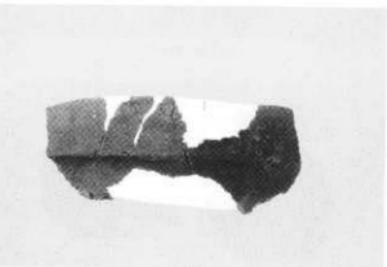
81~94



80

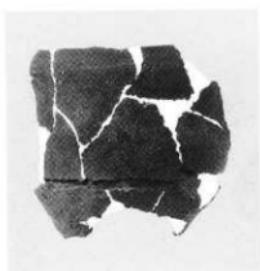


95~97, 注口部、98~105

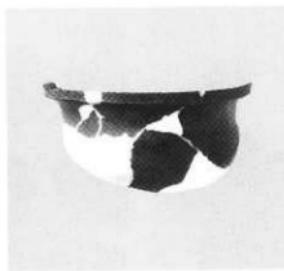


106

布平遺跡出土土器（2）



108



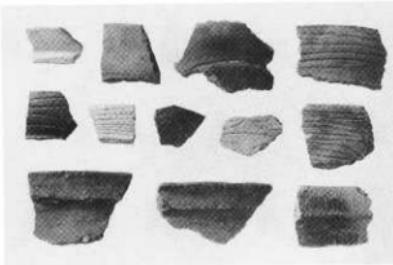
109



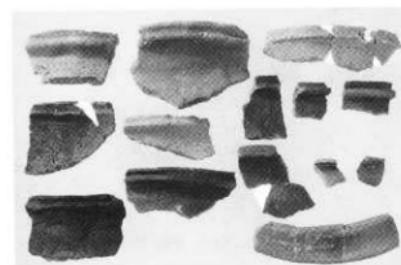
107



110~111



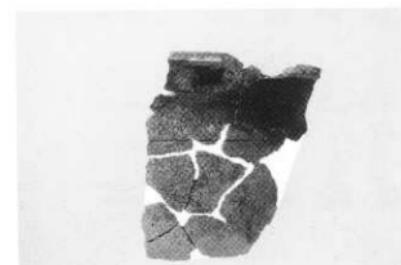
119~130



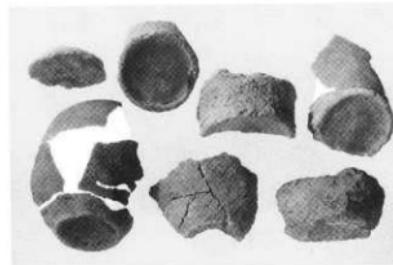
131~133・135~137~148



134

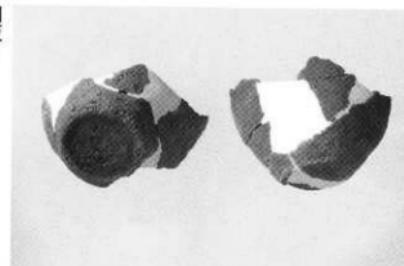


136



147~152・154

布平遺跡出土土器（3）

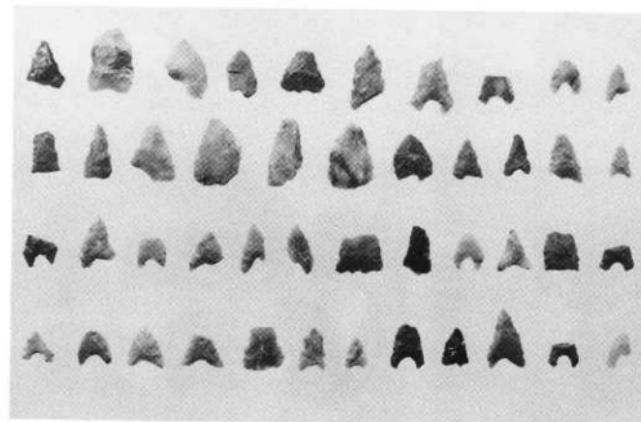


153~155



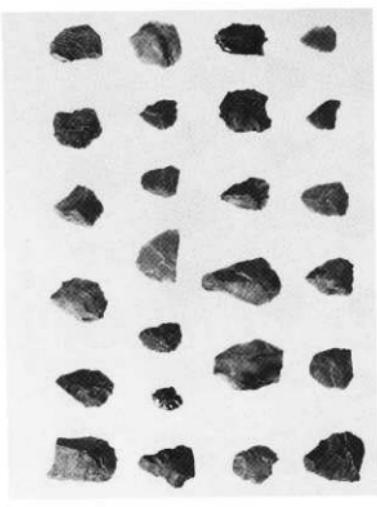
布平遺跡出土土器・石製品（4）

156~166 (162·165~166は石製品)



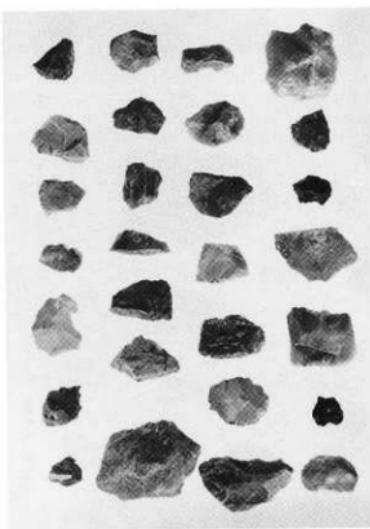
布平遺跡出土石器（1）

スクリヤー 68~71、175~184



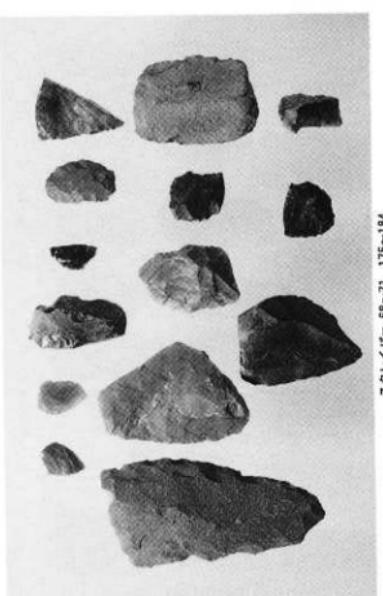
スクリヤー 68~71、175~184

石器 59~62、172~174、石器 63~67
布平遺跡出土石器 (2)

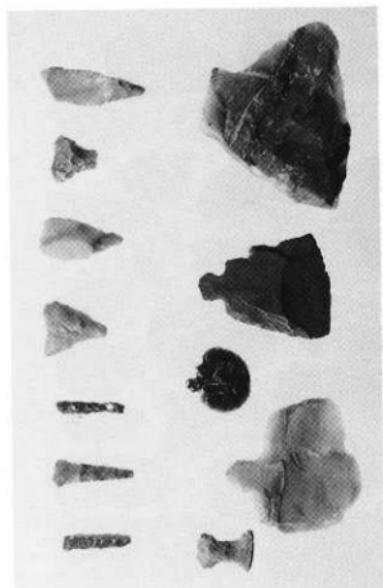


石器 59~62、172~174、石器 63~67
布平遺跡出土石器 (2)

クサビ 72~73



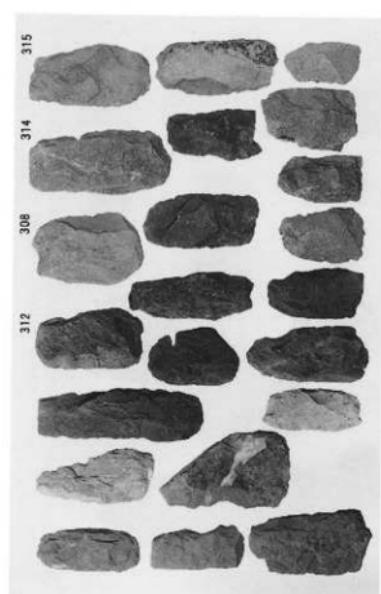
スクリヤー 68~71、175~184



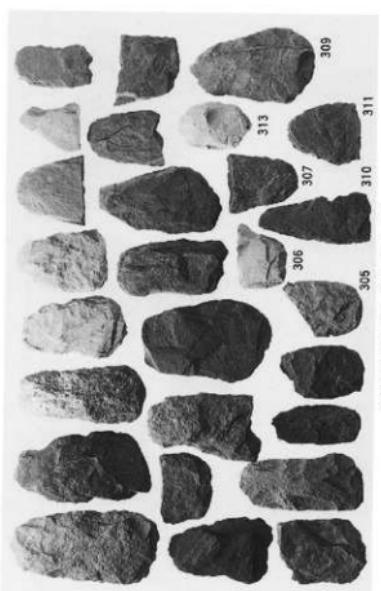
石器 59~62、172~174、石器 63~67
布平遺跡出土石器 (2)



削片 77~79、259~264

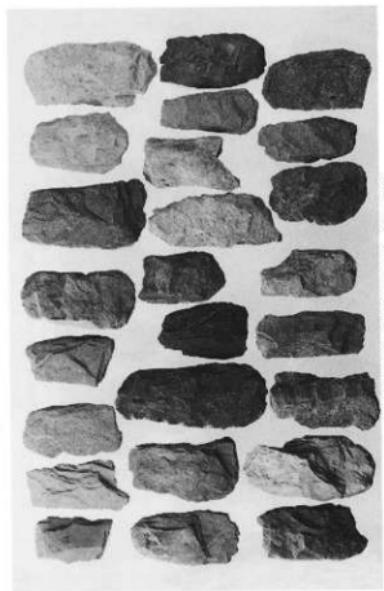


打製石片 80・82・81、312、308、314~330

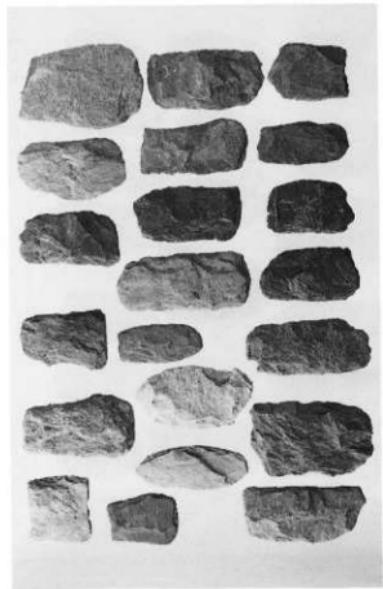


布平遺跡出土石器（3）

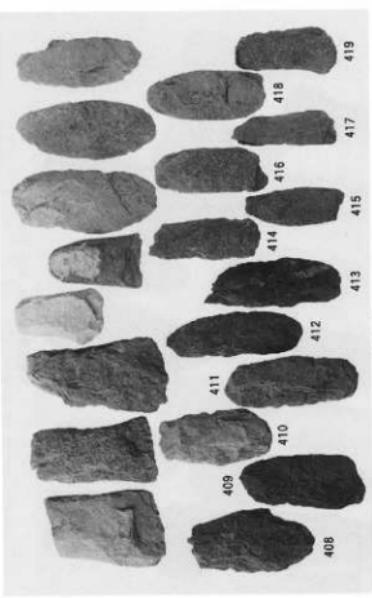
打制石片 352~372、374、373、375~376



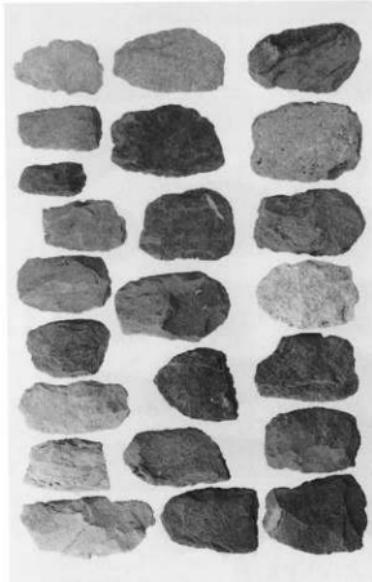
打制石片 331~351



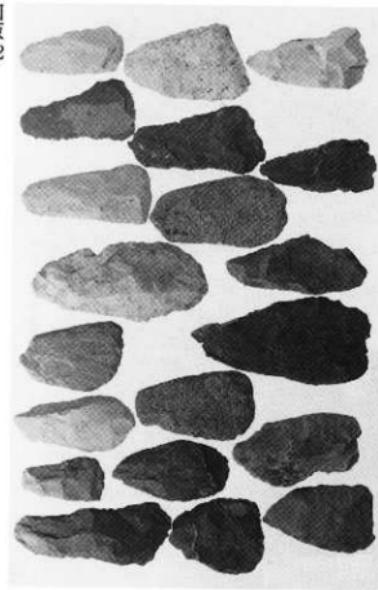
打制石片 352~372、374、373、375~376



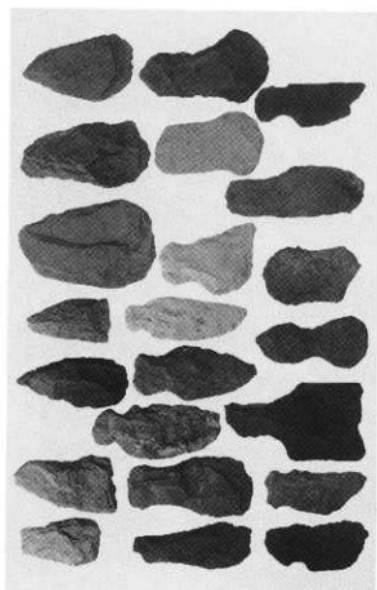
布平遗址出土石器 (4)



打制石片 377~389

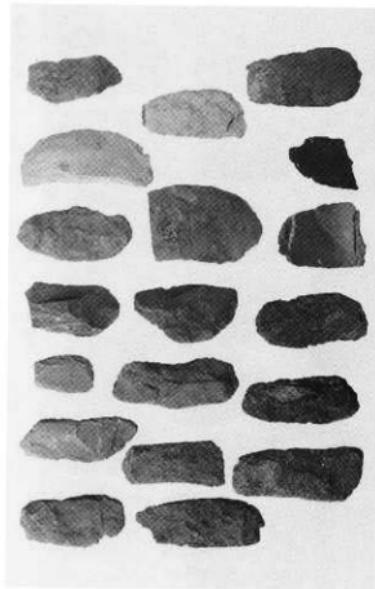


打制石片 83~80、439~450

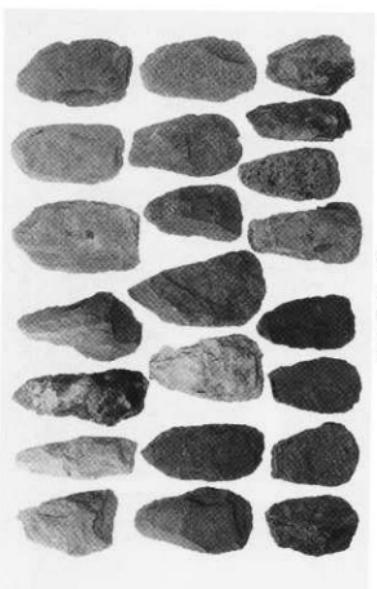


打制石片 473~475、91~96、480~488

布平遗址出土石器 (5)



打制石片 420~438



打制石片 451~472